

令和7年度 仕様書

工事名称 川越市立川越高等学校トイレ改修工事（B棟）
工事場所 川越市旭町2丁目3番地7

【工事の概要】
川越市立川越高等学校B棟のトイレを改修する工事である。

構造・規模
普通教室棟 R C 造 地上5階建て

- ・建築工事 一式
- ・電気設備工事 一式
- ・機械設備工事 一式

本工事は、「週休2日制適用工事（現場閉所型）」である。

[illegible]

[illegible]

川越市立川越高等学校ト イレ改修工事(B 棟)

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－01	特記仕様書(改修その1)	A－21	現況 展開図3	M－01	機械設備工事特記仕様書(1)	E－01	電気設備工事 特記仕様書
A－02	特記仕様書(改修その2)	A－22	改修 展開図1	M－02	機械設備工事特記仕様書(2)	E－02	案内図・ 配置図
A－03	特記仕様書(改修その3)	A－23	改修 展開図2	M－03	系統図 A・ B・ C 棟・ 凡例	E－03	改修 B 棟 盤結線図
A－04	特記仕様書(改修その4)	A－24	改修 展開図3	M－04	給排水衛生設備 器具表(現況・ 撤去リスト)	E－04	幹線設備系統図
A－05	特記仕様書(改修その5)	A－25	現況・ 改修 天井伏図	M－05	給排水衛生設備 器具表(改修)	E－05	改修後 B 棟 幹線設備 ビット 階平面図
A－06	特記仕様書(改修その6)	A－26	建具表・ 家具図	M－06	換気設備 機器表(現況・ 撤去リスト)	E－06	改修 B 棟 幹線設備 1 階平面図
A－07	案内図・ 配置図			M－07	換気設備 機器表(改修)	E－07	改修 B 棟 幹線設備 2 階平面図
A－08	1 階平面図			M－08	現況・ 改修 1 階平面図	E－08	改修 B 棟 幹線設備 3 階平面図
A－09	2 階平面図			M－09	現況・ 改修 2 階平面図	E－09	改修 B 棟 幹線設備 4 階平面図
A－10	3 階平面図			M－10	現況・ 改修 3 階平面図	E－10	改修 B 棟 幹線設備 5 階平面図
A－11	4 階平面図			M－11	現況・ 改修 4 階平面図	E－11	現況・ 改修 電灯コンセント 設備 凡例・ 照明姿図
A－12	5 階平面図			M－12	現況・ 改修 5 階平面図	E－12	現況 B 棟 電灯コンセント 設備 1 ～5 階平面詳細図
A－13	6 階平面図(O 棟)			M－13	現況・ 改修 6 階平面図	E－13	改修 B 棟 電灯コンセント 設備 1 ～5 階平面詳細図
A－14	7・ R・ PHR 階平面図(O 棟)			M－14	現況・ 改修 7・ R・ PHR 階平面図		
A－15	現況 平面詳細図			M－15	現況 B 棟 給排水衛生設備 1・ 2 階平面詳細図		
A－16	改修 平面詳細図			M－16	現況 B 棟 給排水衛生設備 3 ～5 階平面詳細図		
A－17	現況 断面詳細図			M－17	改修 B 棟 給排水衛生設備 1・ 2 階平面詳細図		
A－18	改修 断面詳細図			M－18	改修 B 棟 給排水衛生設備 3 ～5 階平面詳細図		
A－19	現況 展開図1			M－19	現況 B 棟 換気設備 1 ～5 階平面詳細図		
A－20	現況 展開図2			M－20	改修 B 棟 換気設備 1 ～5 階平面詳細図		

工 事 名

川越市立川越高等学校 イレ改修工事(B棟)

I 工事概要

1. 工事場所

川越市立川越高等学校 川越市昭和2丁目3番地7

2. 敷地面積

38.891 m²

3. 工事種目
(建物概要)

用途	構造	階数	延床面積
A棟一普通教室棟	鉄筋コンクリート造	地上5階建	3,105.48 m ²
B棟 普通教室棟	鉄筋コンクリート造	地上5階建	2,555.84 m ²
C棟一商業棟	鉄筋コンクリート造	地上7階建	5,916.06 m ²
D棟一特別教室棟	鉄筋コンクリート造	地上5階建	2,748.19 m ²
体育館棟一体育館棟	鉄筋コンクリート造	地上2階・地下1階	3,854.58 m ²

トイレ改修工事

4. 工事内容

上記に付建築工事一式

・既存仕上の撤去

・内装改修 乾式化

・トイレブース交換

・手摺設置

6. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目	工事種目	トイレ改修工事
2 仮設工事	○	
3 防水改修工事		
4 外壁改修工事		
-1 コンクリート打放し 仕上り外壁		
-2 モルタル塗り仕上り外壁		
-3 タイル張り仕上り外壁		
-4 塗り仕上り外壁		
5 建具改修工事	○	
6 内装改修工事	○	
7 塗装改修工事	○	
8 耐震改修工事		
9 環境配慮改修工事	○	
10 鉄筋工事	○	
11 コンクリート工事	○	

II 建築改修工事仕様

(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁審判部監修「公共建築改修工事標準仕様書 建築工事編(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官庁審判部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。))による。

(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記しなければ、以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらと関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号(○)の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付したものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いた場合は、※印と※の場合は、○のみを適用する。

3) 印と※印の付いた場合は、※印と※の場合は、○のみを適用する。

4) 特記事項で記載の()内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。

5) 特記事項で記載の()内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。

6) 特記事項で記載の()内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。

7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。

8) 本工事において、「環境物品等の取扱いの推進に関する基本方針(令和4年2月25日閣議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達推進方針(最新版)」による特定取組品目のうち、「半導体の基準」を満たす環境物品等(以下「特定環境物品等」という)を選択するよう努めるものとする。

なお、(G)印は特記仕様書で定めのある品目を示す。

9) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章 項 目

1 一般共通事項

① 適用基準等

・埼玉県建築工事実施要領に記載の要領等
※建築工事監理指針(国土交通省監修) 参考図書
※建築工事標準仕様書(国土交通省官庁審判部監修建築修 平成28年版)

② 条件明示事項

保険の種類
※法定外の労災保険(工事に従事する者全ての下請員を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの
※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの)
※請負業者賠償責任保険等
保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間

③ 工事実施前情報登録

※行う(請負代金額500万円以上、10日以内で登録) ・行わない [1.1.4][1.1.8]

4 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力 風速(V₀) m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
・積雪荷重 H12.5.31告示第1456号における区域 別表()
・大地面時の非建造物材の変形係数αは性能を確認する場合の開口変形角
・1/200 ・1/150 ・1/120 ・図示()
確認箇所()

⑤ 別段強引の関連工事

※監督員指定の別段強引工事を今回工事全体としてとらえ、主体的に調整する。[1.1.7]
・監督員指定の別段強引工事が行う 全体調整に全面的に協力する

6 施工に注意を要する区域等

本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13]
及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。
・周知の埋蔵文化財包蔵地
・史跡名勝天然記念物

⑦ 工事の記録

埼玉県建築工事写真作成要領を参考とし、監督員に提出する。 [1.2.4][1.6.6]
埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(OD-R又はOD-R-1部提出)
・適用しない

⑧ 電気保安技術者

適用する [1.3.3][1.3.1]

⑨ 施工条件

施工時間 [1.3.5]
※行役機関の休日に関する法律(第93第1号)に定める行政機関の休日以外とする。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
・以下の期間を除いた現業所日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。
年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間
指定期間()
施工時間以外の施工条件
・図示による

⑩ 施工中の安全確保

本工事の受注者、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者(総合安全衛生管理業務者)とする[1.3.7]

⑪ 環境保全等

建設現場は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]

⑫ 発生材の処理等

引渡しを要するもの [1.3.12][1.1.13]
※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示 ・)
注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理
のうえ調書を添えて監督員に報告する。
b) 産業廃棄物処理等許可書及び最終処分受入票の写しを提出する。
o) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他の関係法令等により適切に処理、監督員に報告する。

13 県産品の使用

受注者は、工事材料に係る納入記録を締結する場合には、当該記録の相手方は[1.4.2]
埼玉県内2本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する
工事材料は、埼玉県産とするよう努める。

⑭ 環境への配慮

建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び [1.4.1][1.4.3]
性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用ベニル、集成材、単板積層材、MDF、
パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保
温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレン
を発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルム
アルデヒドの放出量」の区分に記した材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない
材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸2-n-エチルヘキシル
等を含有しない難燃性発火の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が
極めて少ない材料を使用したものとする。

⑮ 材料の品質等

※本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上 [1.4.2]
のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合も同等以上
のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
※材料・機材等の製造業者等は次の1から⑥すべての事項を満たすものとし、この証
明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面
を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等、名が記載されているもの
は、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
③ 安定的な供給が可能であること
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取扱っていること
⑤ 製造又は施工の実績があり、その評価があること
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基
本方針の半導の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の
証明のためのガイドライン」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書を監督員に提出する。

16 技能士

工事種別	適用技能士
仮設工事	・とび作業
防水改修工事	・アクリル防水工事作業 ・アクリル系遮断防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業 ・塩化ビニル系防水工事作業 ・シート防水工事作業 ・FR防水工事作業 ・改質アクリルシート工法防水工事作業
外壁改修工事	・内装装金作業 ・左官作業 ・建築塗装作業 ・ビル用サッシ工施工作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・改質アクリルシート工法防水工事作業 ・断熱作業
塗装改修工事	・木工塗装作業 ・建築塗装作業
前庭改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業
その他	・モルタルブロック工事作業

17 化学物質の濃度測定

対象化学物質	測定基準	備考
ホルムアルデヒド	100 μ g / m ³ (0.08ppm) 以下	※厚生労働省 が定める指針
トルエン	250 μ g / m ³ (0.07ppm) 以下	値 量単位の
キシレン	250 μ g / m ³ (0.07ppm) 以下	換算は25℃
エチルベンゼン	3,800 μ g / m ³ (0.88ppm) 以下	
スチレン	220 μ g / m ³ (0.05ppm) 以下	
パラジクロロベンゼン	220 μ g / m ³ (0.04ppm) 以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法
・吸引方式 アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)
・吸引方式 アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法)
②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルドラジジン誘導体固相吸着剤を抽出
液によって採取し、高感度クオモグラフ法(以下HPLC)により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、
固相吸着剤・溶剤抽出法、固相吸着剤・加熱脱着法、容剤採取法のみずれかを用いて
採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロ
マトグラフ法(以下GC)あるいはA HMT-吸光光度法のうち採取機器に適した
分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、
パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適した
分析法による。
測定対象室・監督員の指定する室(室) ・図示
測定箇所数 ※() ・図示
測定時期 ※工事着手前及び完了後
報告書 ※2部 ・

⑮ 中間検査 ※行う ・行わない [1.7.2][1.5.1]
中間検査実施回数 請負金額が1億円以上の場合、2回、1億円未満の場合、1回

⑯ 完成図等 [1.8.1~3][1.6.1~3]

完成図等の種類及び記入内容
※完成 竣工 図(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの)
※施工図(※製作図含む ・)
作成方法及びサイズ
完成 竣工 図 ※A4 ファイル綴じ、用紙サイズA3 ・
施工図 ※A4 ファイル綴じ、用紙サイズA3 ・
施工計画書 ※ファイル等
保全に関する資料 ※1部 ・部(通常取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する)
完成写真(埼玉県建築工事写真作成要領を参考として作成する)
(OD-R又はOD-R-1部提出)
撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 ・
撮影箇所 ※外部()内蔵()
・トイレの状況に着工時と完成時で比較できるように撮影する
・埼玉県建築工事写真作成要領第4
※1.図解程度 ・カラー全紙1ペル
・監督員の指示による
写真の大きさ
写真帳の大きさ
図面情報電子化媒体 ※OD-R又はOD-R 1部
ODデータの形式 ※PDF ・DWG ・JWW
防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根等 [1.6.4]
建物内蔵 日から10年間、受注者、施工者、材料メーカー3者連名とし2部提出する
上記以外 ・1部提出
本工事は「週休2日制適用工事(現場用型)」の対象工事である。実施は、川越
市週休2日制適用工事要領(建築工事)(令和6年11月1日施行)によるものと
する。要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。
・予備材料 ※監督員の指示による
・下見契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の集計を提出する。

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策

・防音バネル ・防音シート
防音バネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 ・ [2.2.1]

② 足場等 [2.2.1][表2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガ
イドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」にお
ける20x2 手すり設置方式又は3 手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場 ○設置する(設置範囲) ○図示 ・) ・設置しない
防音シート ○設置する(設置範囲) ○図示 ・) ・設置しない
内部足場 ○設置する(※組立・足場板等) ・) ・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法
種別(A 種・ B 種・ C 種・ D 種・ E 種)
C 種: 利用可能なエレベーター(○図示 ・)
D 種: 利用可能な階段 (○図示 ・)
墜落防止用具の使用は、「墜落防止用具の安全な使用に関するガイドライン」
(厚生労働省 H10.6.22)による。
・フルハーネス型墜落防止用具を用いる。

③ 既存部分の養生 [2.3.1]
既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) ・)
既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート、等) ・)
既存ブラインド、カーテン等 養生の方法・ビニルシート等 ・)
固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示 ・
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一
損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 [2.3.2][表2.3.1]
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材
・ A 種	・ 木	○せつこうボード(9.5mm)	○無し	・ 有り
○ B 種	○軽量鉄骨	種別() ・ 合板(9.0mm) 材種()	・ 片面	
※ C 種	単管	防火シート		

充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)

仮設間仕切り」に設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板板厚1程度	○無し	※図示 ・ かつ	・ 有り
・	・	・ 片面		○無し

充填材: グラスウール32k(厚: 50mm以上)

5 監督員事務所

規模 ・ 既存建物内の一部を使用
・ 構内に新設 m²
※設置しない(下記品目のみ用意する)
備品(各1台指す)
・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 掛時計 ・ 寒暖計 ・ 長靴 ・ 雨合羽
・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 墜落防止用具 ・ 軍手 ・ 衣類ロッカー
・ 冷暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 茶器 ・ 掃除用具 ・ 電話機
・ FAX ・ 電子メール通話機器 ・ スキヤナー ・ プリンター
※設置する(〔1.1.12〕による表示 ・ 要 ・ 不要) ・ 設置しない [2.4.1][1.1.12]
構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる(※有償 ・ 無償)
(施設等に支障なく場合のみ有償利用可)
構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる(別添施設調整を行うこと)
(施設等に支障なく場合のみ有償利用可)

⑨ 工事用搬入路

⑩ 仮囲い

⑪ 交通誘導員

12 快適・イレ

3 防水改修工事

1 施工数量調査

調査範囲 ・ 図示の範囲 ・ [1.5.2、3]
調査方法 ・ 図示
既存部分の撤去を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・
調査報告書 提出回数 ・ 2部 ・

2 降雨等に対する養生方法(とい共)

3 既存防水の処理

既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲) ・ 図示 ・) ・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲) ・ 図示 ・) ・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上塗料除去
・ 行う(M/AS ・ M/AS ・ MC ・ MCI) ・ 行わない
既存遮断防水層表面の仕上塗料除去 ・ 行う(L/40) ・ 行わない

4 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ [3.2.6]
FG工法及びFG工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした
立上り部等の処理 ※〔3.2.6〕(4)の(a)①~③による ・

5 アスファルト 防水

屋根保護防水
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 図 [9.2.1~3]	絶縁厚さ	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※150mm以 厚さ0.15mm 以上	・ 乾式断熱材 ・ エコパネ ・ れんが押え ※LSR 1250
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3				
・ P2A1	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		材質 ※LSA 95211に基づく押出 ポリウレタン断熱材種A (毛層付き)	※70g/m ² 程度	※アクリル系 70g/m ² 程度
・ P1B1	・ B-1				
・ T1B1	・ B-2 ・ B-3			(厚さ)・25mm・50mm・	

改質アスファルト・ルーフィングシートの種類及び厚さ
※表3.3.3]から[表3.3.9]による
部分粘着層付改質アスファルト・ルーフィングシートの種類及び厚さ
※表3.3.3]から[表3.3.9]による
平場の保護コンクリートの厚さ
・ として仕上げる ※水下 60mm以上
・ 床タイル張り ※水下 60mm以上
・ 乾式断熱材
・ 無糸綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオー
トクレープ養生したもの。
金属複合板 : 金属板と樹脂を積層一体化したものを。
屋根露出防水
防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材 図 [9.2.1~3]	仕上塗料	備考
・ M4C	・ O-1 ・ O-2 ・ O-3 ・ O-4			(種類・使用量) ※アクリル系 類 の製造所の仕様	
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4			(種類・使用量) ※アクリル系 類 の製造所の仕様	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない (改修用)・し ・ 設ける
・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ O-1 ・ O-2		材質 ※LSA 95211による 発泡スチ (厚さ)・25mm・	(種類・使用量) ※アクリル系 類 の製造所の仕様	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない (改修用)・し ・ 設ける ・ 設けない

高日射反射率防水の適用 図 ※適用する ・ 適用しない
脱気装置の種類及び設置数量
※アスファルト・ルーフィング類の製造所の指定による
・ 種類
・ 個/m²
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部断熱の断熱材
の張りまじ位置 ※図示 ・

屋内防水

工法	種別	施工箇所	備考
・ P1E	・ E-1		保護層 ・ 設ける
・ P2E	・ E-2		・ 設けない

・ E-1の工程を行う部位(※防水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・)
・ 押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
屋根排水溝 ※図示 ・

防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 図 [9.2.1~3]	仕上塗料	備考
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2			(種類・使用量) ※改質アクリルシ の製造所の仕様	
・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1			(種類・使用量) ※改質アクリルシ の製造所の仕様	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない (改修用)・し ・ 設ける
・ M3ASI ・ M4ASI ・ P0ASI	・ AS-T1 ・ AS-J1 (R/SOのみ)		材質 ※LSA 95211による 発泡スチ (厚さ)・25mm・	(種類・使用量) ※改質アクリルシ の製造所の仕様	(脱気装置) ・ 設ける ・ 設けない (改修用)・し ・ 設ける ・ 設けない

高日射反射率防水の適用 図 ※適用する ・ 適用しない
改質アスファルト・ルーフィング類の製造及び厚さ
※表3.4.1]から[表3.4.3]による
粘着層付改質アスファルト・ルーフィング類の製造及び厚さ
※表3.4.1]から[表3.4.3]による
部分粘着層付改質アスファルト・ルーフィング類の製造及び厚さ
※表3.4.1]から[表3.4.3]による
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルト・ルーフィング類の製造所の指定による
・ 種類
・ 個/m²
押え金物
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・

特記事項

換 印

設 計

設計年月日 R 5 . 1 . 31

変更年月日

工事名称 川越市立川越高等学校 イレ改修工事(B棟)

図面名称 特記仕様書(改修等1)

No. A-01

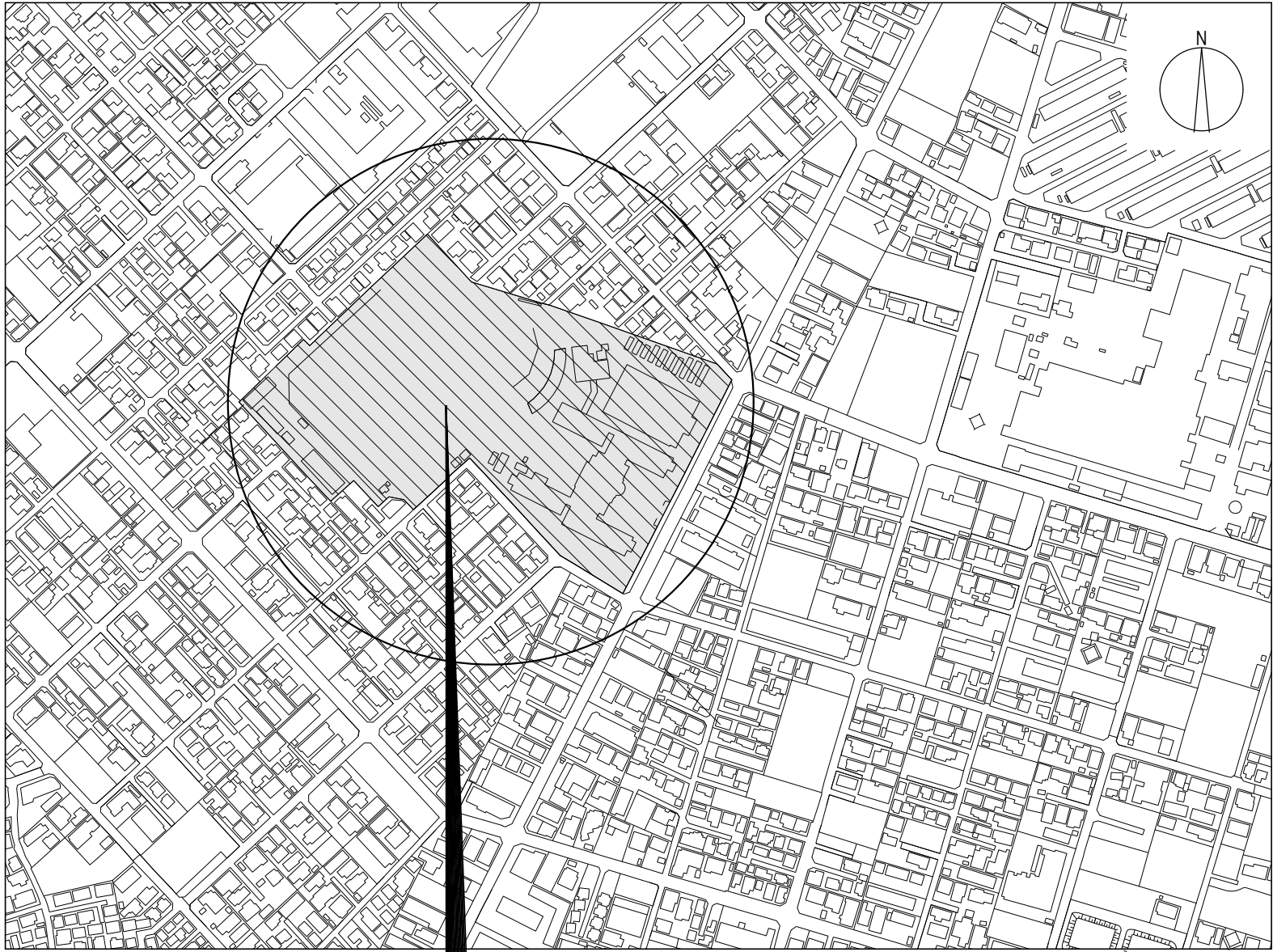
特記事項	 齊藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤出	検印 	設計 設計年月日 R 5 . 1 . 31 変更年月日	工事名称	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(Ｂ棟)	No.
				図面名称	特記仕様書(改修その2)	

5	アルミ・ニウム製建具	性能値等	[5. 2. 2~5][表5. 2. 1、2]		11	建具用金物	ふすま 張りの種類(・ I 型 ・ II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙貼程度 縁じ上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・ 建具表による	[5. 7. 1~3]		12	鍵	戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による	13	自動ドア開閉装置	金物の種類及び見掛け 部の材質等 ※表5. 7. 1] 及び適用は建具表による 金属製建具に使用する 丁番の枚数及び大きさ ※表5. 7. 2] による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する 丁番の枚数及び大きさ ※表5. 7. 3] による ・ 建具表による 握り玉、レバー・ハンドル、押板類、クレセント 等の取付位置 ・ 建具表による ・ 図示 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16. 8. 5] による ・ 建具表による													
		耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種(適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具(※建具表による ・ 図示) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																										
6	樹脂製建具	網戸等	種類	材質	線径	網目			12	鍵	自動ドア開閉装置																	
		・ 防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ	・																						
7	鋼製建具	・ 防鼠網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm	・			12	鍵	自動ドア開閉装置				13	自動ドア開閉装置												
		表面処理 外部に面する建具 種類 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種類 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ※図示 水切り 板、ぜん板等 ※図示			12	鍵	自動ドア開閉装置										13	自動ドア開閉装置										
8	鋼製軽量建具	性能値等	[5. 2. 2][5. 3. 2~5]																									
		耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種(適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具(※建具表による ・ 図示) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)			12	鍵	自動ドア開閉装置										13	自動ドア開閉装置										
9	ステンレス製建具	ガラス 水切り 板、ぜん板等 ※図示 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色																										
		性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]		12	鍵	自動ドア開閉装置										13	自動ドア開閉装置										
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビン酸亜鉛鋼板 ・ カテ鋼板 ・ スズメ鋼板 召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ 建具表による																												
鋼板厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が900mm又は有効高さか、400mmを超えるもの) ※建具表による 上記以外の鋼製建具 ※表5. 4. 2] による ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6(適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ () とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形変位性能の等級() (適用する建具 ※建具表による)																												
材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し 曲げ																												
建具材の加工、組立時の含水率 ※B 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド 放散量 ※規制対象外																												
・ フラッシュ戸 表面材の合板の種類	規格等	備考																										
・ 普通合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 天然木化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
・ 特殊加工化粧合板 ()	表面の種類	規格等	備考																									
表面板の厚さ ※表16. 7. 6] による																												
・ かまち戸 かまち仕様() 鋼板仕様() 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による																												
性能値等	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]																											
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・ 適用する(※建具表による ・) (適用しない) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S																												

[illegible]

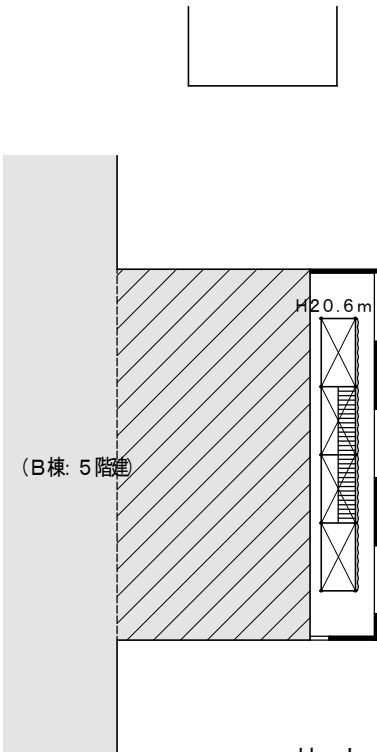
特記事項	 斉藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印  	設 計 設計年月日 R 5 . 1 . 31 変更年月日	工事名称 川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟) 図面名称 特記仕様書(改修その5)	No. A-05
------	---	--	---------------------------------------	---	-------------

コンクリート工事	① コンクリートの種類等	(6.2.1) 種類 ※Ⅰ類(J S A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類(J S A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基礎強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スラブ 適用箇所 ○24 2.3程度 ○15又は18・18 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正値 S (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値S=3 (月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) ・ S=6 (月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日) ・	14 無筋コンクリートの種類 (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート・セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基礎強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による()
	② セメント	(6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 ※下記以外全て 普通ポルトランドセメントの品質は、J S R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 35J /g 以下、かつ28日目で 40J /g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・FRより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所・	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150mlに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限值は、標準仕様書6.3.2(4)(a)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画配合書の設計値以下、「設計値」という。) ±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4) 3) の不合格生コンを確認し持ち帰ったことを確認する。 (5) 単位水量管理についての記録を 書面(計画配合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
	③ 骨材	(6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)	
	④ 混和材料	(6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による	
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	(6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(ア)〜(ウ)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による()	
	6 湿潤養生	(6.8.1) ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ・図示による()	
コンクリートの仕上り	7 コンクリートの仕上り	(6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ・C種 ※図示による() コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による()	
	8 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	(6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 20mm 打増し範囲 ・図示による()	
	⑨ 型枠	(6.8.2) せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm) [G] コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を使用した型枠の使用 適用箇所 図示による() ・MOC工法用ノートの使用 適用箇所 図示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による() (6.8.4) 存置期間及び取だし ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による())	
軽量コンクリート	10 軽量コンクリート	(6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による() 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.11による スラブ ※21cm	
	11 寒中コンクリート	(6.11.1、2) 適用期間(月 日～ 月 日) 構造体強度補正値 S を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=()	
マスコンクリート	12 暑中コンクリート	(6.12.2) 適用期間(月 日～ 月 日) 構造体強度補正値 S ※6N/mm ² 図示による()、S=()	
	13 マスコンクリート	(6.13.1、2) 適用箇所 ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトセメント ・中庸熟ポルトセメント ・低熟ポルトセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュB種 [G] ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(ア)による ・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による) スラブ ※15cm 構造体強度補正値 S ※標準仕様書 表6.13.11による	コンクリートの種類 (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート・セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基礎強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による()



工事場所: 川越市立川越高等学校 川越市旭町2丁目3番地7)

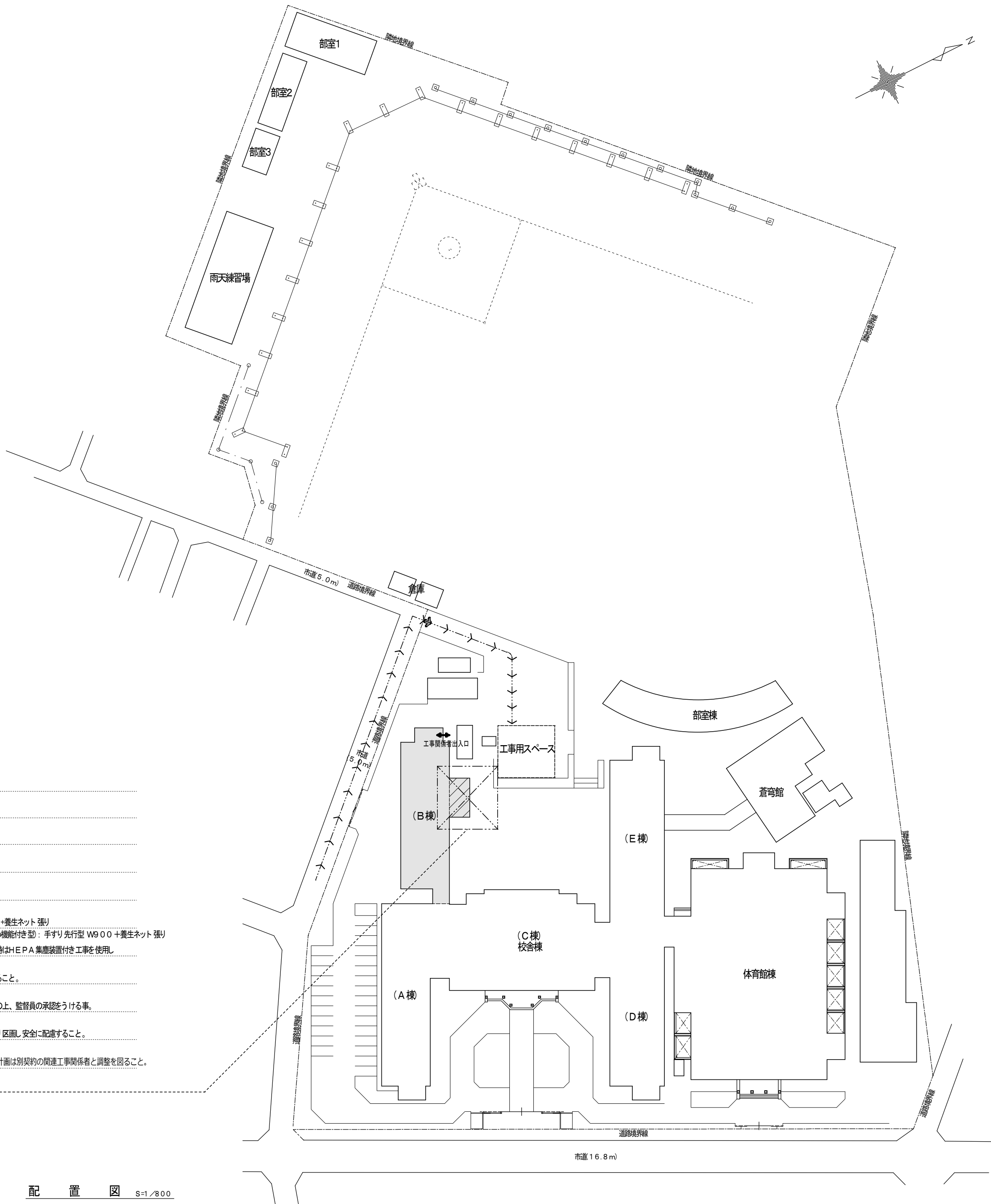
案 内 図



拡 大 図

- 凡 例
- 工事建物を示す
 - 工事対象部分を示す
 - 工事車両輸出入口を示す(予定)
 - 工事車両通行経路を示す(予定)
 - ガードフェンス H=1.8mを示す
 - (H=図示) 枠組本足場: 手すり先行方式W900・養生ネット張り
もしくはくさび緊結式足場 抜け止め機能付(金型): 手すり先行型 W900・養生ネット張り
※外装仕上材はアスベスト含有のため、壁つなぎ施工時はH・P・A集塵装置付き工事を使用。
発生材はアスベスト含有廃棄物として適切に処分すること。
※仮設計画は周囲の状況を調査し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認をうける事。
※工事用スペースはカラーコーン、コーンバー等により区画し安全に配慮すること。
※体育館棟の空調工事を同時期に計画している。仮設計画は別契約の関連工事関係者と調整を図ること。

配 置 図 S=1/800



特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出

検 印



設 計



設計年月日

R 5 . 1 . 31

変更年月日

工事名称

川越市立川越高等学校・イレ改修工事(B棟)

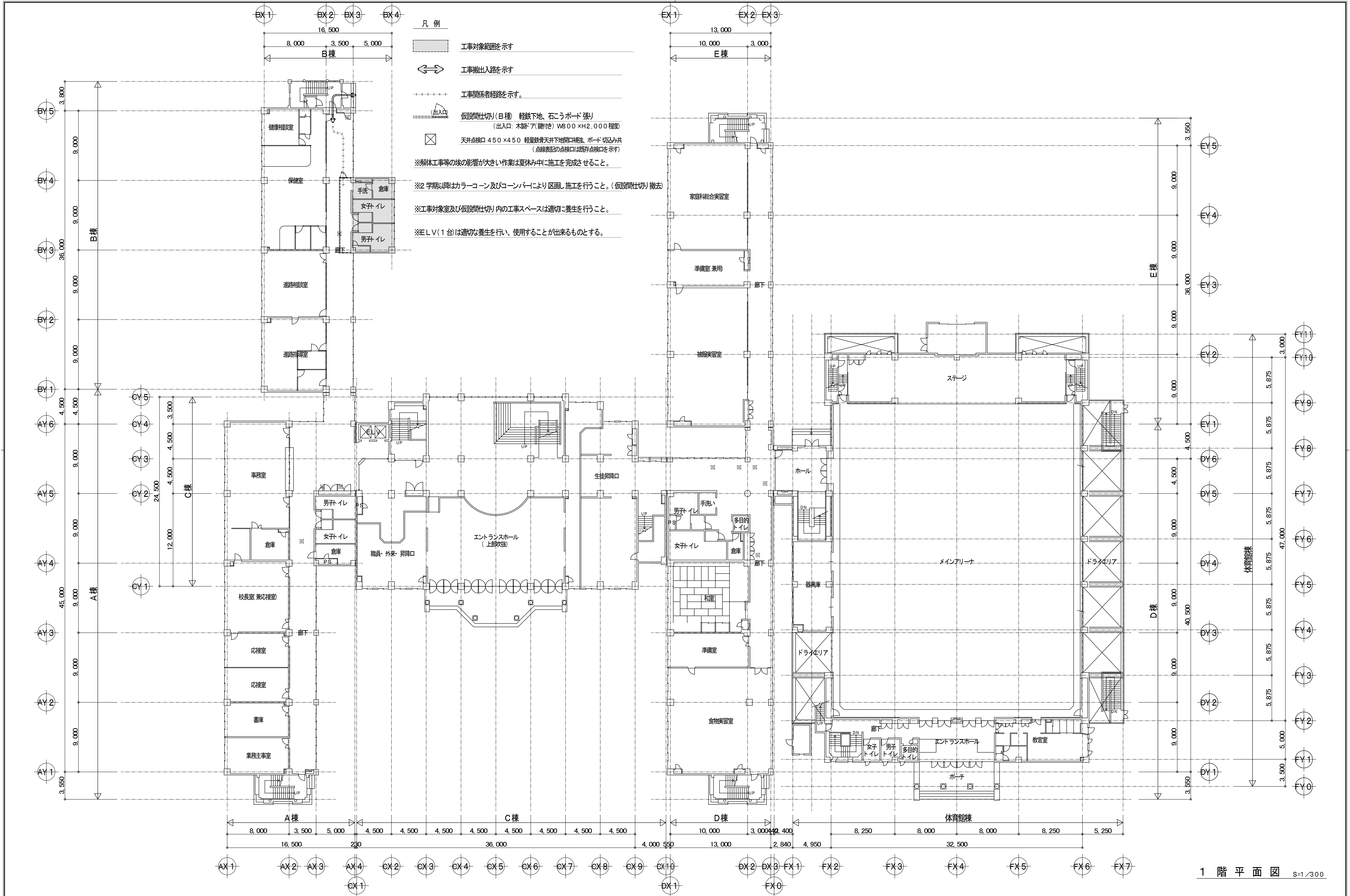
図面名称

案内図・配置図

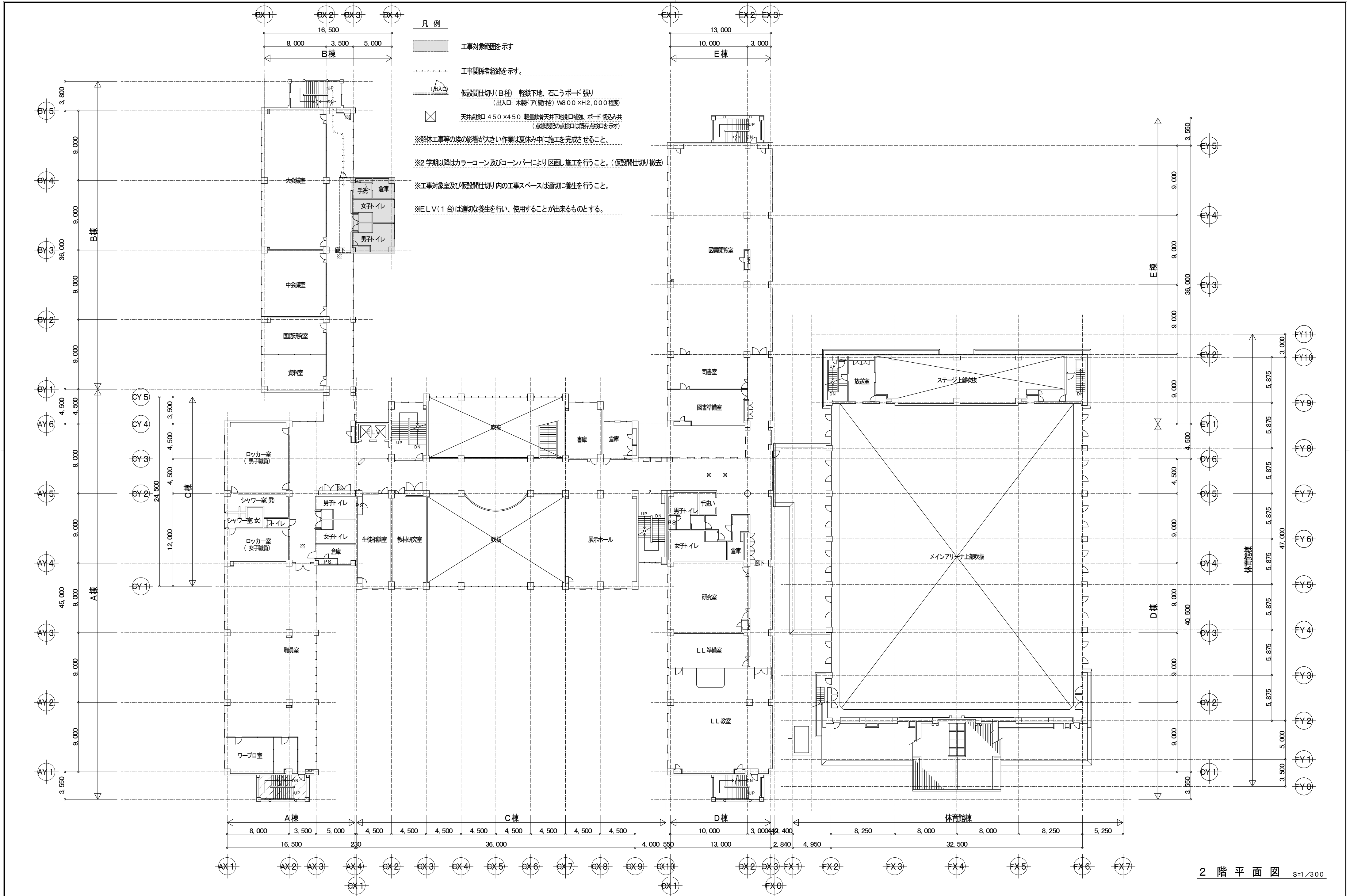
Scale
S=1/800

No.

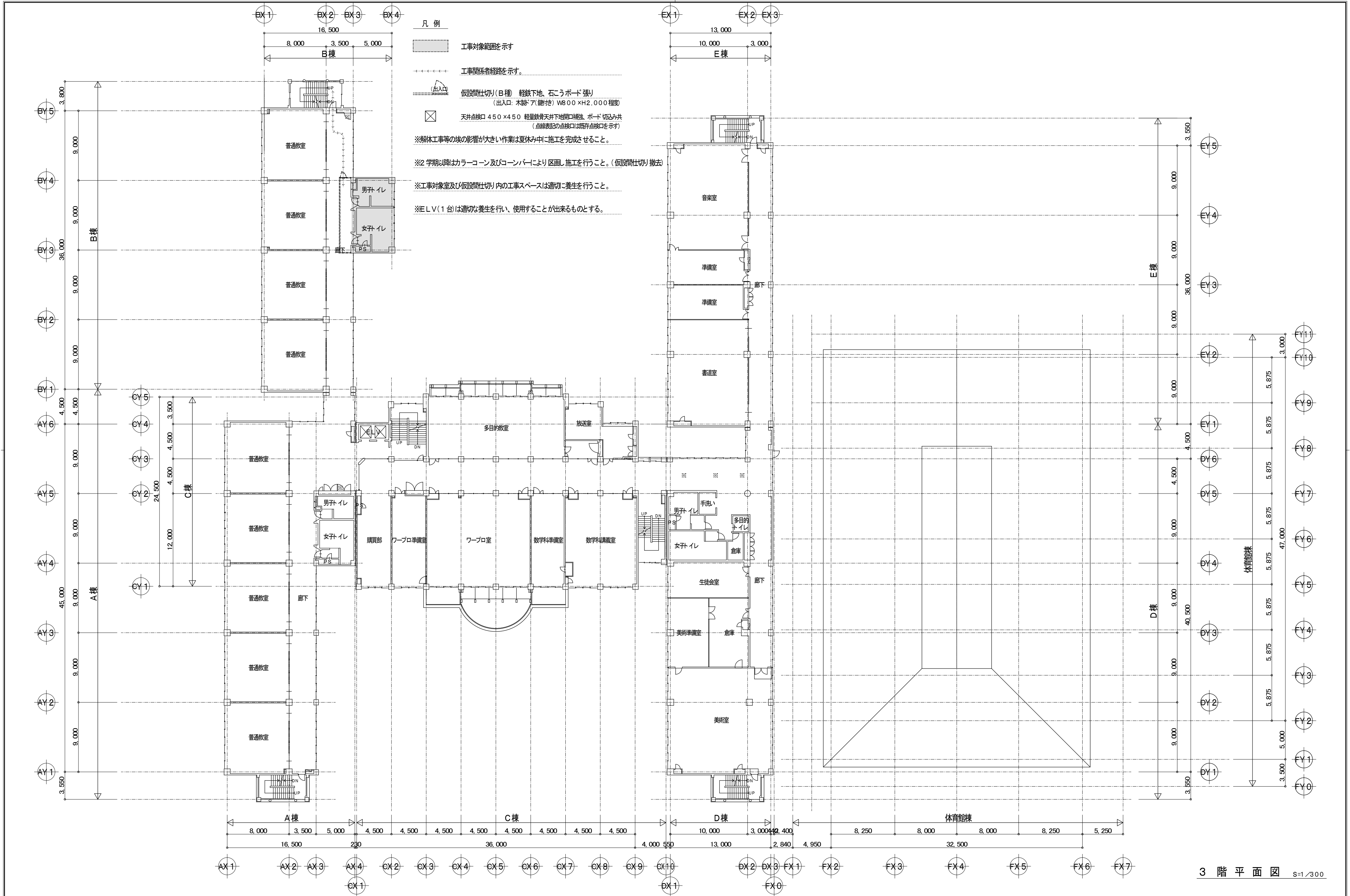
A-07



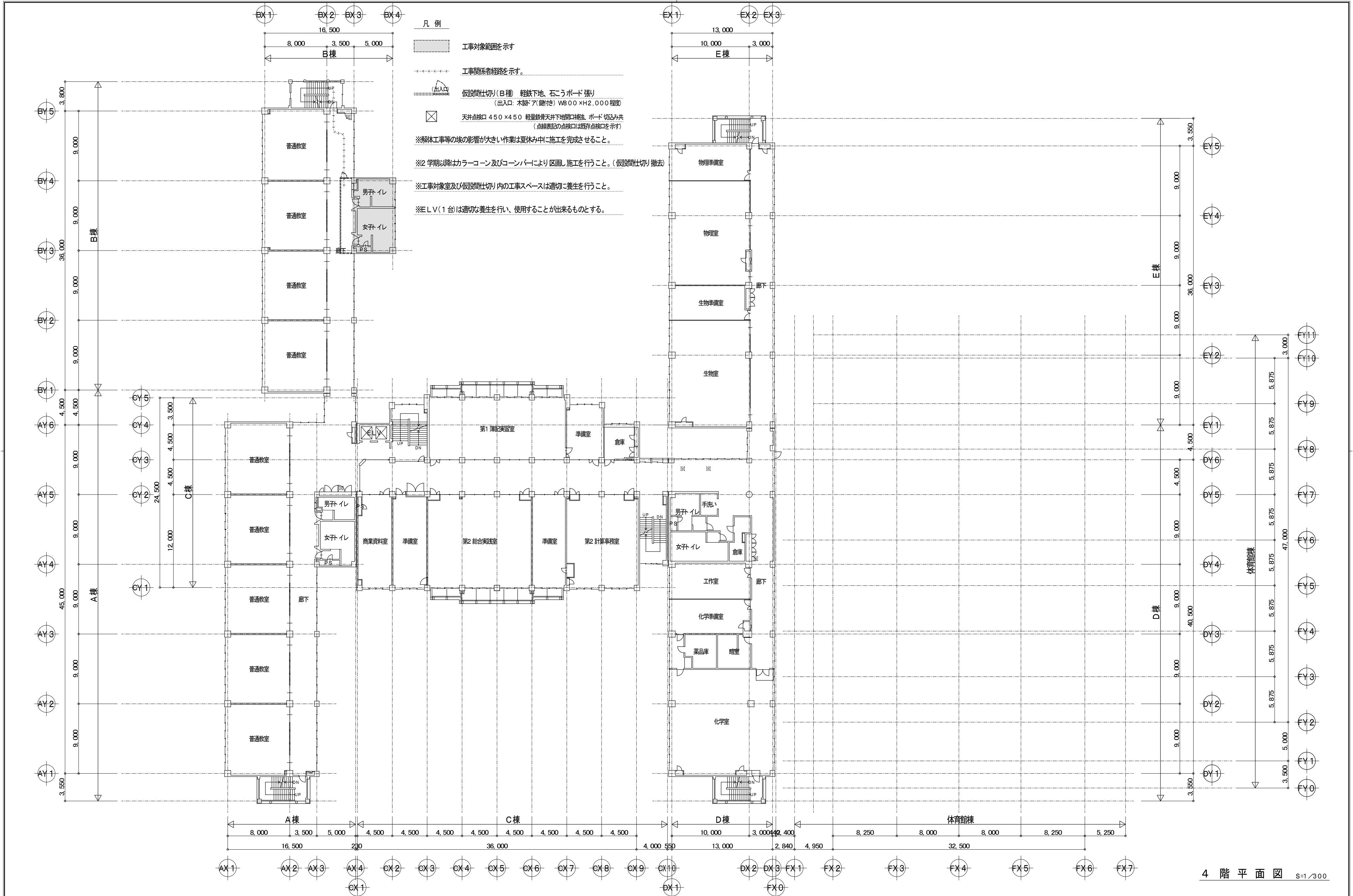
1 階 平 面 図 S=1/300



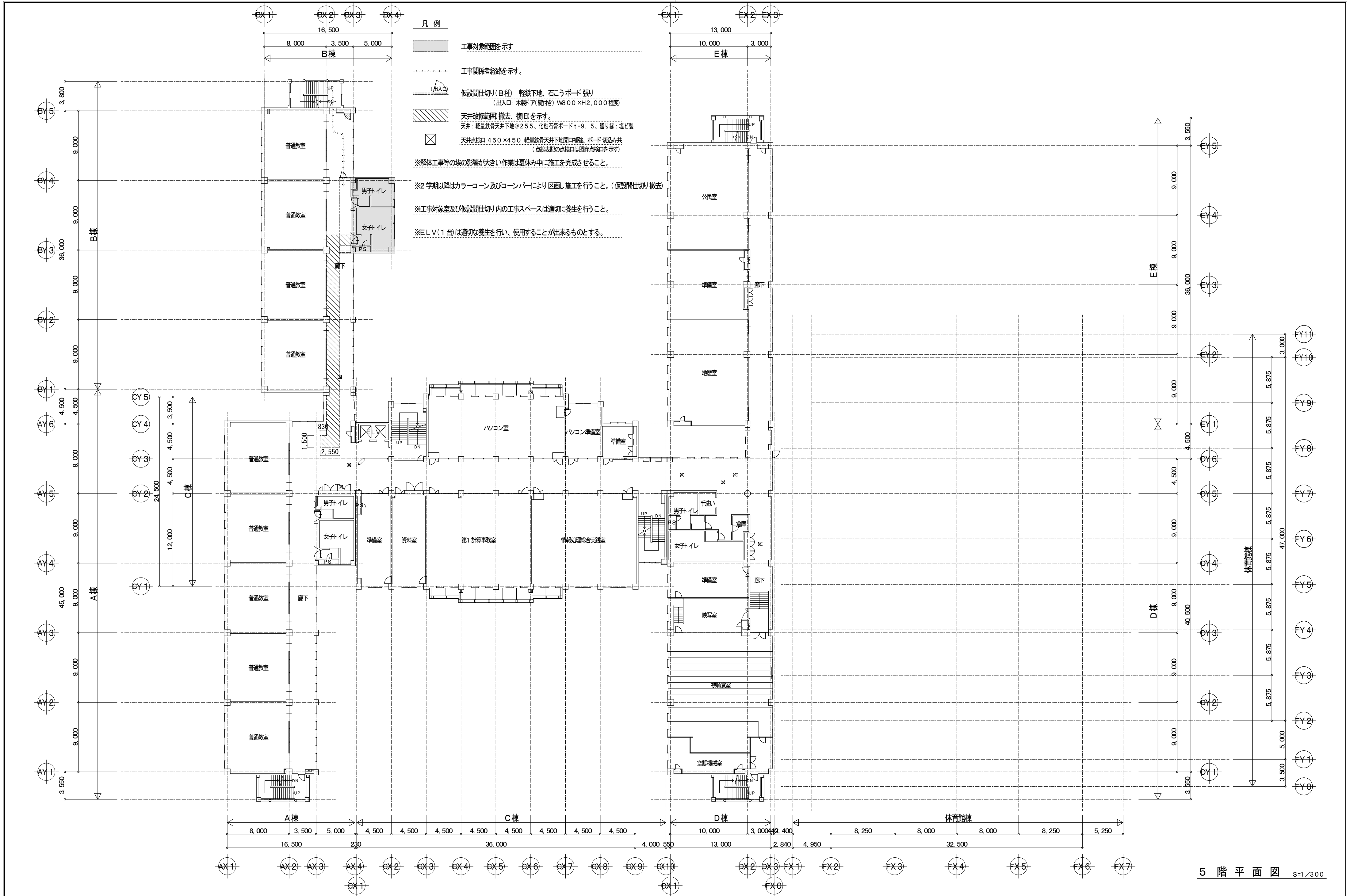
2 階 平 面 図 S=1/300



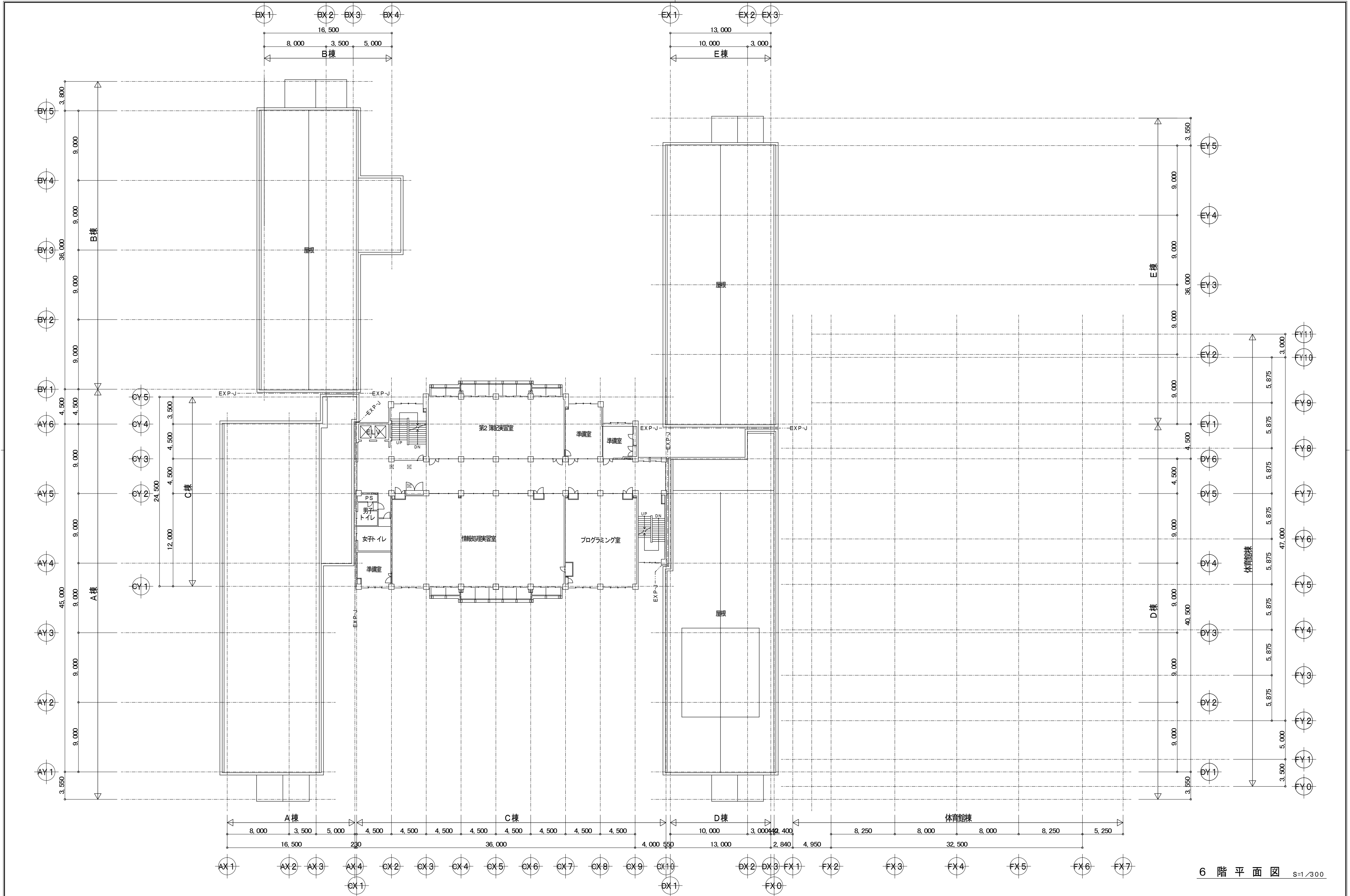
3 階 平 面 図 S=1/300

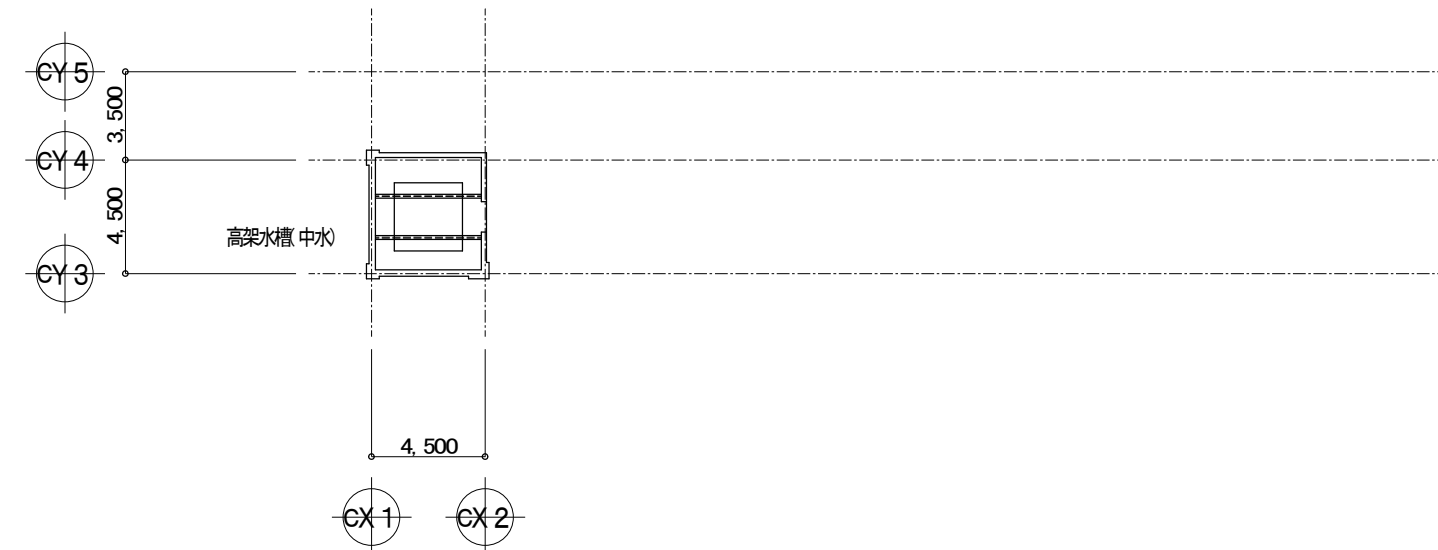


4 階 平 面 図 S=1/300

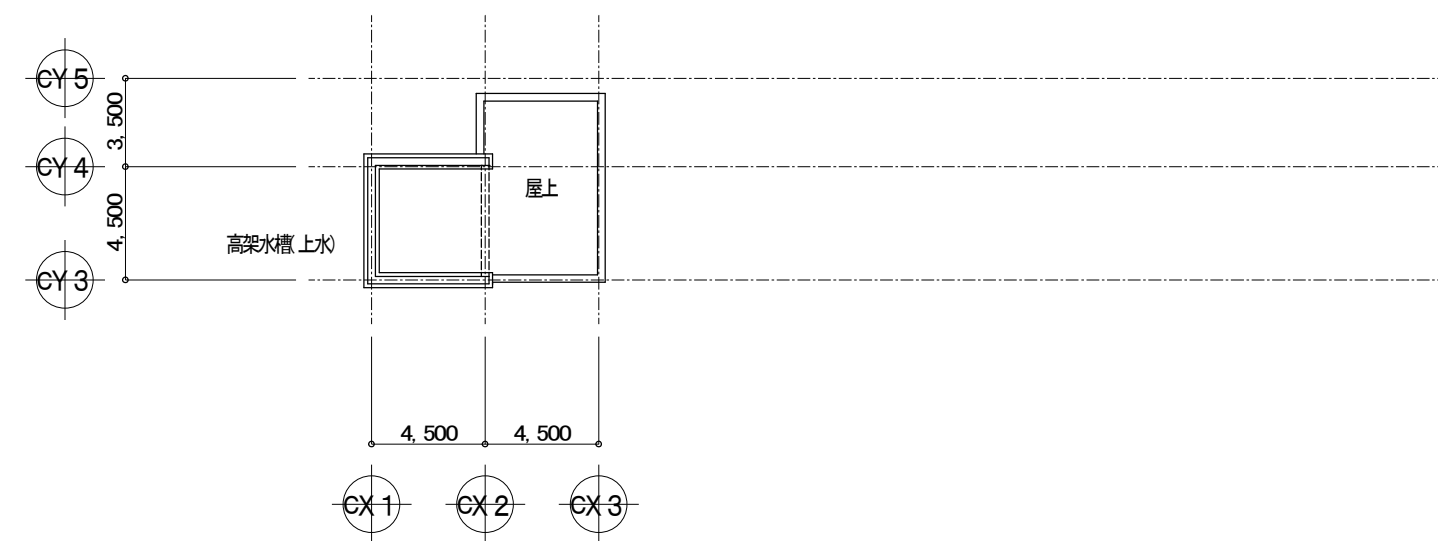


5 階 平 面 図 S=1/300

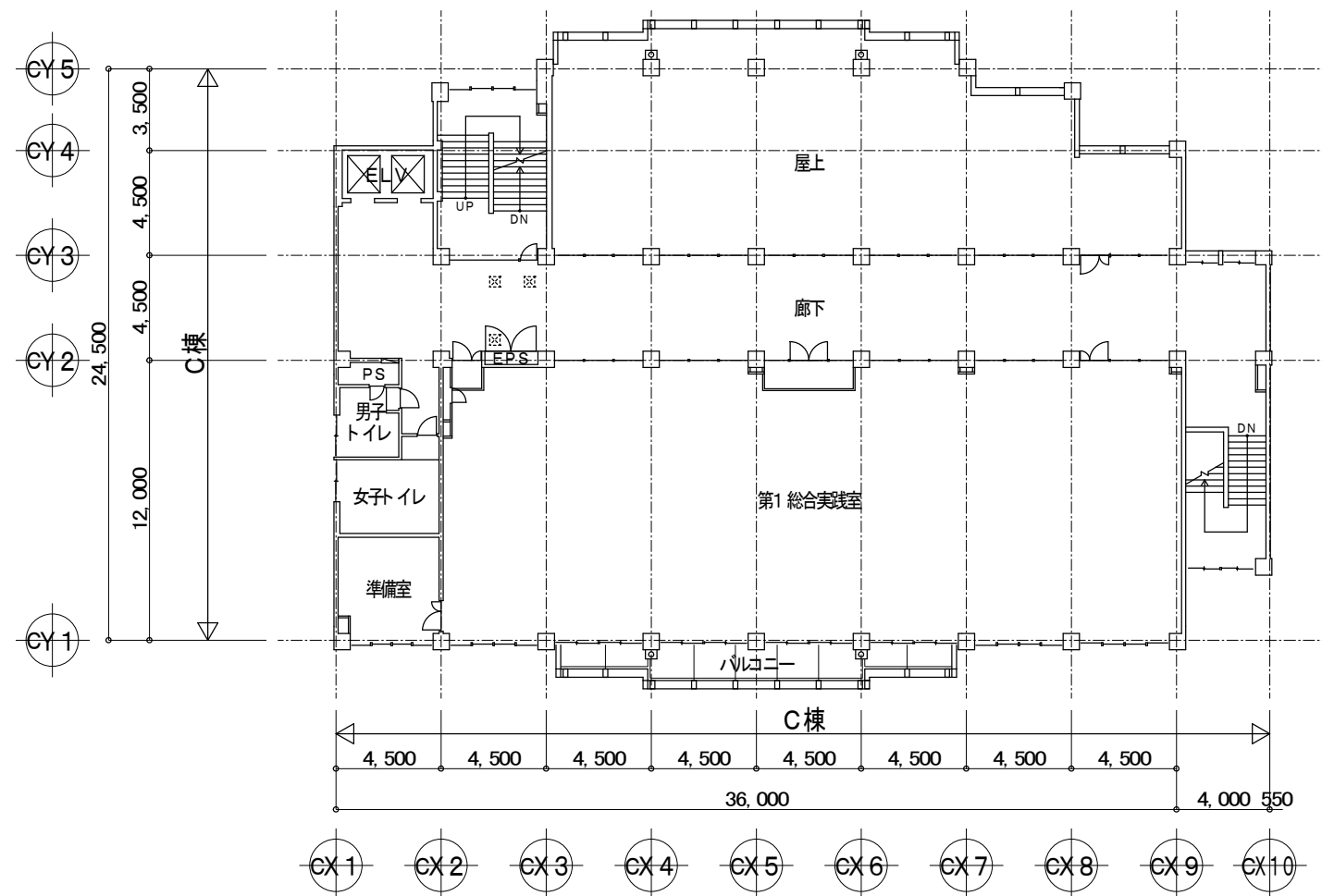




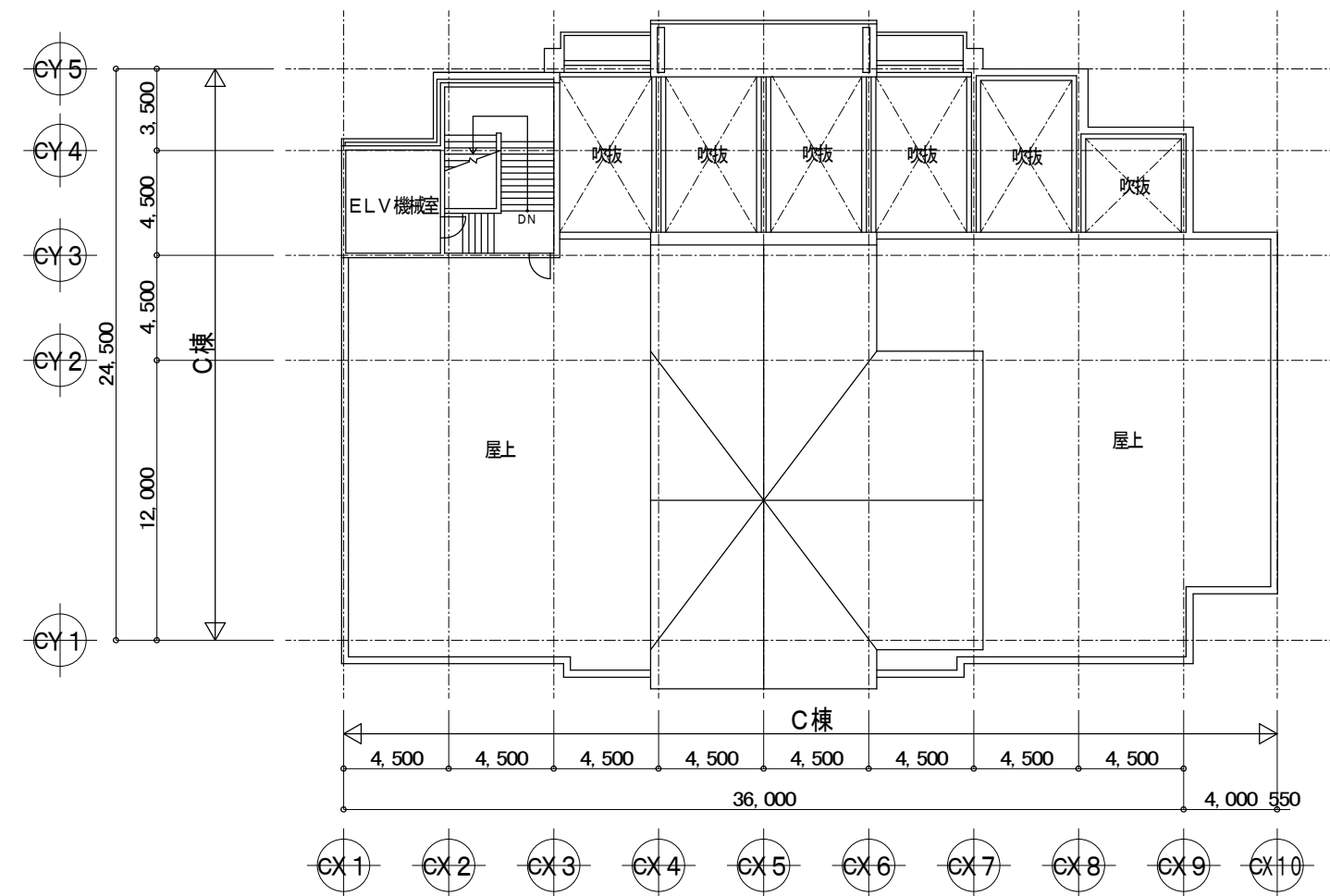
PHR 階上部平面図 S=1/300



PHR 階平面図 S=1/300



7 階平面図 S=1/300



R 階平面図 S=1/300

現況

凡例

撤去範囲を示す

±0 廊下床を基準とした床高さを示す(単位: mm)

※衛生器具の撤去は機械設備工事参照。

※凡例及び仕上表以外の事項は図示による。

※アスベスト含有仕上塗材 吹付タイルは粉じん飛散防止材吹付の上

吹付されている材料(ボード、モルタル)ごと撤去する。

※撤去部材等の仕様は次の通り。

木製ドア: 800×2,000(ガラス: F-4, 150×1,700)

トイレブース: 木製, t=40×1,900

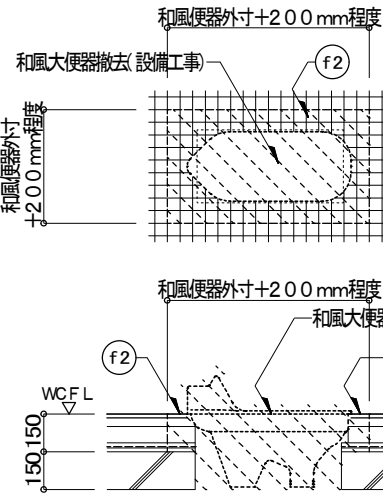
洗面カウンター: メラミンボストフォーム[L]×440×125×t30

ステンレス流し: ステンレスt=1.2(L-30×30×3@1,200下地部)

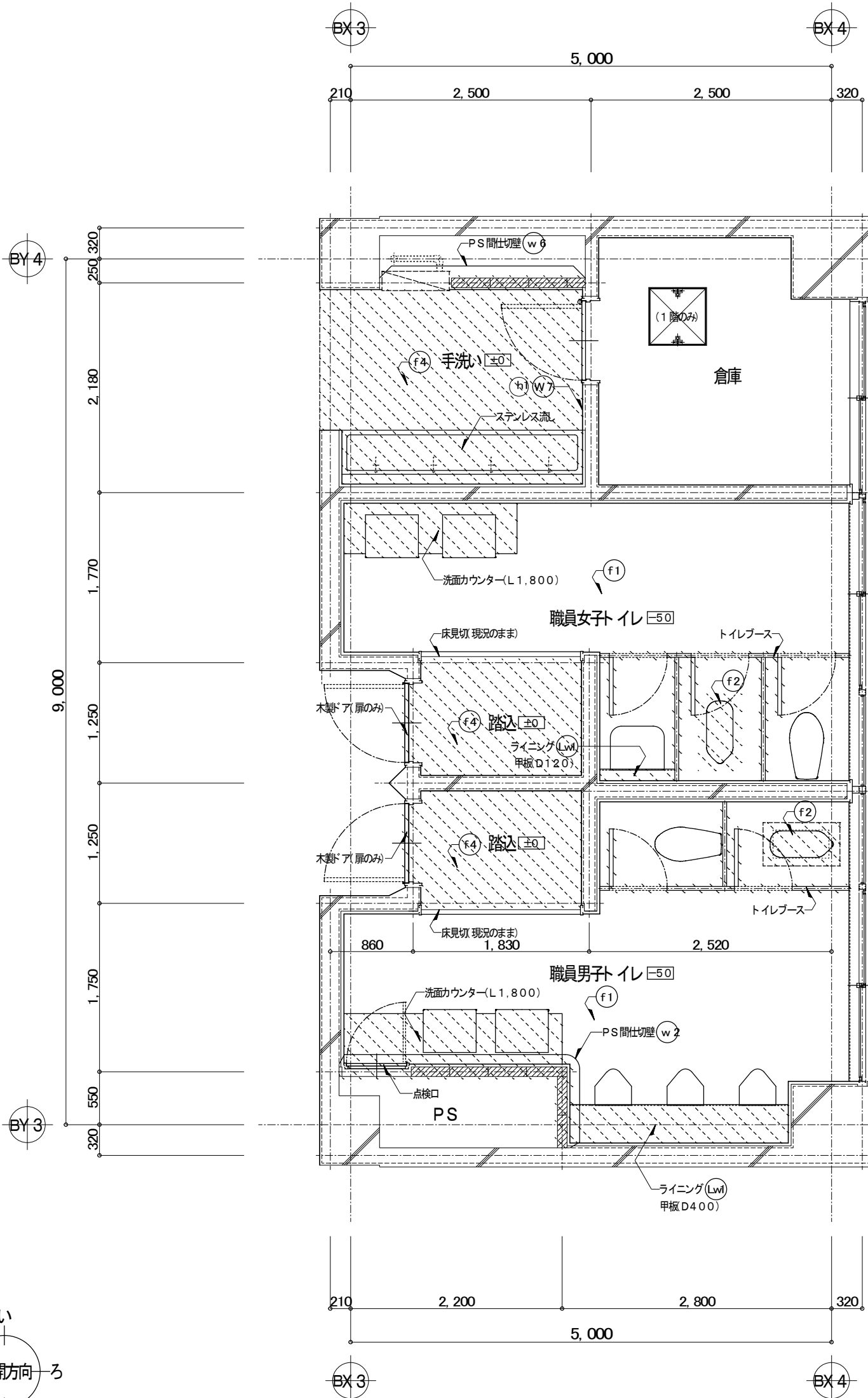
壁点検口: スチール製(600×600)

現況仕上表 特記: (※3)はアスベスト含有建材(レベル3)を示す

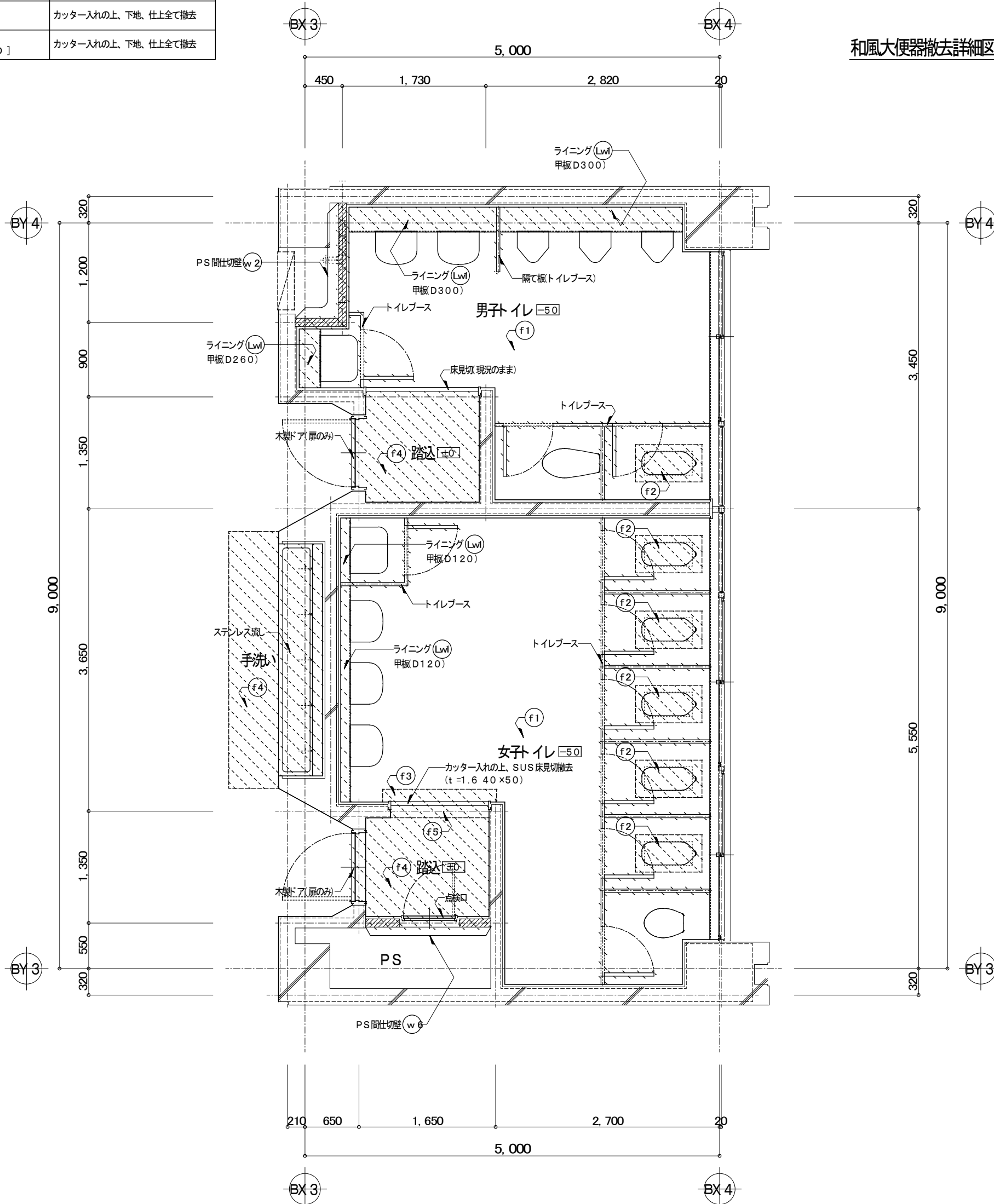
符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
(f1)	床	均しモルタル、アスファルト防水層(※3)、保護モルタル 押えコンクリート t=60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	既存面直仕上
(f2)	床	均しモルタル、アスファルト防水層(※3)、保護モルタル 押えコンクリート t=60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(f3)	床	均しモルタル、アスファルト防水層(※3)、保護モルタル 押えコンクリート t=60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	カッター入れの上、下地モルタル、仕上撤去
(f4)	床	モルタル金ゴテ t=10(仕上含み)	ビニル床シート t=2.3	仕上撤去
(f5)	床	モルタル金ゴテ t=10(仕上含み)	ビニル床シート t=2.3	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(f6)	床	モルタル金ゴテ t=10(仕上含み)	ビニル床シート t=2.3	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	仕上撤去
(w2)	壁	上段: CBt=100積、モルタル金ゴテ 下段: CBt=100積、モルタルタイル下地	上段: EP塗り 下段: 陶器質タイル	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(w6)	壁	CBt=100積、モルタル金ゴテ	吹付タイル(※3)	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(lw1)	ライニング	CBt=100積、モルタルタイル下地	陶器質タイル 甲板: テラソーブロック t=30×[D]	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去



和風大便器撤去詳細図 S=1/50



1・2階平面詳細図 S=1/50



3・5階平面詳細図 S=1/50

(B棟)

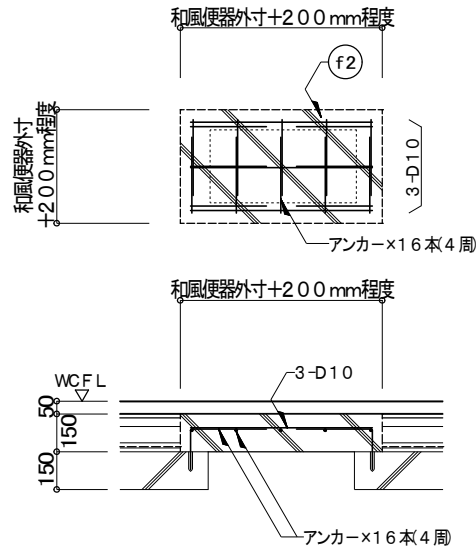
改修

凡例

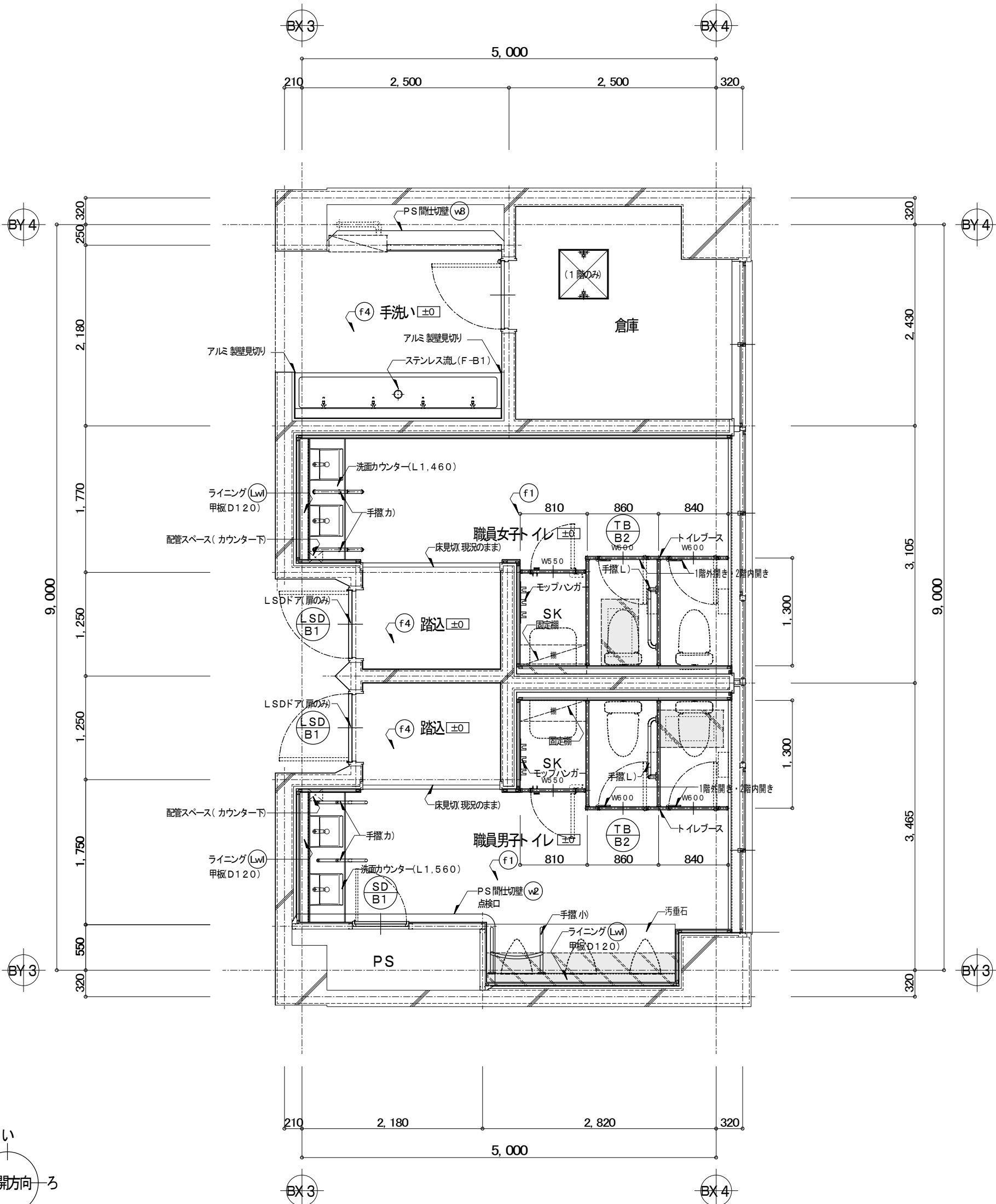
±0	廊下床を基準とした床高さを示す(単位: mm)	手摺仕様: 鋼管縦型φ34
	和風便器撤去部コンクリート充填 ±150を示す	小: 小便器用800×480×550 カ: カウンター 635×120×2個1組
	床及びライニング撤去部、無収縮モルタル ±50充填を示す	L: L型700×700×90 P型: 800×740(×590) ※壁掛洗面器用2個×1組
器具等の仕様は下記による。		
トイレブース: 建具表参照	固定棚仕様	甲板: メラミンポストフォーム t=20×[D]
LSDドア: 建具表参照	棚板: メラミンポストフォーム t=20×250D	
ステンレス流し: 隔て板: 家具図参照	支持金具: ステンレスアングル120×120(ビス止め) ×3	
	洗面カウンター: 人工大理石 D=450×[L] ボウル一体タイプ(水栓共) ※機械設備工事参照	
	モップハンガー: ステンレス製モップキャッチ金具3個 ※既製品	
	※手摺及び器具類の取付け下地削削は適切に行うこと。(全て本工事に含む)	

改修仕上表

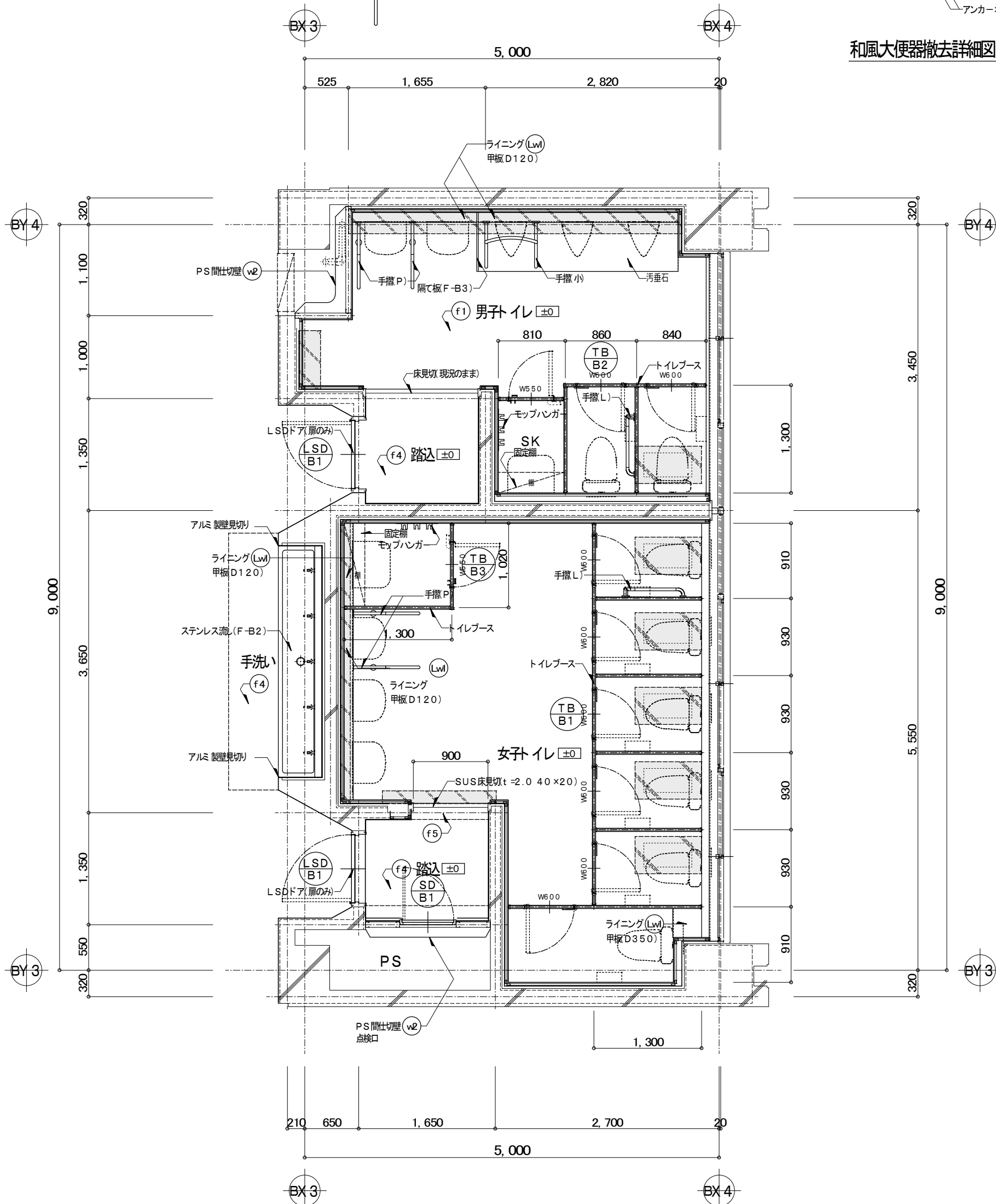
符号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
F1	床	カチオン下地(機材コナ塗り) セルフレベリング床材 せっこう系 t=45	ビニル床シート t=2.0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウム同等品	汚垂石は、「100(イトドロセラ・フロアPU (薄型) 」と同程度品とする。
F4	床	ケレン清掃	ビニル床シート t=2.0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウム同等品	
F5	床	セルフレベリング床材 せっこう系 t=8	ビニル床シート t=2.0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウム同等品	
F6	床	セルフレベリング床材 せっこう系 t=8	ビニル床シート t=2.0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウム同等品	
v2	壁	LGS壁下地65形φ300 シーリング石膏ボード t=12.5	メラミン化粧板 φ3 (目地シール)	
w8	壁	LGS壁下地65形φ300 石膏ボード t=12.5	樹脂塗料E (ゆず肌)	
Lw1	ライニング	LGS壁下地65形φ300 T-1 合板 t=12	メラミン化粧板 φ3 (目地シール)	



和風大便秘器撤去詳細図 S=1/30



1・2階平面詳細図 S=1/50



3～5階平面詳細図 S=1/50

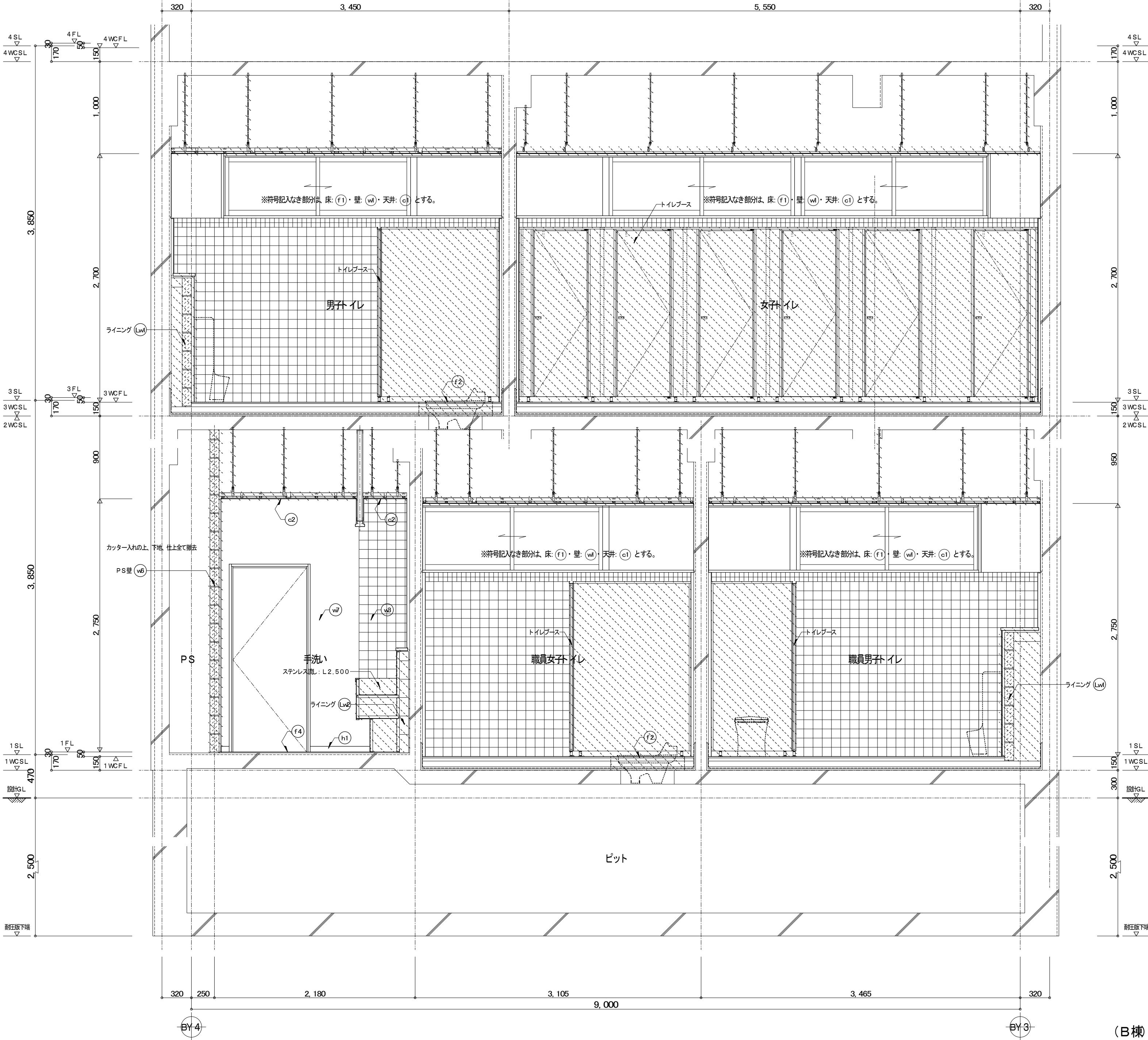
(B棟)

現 況

- 凡 例
- 撤去範囲を示す
- ※衛生器具の撤去は建築設備工事参照。
- ※撤去部材等の仕様は次の通り。
- 壁貼検口：スチール製 600×600)
- 照明ボックス：スチール製 ≒1.6加工(250×250×[L])
- ステンレス流し：ステンレス ≒1.2(L=30×30×3@1,200下地組)
- ※アスベスト含有仕上塗材(吹付タイル)は粉じん飛散防止材吹付の上
- 吹付されている材料(ボード、モルタル)ごと撤去する。
- ※その他は図示による。

現 況 仕 上 表 特記：(※3)はアスベスト含有建材(レベル3)を示す

符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
(f1)	床	均しモルタル、アスファルト 防水層、保護モルタル 押えコンクリート t ≒60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	既存面直仕上
(f2)	床	均しモルタル、アスファルト 防水層、保護モルタル 押えコンクリート t ≒60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(f3)	床	均しモルタル、アスファルト 防水層、保護モルタル 押えコンクリート t ≒60、モルタルタイル下地	磁器質タイル	カッター入れの上、下地モルタル、仕上撤去
(f4)	床	モルタル金ゴテ t ≒10(仕上含み)	ビニル床シート t ≒2.3	仕上撤去
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	仕上撤去
(w)	壁	上段：コンクリート 打放し 下段：コンクリート、モルタルタイル下地	上段：EP塗り 下段：磁器質タイル	胴縁組仕上
(v6)	壁	コンクリート 打放し	吹付タイル(※3)	直張り仕上
(v6)	壁	CBt ≒100種、モルタル金ゴテ	吹付タイル(※3)	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(Lw1)	ライニング	CBt ≒100種、モルタルタイル下地	磁器質タイル 甲板：テラゾーブロック t≒30×[D]	下地、仕上全て撤去
(Lw2)	ライニング	CBt ≒100種、L=30×30×3@1,200	ステンレス ≒1.2 甲板：テラゾーブロック t≒30×[D]	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(c1)	天井	LGS野縁	フレキシブルボード t ≒5(※3) EP塗り	現況下地、仕上全て撤去
(c2)	天井	LGS野縁	化粧石膏ボード t ≒9.5	現況下地、仕上全て撤去



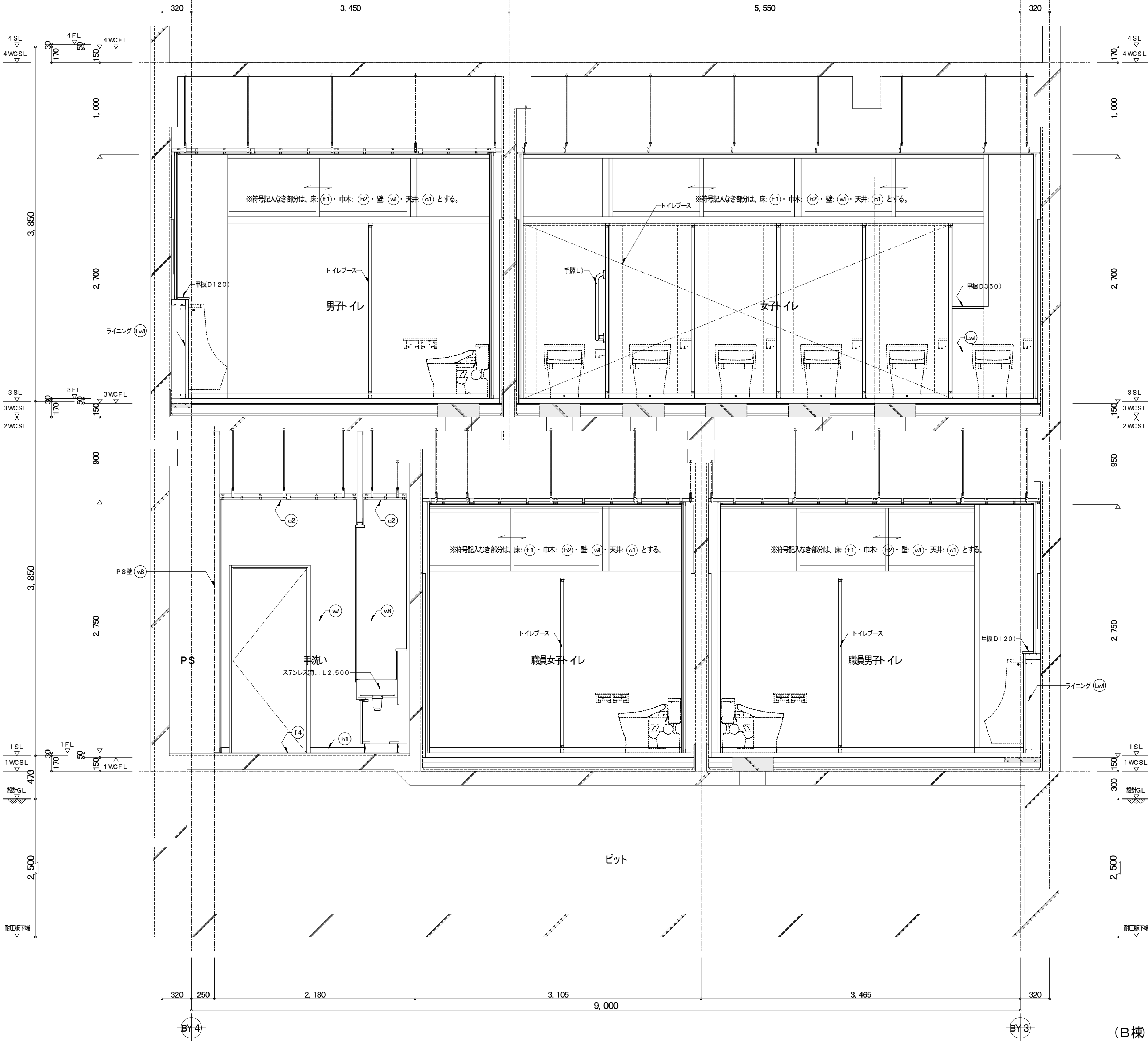
改 修

凡 例

- 和風障子撤去部コンクリート充填 =150を示す
- 床及びライニング撤去部、無収縮モルタル =50 充填を示す
- 器具等の仕様は下記による。
- 点検口、建具表参照
- トイレブース、建具表参照
- ステンレス高し、家具図参照
- 手摺仕様、指図仕様タイプφ34
- L: L 型700×700×90
- P 型: 550×800(×650) ※壁掛洗面器用 2 個×1 組
- 甲板: メラミンボストフォーム =20×D]
- 化粧鏡: 耐食鏡350×800(アルミフレーム付)

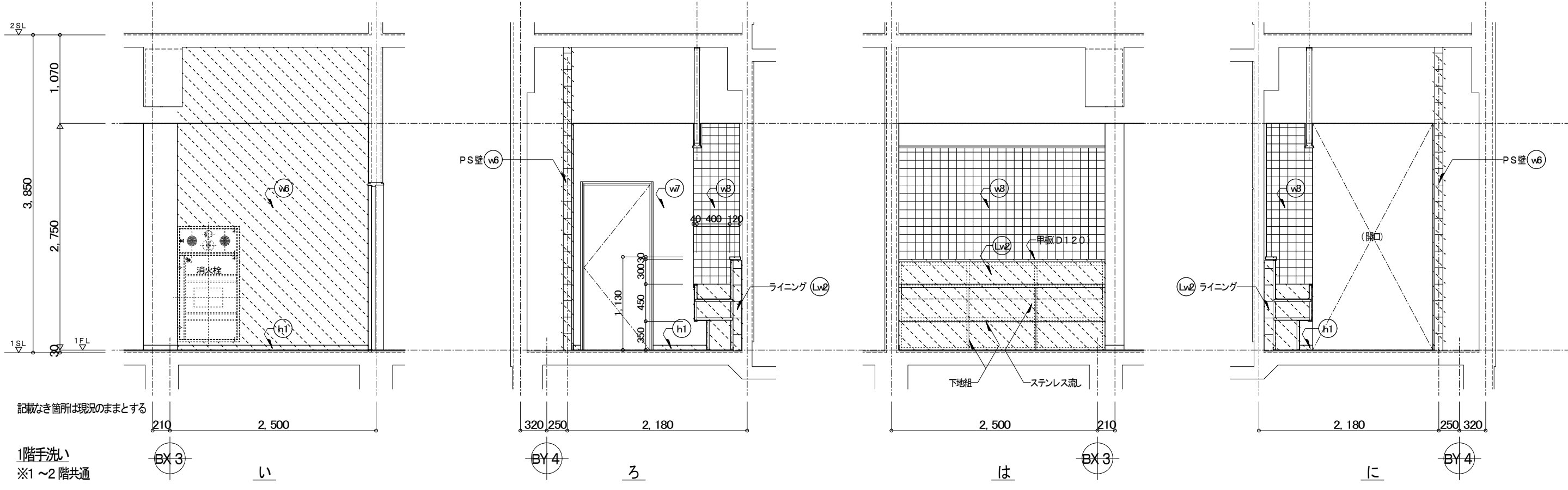
改 修 仕 上 表

符号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
(f1)	床	カチオン下地調整材コテ塗り セルフレベリング床材 せつこう系 t =4 5	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	汚垂石は、「TOTO」イドロセラ・フロアPU (薄型) 」と同程度品とする。
(f2)	床	開口閉塞、カチオン下地調整材コテ塗り セルフレベリング床材 せつこう系 t =4 5	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	
(f3)	床	無収縮モルタル充填 セルフレベリング床材 せつこう系 t =4 5	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	
(f4)	床	クレン清掃	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	
(f5)	床	セルフレベリング床材 せつこう系 t =8	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	
(f6)	床	セルフレベリング床材 せつこう系 t =8	ビニル床シート t =2. 0 (超防汚・抗菌) ロンシール工業株式会社 サニタリウムN同等品	
(h1)	巾木		ソフト 巾木 H=60	
(h2)	巾木		ステンレス巾木 H=60×t =0. 8 (SUS304 HL 仕上)	
(w)	壁	LGS 耐摩 40×20) @300 シーリング石膏ボード t =12. 5	メラミン化粧板 =3 (目地シール)	
(v6)	壁	LGS 壁下地65 形@300 シーリング石膏ボード t =12. 5	メラミン化粧板 =3 (目地シール)	
(v6)	壁	カチオン下地調整材コテ塗り	メラミン化粧板 =3 (目地シール)	
(Lw)	ライニング	LGS 壁下地65 形@300 T-1 合板 =12	メラミン化粧板 =3 (目地シール)	
(c1)	天井	LGS 野縁19 型@303	化粧石膏吸音ボード t =9. 5	廻り縁、塩ビ製
(c2)	天井	LGS 野縁19 型@225	化粧石膏ボード t =9. 5	廻り縁、塩ビ製



(B棟)

現 況

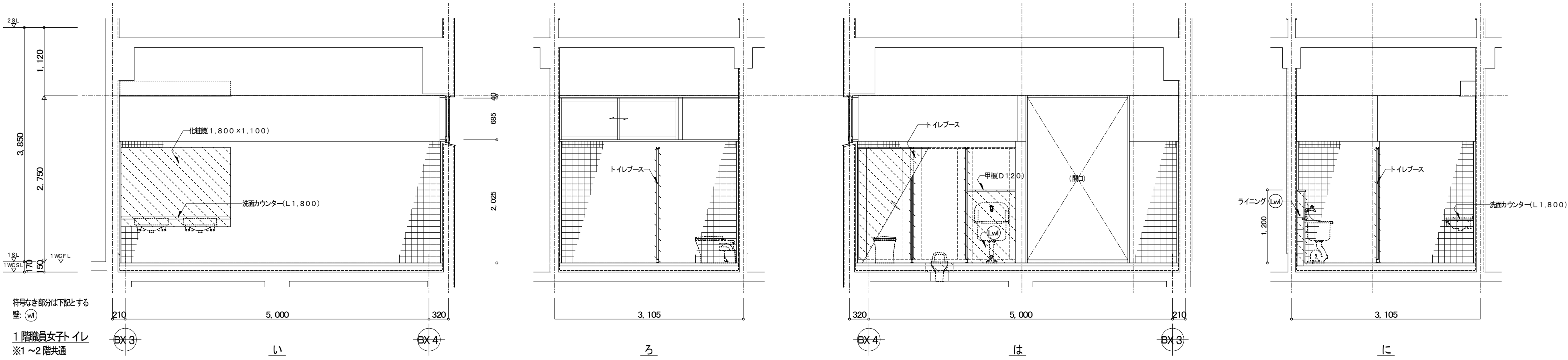
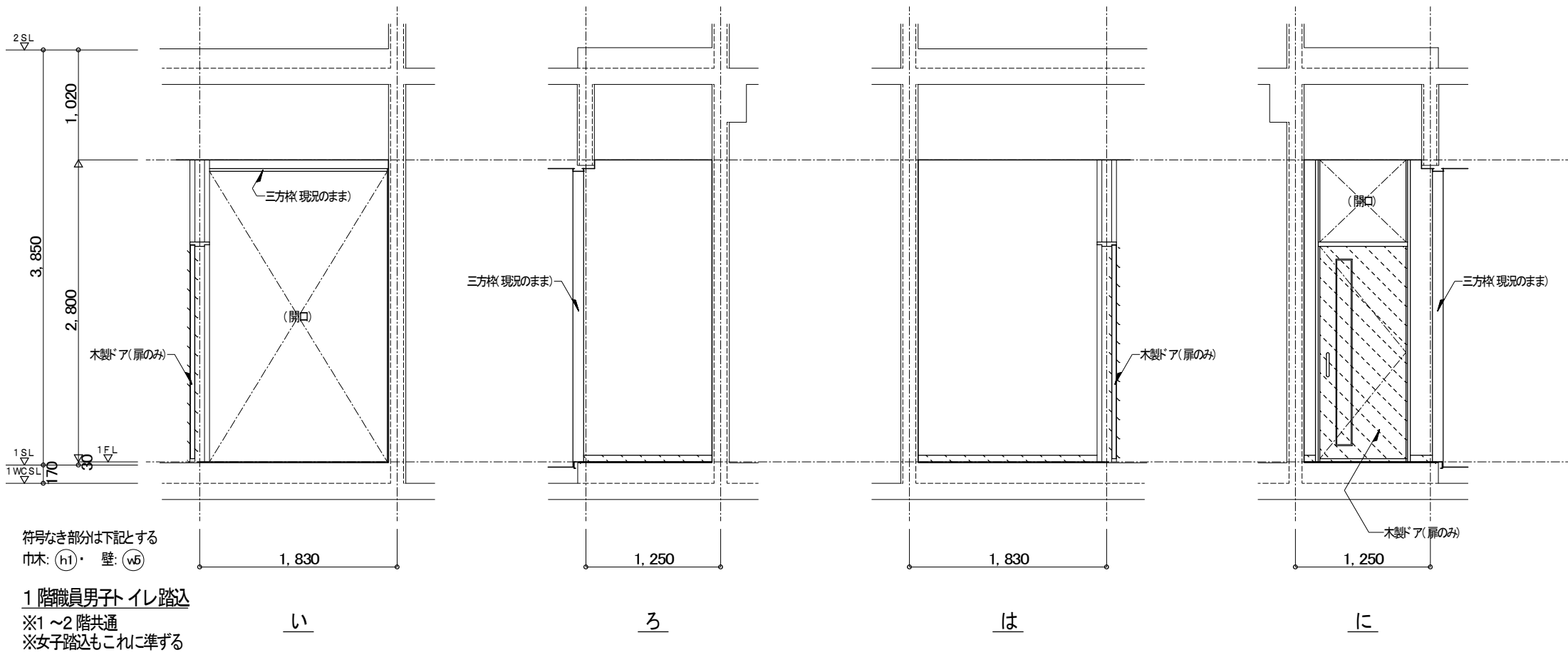


凡 例

	撤去範囲を示す	※アスベスト含有仕上塗材 吹付タイルは焼じん飛散防止材吹付の上
※衛生器具の撤去は機械設備工事参照		吹付されている材料 ボード、モルタルごと撤去する。
※撤去部材等の仕様は次の通り。		※その他は図示による。
木製ドア: 800 x 2,000 (ガラス: F-4、150 x 1,700)		
トイレブース: 木製 t=40 x 1,900		
洗面カウンター:メラミンポストフォーム[L] x 440 x 125 x t 30)		

現 況 仕 上 表 特記 (※3)はアスベスト含有建材レベル3)を示す

符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	仕上撤去
(v1)	壁	上段: コンクリート 打放し 下段: コンクリート、モルタルタイル下地	上段: EP 塗 下段: 陶器質タイル	陶器質仕上
(v8)	壁	コンクリート、モルタルタイル下地	陶器質タイル	直張り 仕上
(v5)	壁	コンクリート 打放し	吹付タイル(※3)	直張り 仕上
(v6)	壁	CBt =100 種、モルタル金ごて	吹付タイル(※3)	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(w7)	壁	コンクリート 打放し	吹付タイル(※3)	塗替え
(Lv1)	ライニング	CBt =100 種、モルタルタイル下地	陶器質タイル 甲板: テラゾーブロック t=30 x[D]	下地、仕上全て撤去
(Lv8)	ライニング	CBt =100 種、L-30 x 30 x 3 @1,200	ステンレス t=1.2 甲板: テラゾーブロック t=30 x[D]	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去



(B棟)

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印

設 計

設計年月日
R 5 . 1 . 31
変更年月日

工事名称

川越市立川越高等学校・イレ改修工事(B棟)

図面名称

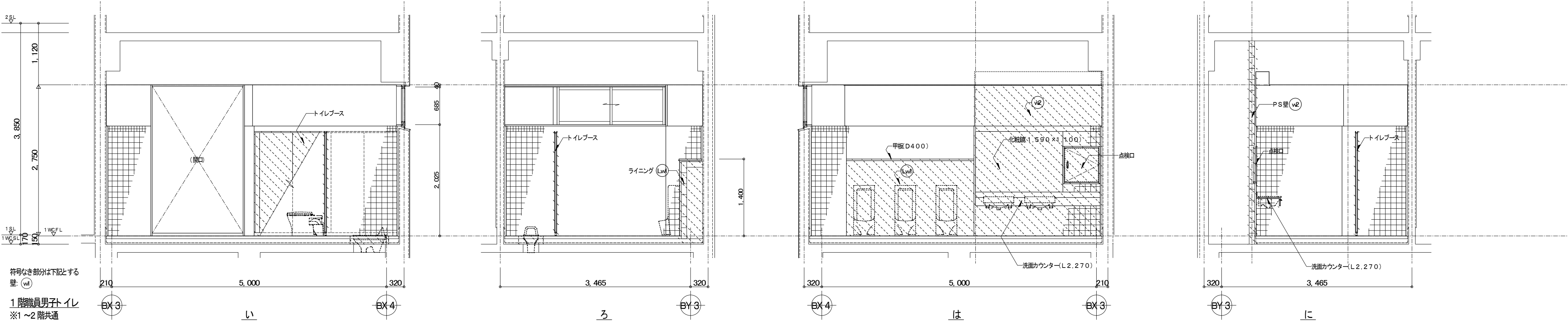
現況 展開図1

Scale
S=1/50

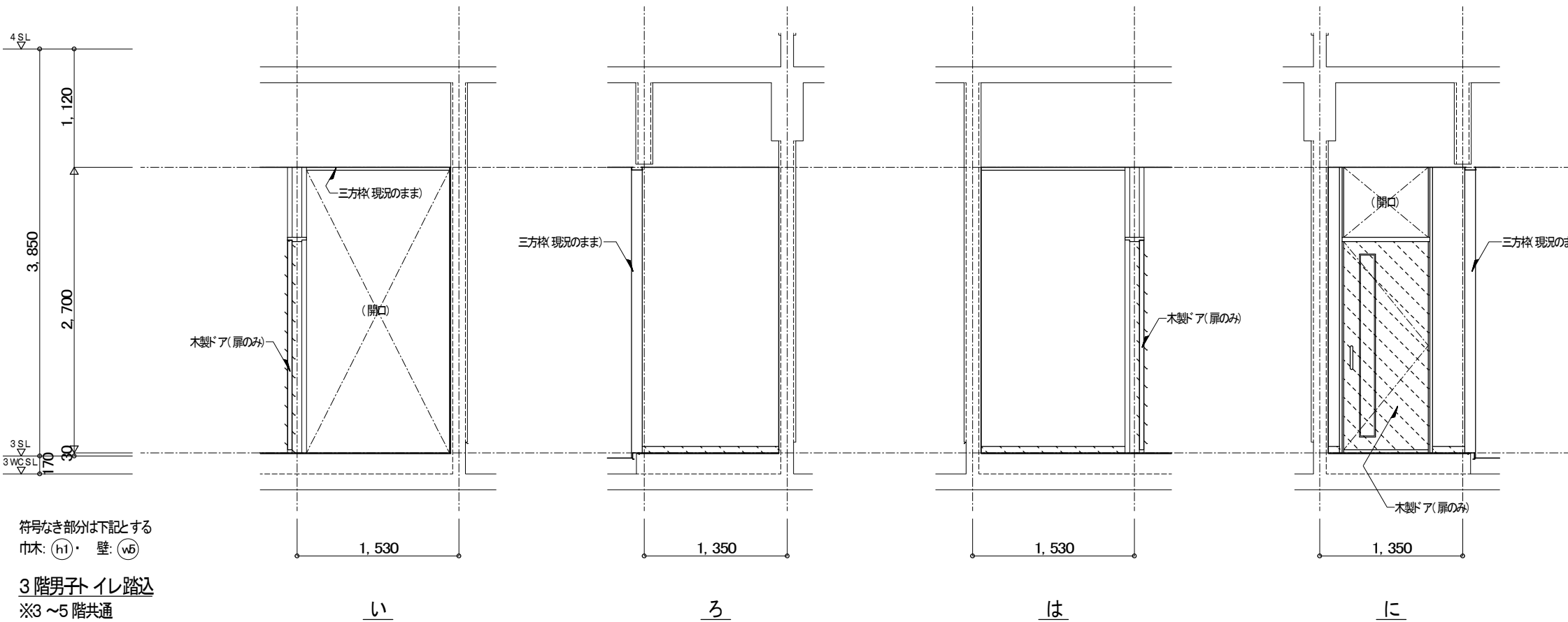
No.

A-19

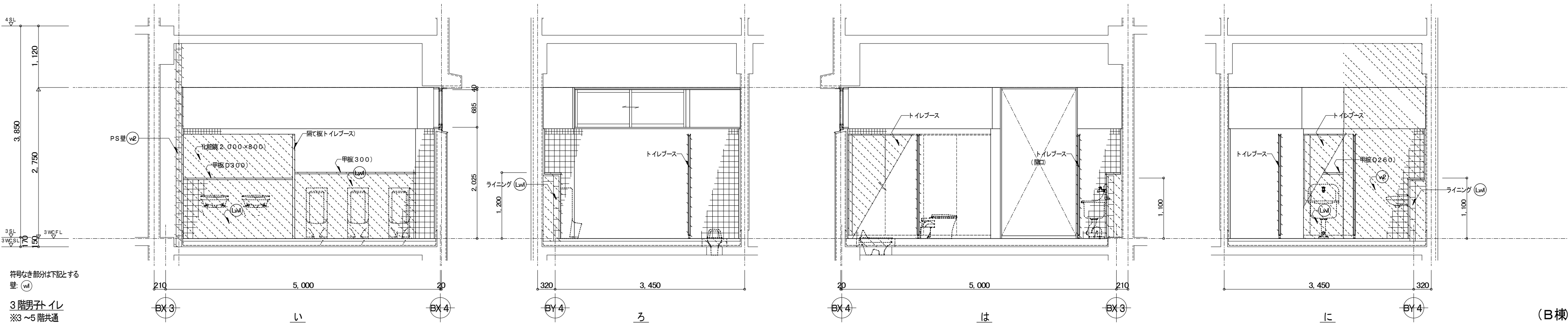
現 況



符号なき部分は下記とする
壁: (w)
1階職員男子トイレ
※1～2階共通



符号なき部分は下記とする
巾木: (h1)・壁: (v6)
3階男子トイレ踏込
※3～5階共通



符号なき部分は下記とする
壁: (w)
3階男子トイレ
※3～5階共通

凡 例

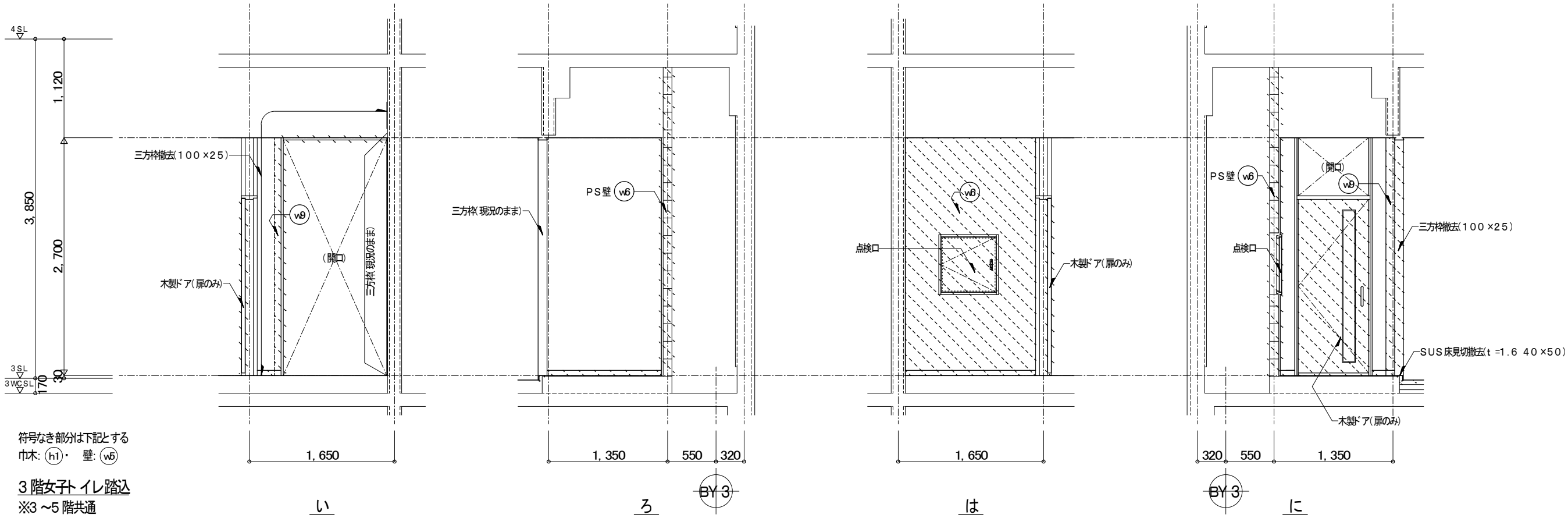
- 撤去範囲を示す
- ※衛生器具の撤去は機械設備工事参照
- ※撤去部材等の仕様は次の通り
- 木製ドア: 800 x 2,000 (ガラス: F-4, 150 x 1,700)
- トイレブース: 木製, t=40 x 1,900
- 洗面カウンター: メラミンポストフォーム (L) x 440 x 125 x t 30
- ※アスベスト含有仕上塗材 吹付タイルは焼じん飛散防止材吹付の上
吹付されている材料 ボード、モルタルごと撤去する。
- ※その他は図示による。

現 況 仕 上 表 特記: (※3)はアスベスト含有建材(レベル3)を示す

符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	仕上撤去
(w)	壁	上段: コンクリート 打放し 下段: コンクリート、モルタルタイル下地	上段: EP 塗リ 下段: 陶磁質タイル	陶磁仕上げ
(v2)	壁	上段: CBt =100 積、モルタル金こて 下段: CBt =100 積、モルタルタイル下地	上段: EP 塗リ 下段: 陶磁質タイル	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(v5)	壁	コンクリート 打放し	吹付タイル(※3)	直張り 仕上
(Lw)	ライニング	CBt =100 積、モルタルタイル下地	陶磁質タイル 甲板: テラソーブロック t=30 x [D]	下地、仕上全て撤去

(B棟)

現 況



符号なき部分は下記とする
巾木: (H1) 壁: (V6)
3階女子トイレ
※3～5階共通

凡 例

撤去範囲を示す

※衛生器具の撤去は機械設備工事参照

※撤去部材等の仕様は次の通り

木製ドア: 800 x 2,000 (ガラス: F-4, 150 x 1,700)

トイレブース: 木製 t=40 x 1,900

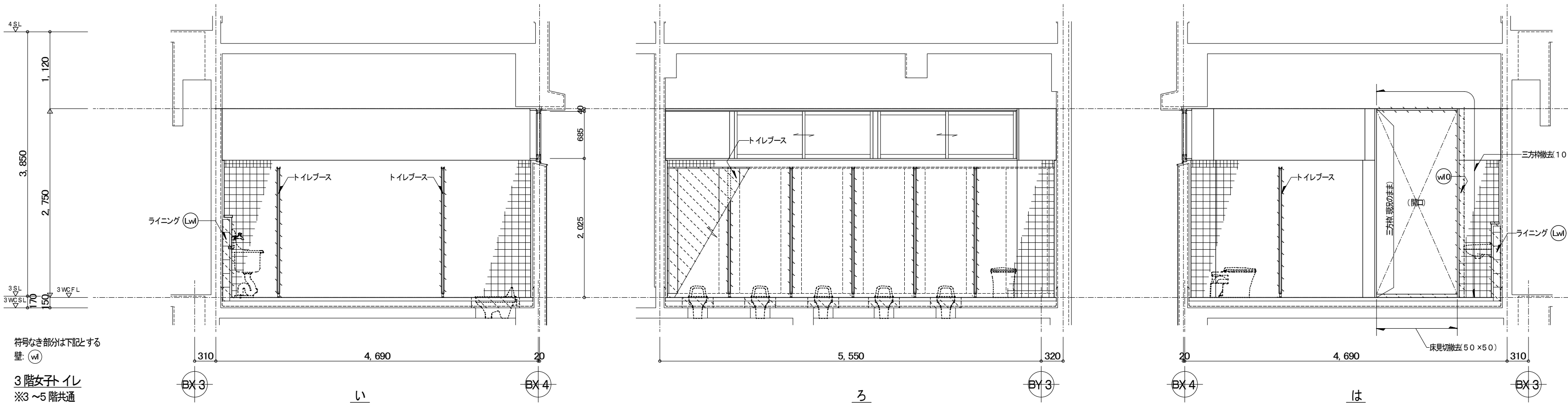
※アスベスト含有仕上塗材(吹付タイル)は焼じん飛散防止材吹付の上

吹付されている材料(ボード、モルタル)ごと撤去する。

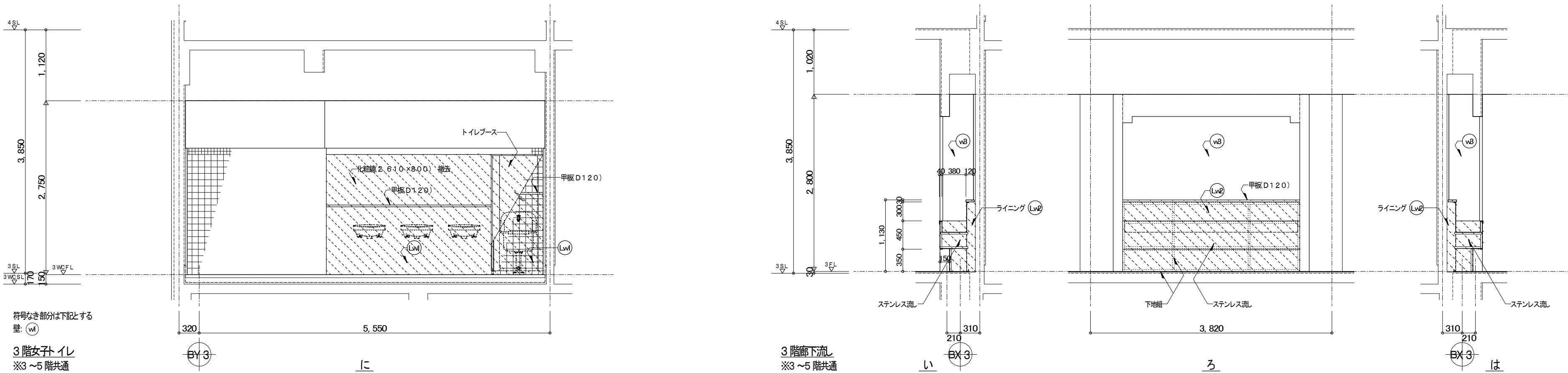
※その他は図示による。

現 況 仕 上 表

符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
(H1)	巾木		ソフト巾木 H=60	仕上撤去
(W1)	壁	上段: コンクリート打放し 下段: コンクリート、モルタルタイル下地	上段: EP塗り 下段: 陶器質タイル	胴縁撤去仕上
(V8)	壁	コンクリート、モルタルタイル下地	陶器質タイル	直張り仕上
(W4)	壁	コンクリート打放し	吹付タイル(※3)	胴縁撤去仕上
(V6)	壁	コンクリート打放し	吹付タイル(※3)	直張り仕上
(V6)	壁	CBt=100種、モルタル金ごて	吹付タイル(※3)	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去
(V8)	壁	コンクリート打放し	吹付タイル(※3)	カッター入れの上、コンクリートはつり
(W10)	壁	上段: コンクリート打放し 下段: コンクリート、モルタルタイル下地	上段: EP塗り 下段: 陶器質タイル	カッター入れの上 コンクリートはつり、下地モルタル、仕上撤去
(LW1)	ライニング	CBt=100種、モルタルタイル下地	陶器質タイル 甲板: テラゾーブロック t=30 x [D]	下地、仕上全て撤去
(LW2)	ライニング	CBt=100種、L-30 x 30 x 3 @1,200	ステンレス t=1.2 甲板: テラゾーブロック t=30 x [D]	カッター入れの上、下地、仕上全て撤去



符号なき部分は下記とする
壁: (W1)
3階女子トイレ
※3～5階共通



符号なき部分は下記とする
壁: (W1)
3階女子トイレ
※3～5階共通

3階廊下流し
※3～5階共通

(B棟)

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出

検 印

設 計

設計年月日

R 5 . 1 . 31

変更年月日

工事名称

川越市立川越高等学校 イレ改修工事(B棟)

図面名称

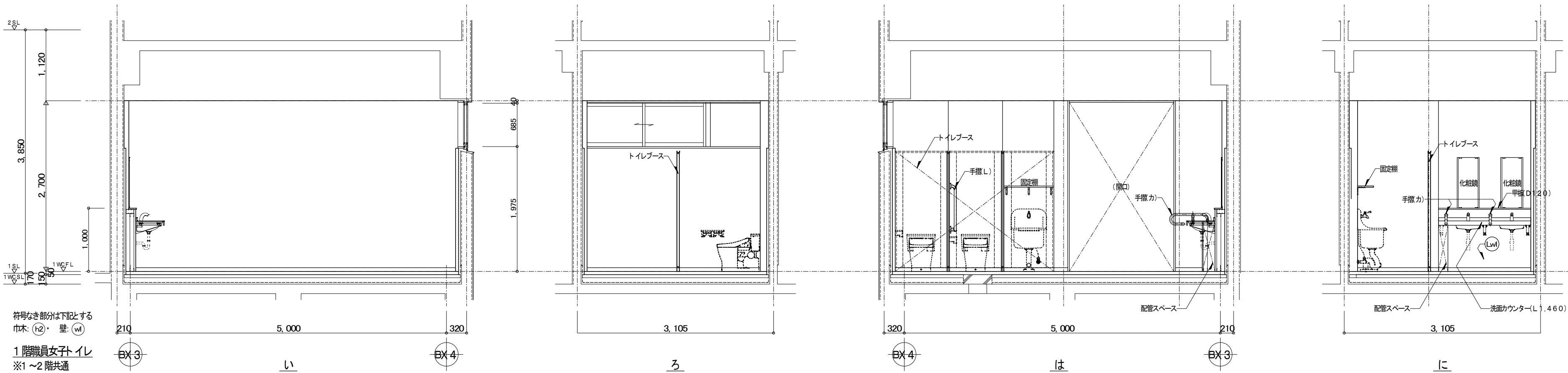
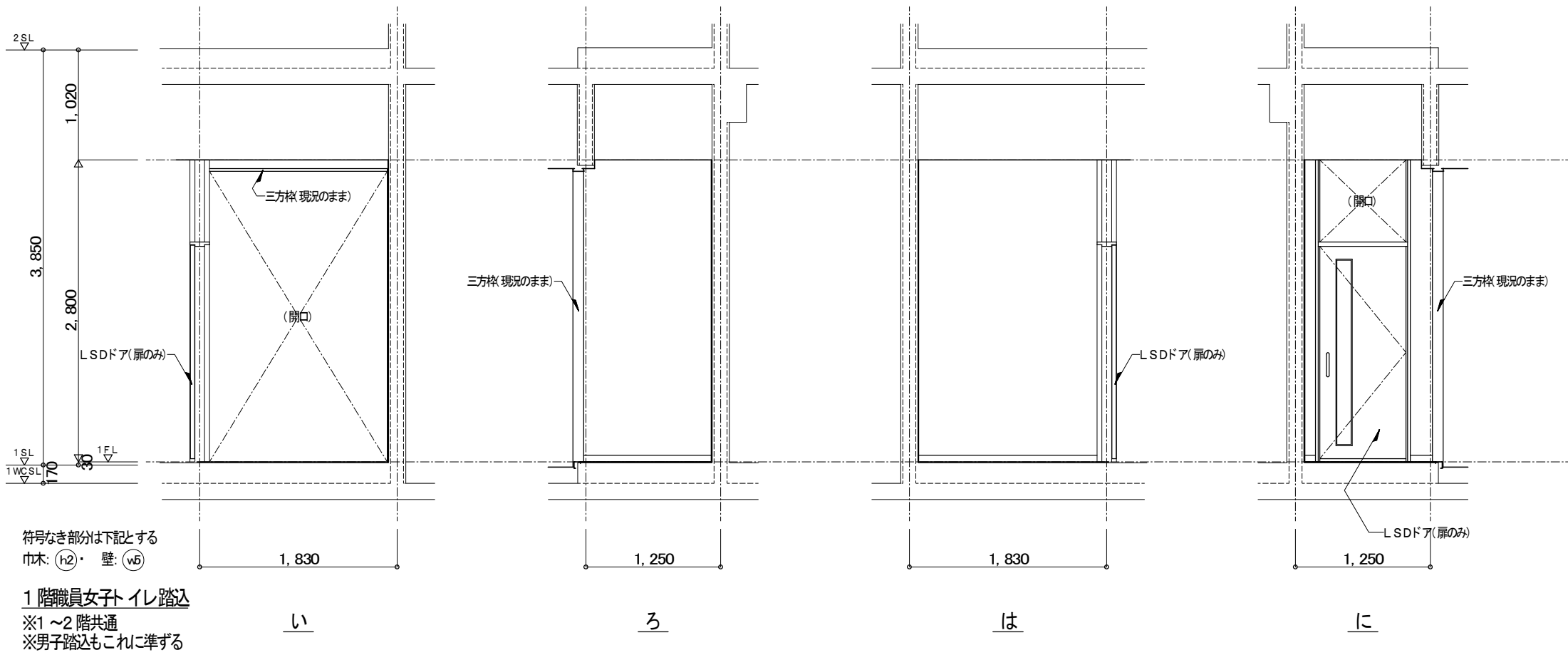
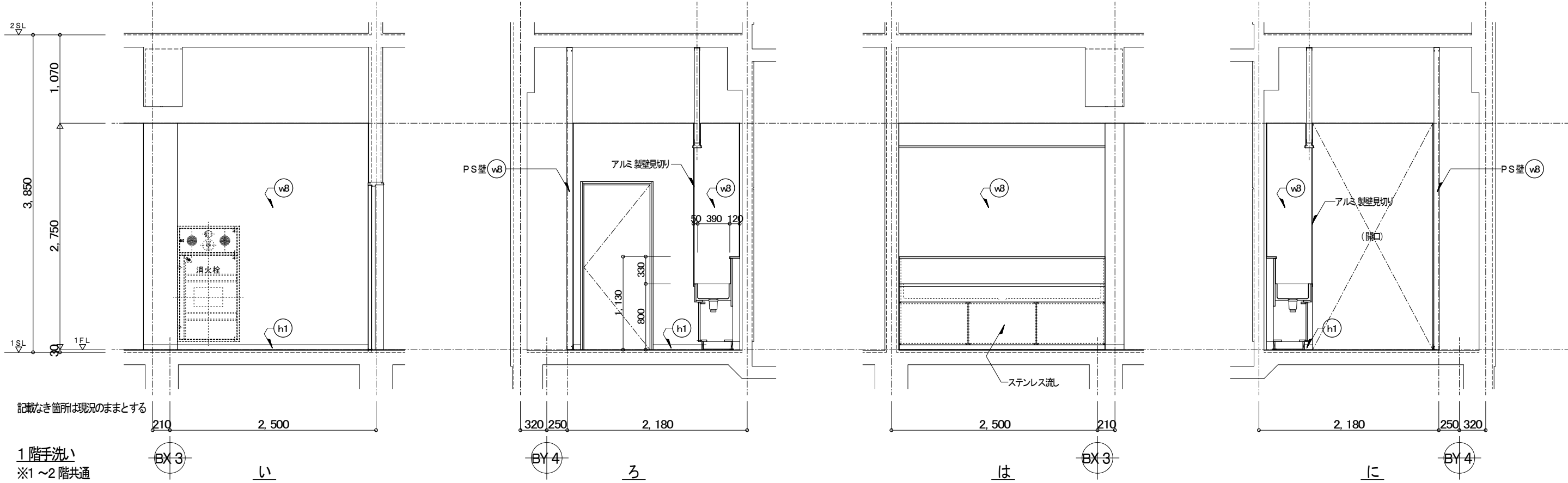
現況 展開図3

Scale
S=1/50

No.

A-21

改 修



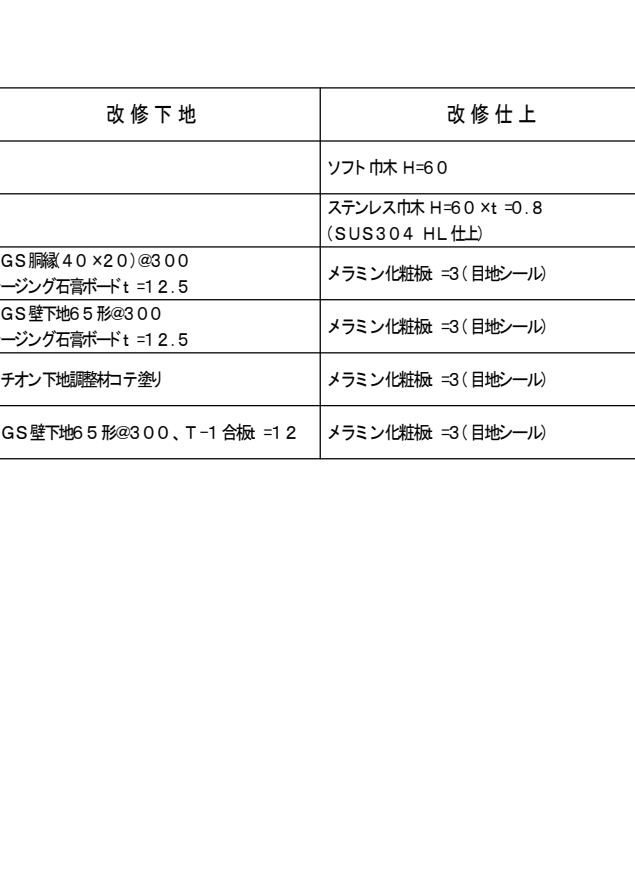
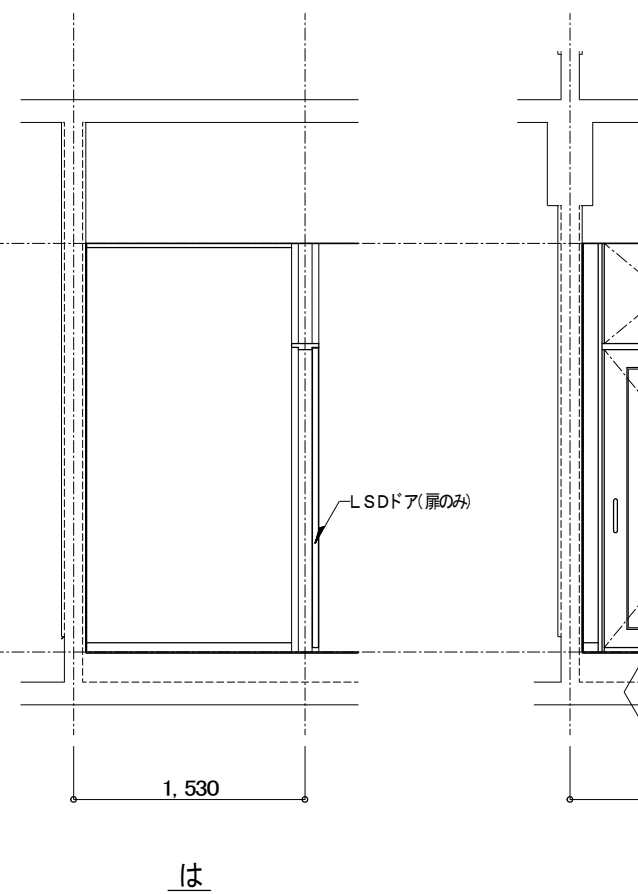
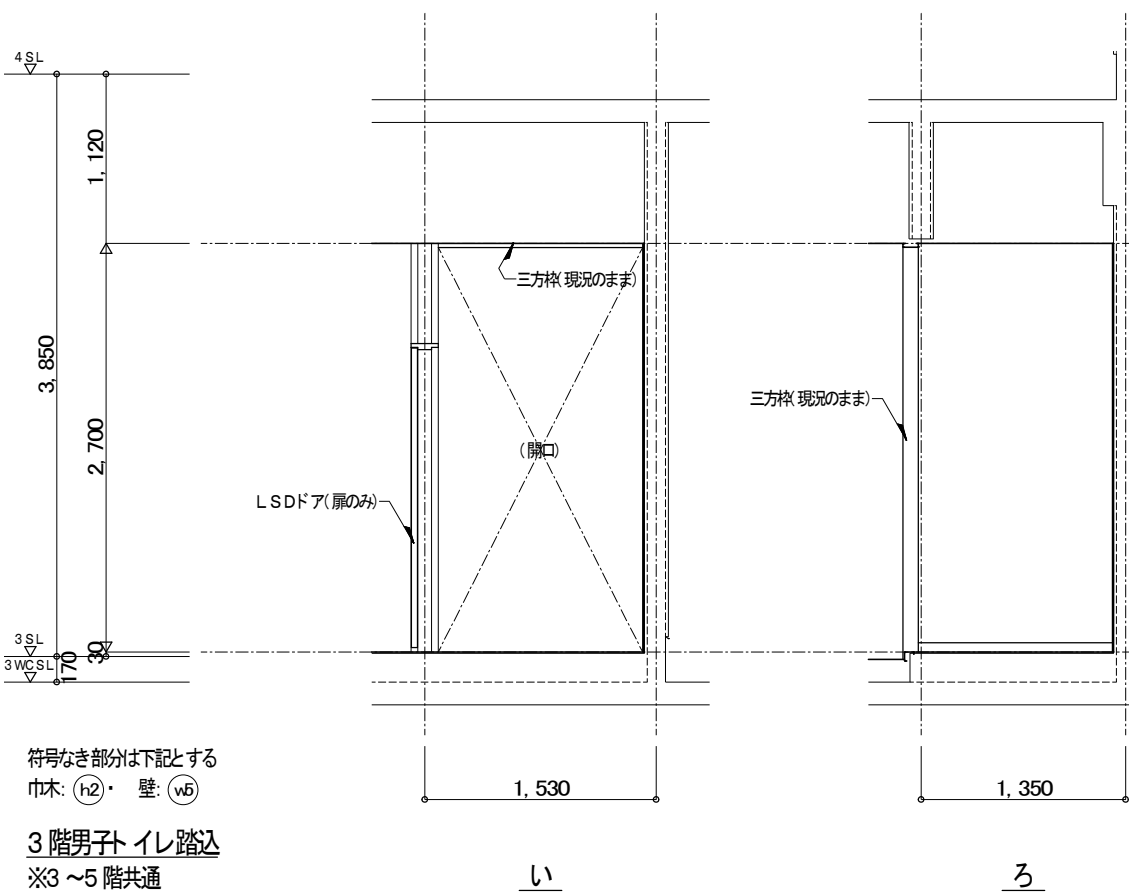
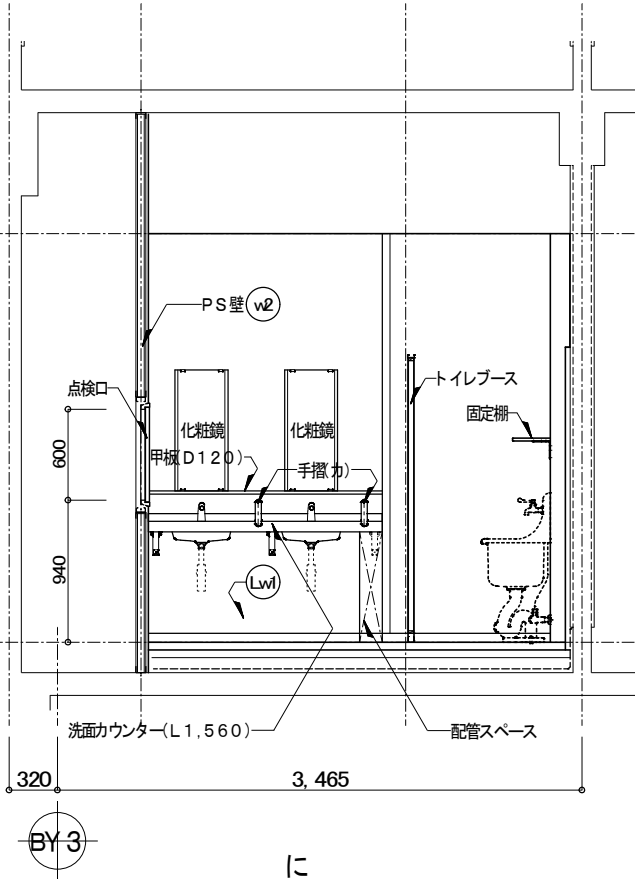
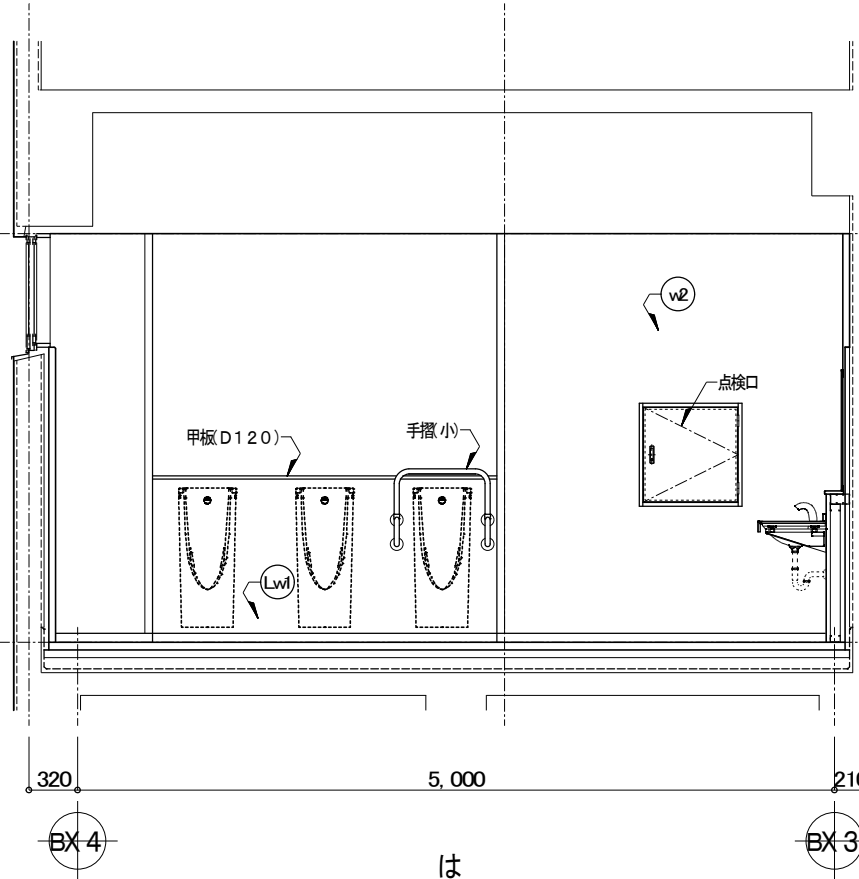
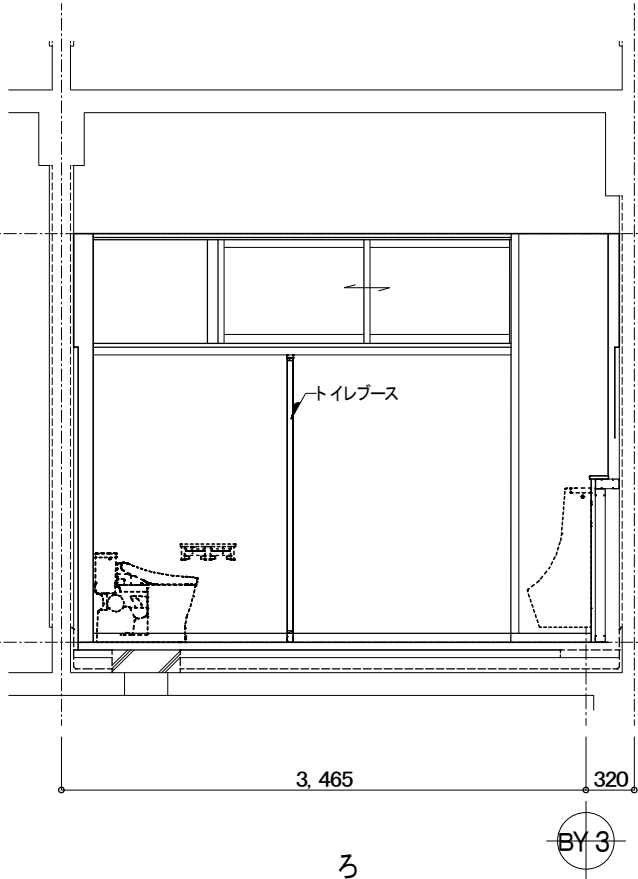
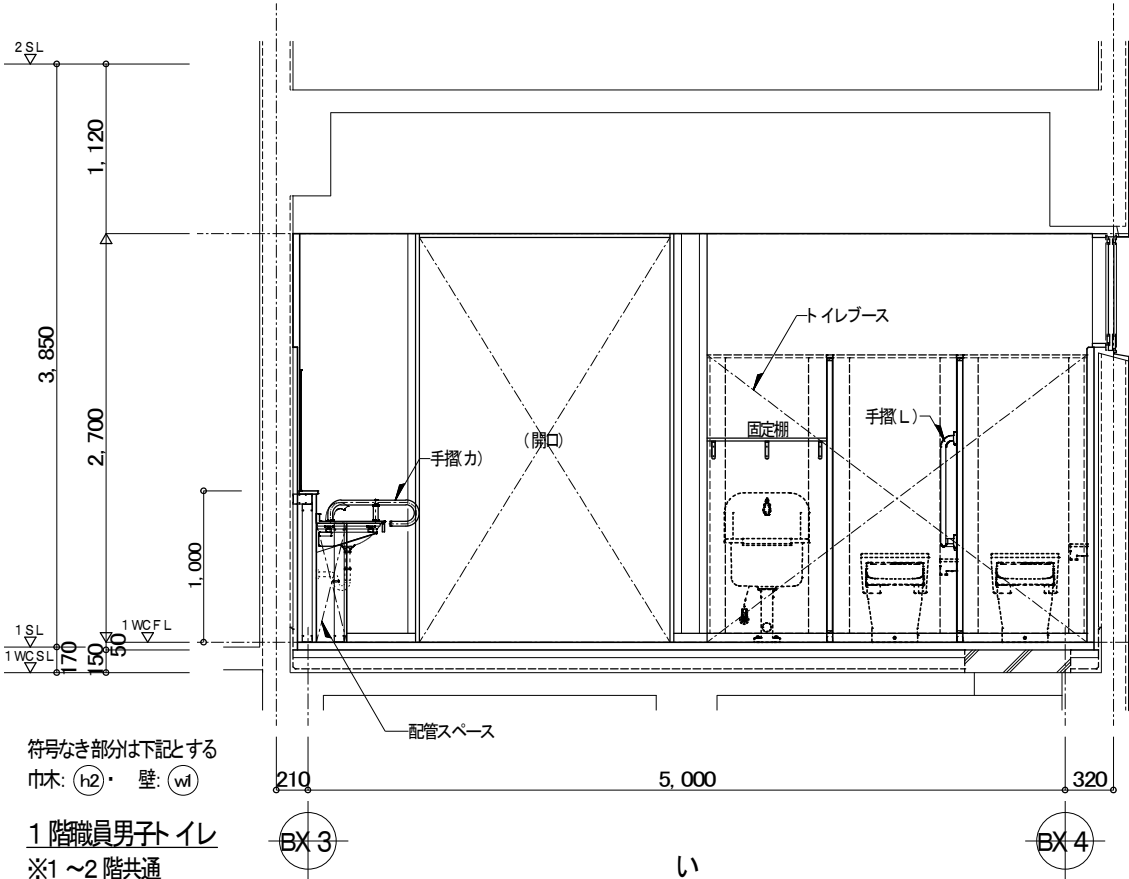
凡 例

- 器具等の仕様は下記による。
- トイレブース: 建具表参照
 - LSDドア: 建具表参照
 - ステンレス流し: 厨て板: 家具図参照
 - 手置仕様: 樹形微暖タイプφ34
 - 小: 小便器用φ00×480×550 カ: カウンター: 635×120×2個1組
 - L: L型700×700×90 P型: 800×740(×590) ※壁掛洗面器用2個×1組
 - 甲板: メラミンポストフォームt=20×[D]
 - 洗面カウンター: 人工大理石 D=450×[L] ポウラー一体タイプ(水栓共)
 - 固定棚仕様
 - 棚板: メラミンポストフォームt=20×250D
 - 支持金具: ステンレスアングル120×120(ビス止め) ×3
 - モップハンガー: ステンレス製モップキャッチ金具3個 ※既製品

改 修 仕 上 表				
符号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(h2)	巾木		ステンレス巾木 H=60 ×t=0.8 (SUS304 HL仕上)	
(w)	壁	LGS鋼線40×20)@300 シーリング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板 ≈3(目地シール)	
(v8)	壁	カチオン下地調整材コテ塗り	メラミン化粧板 ≈3(目地シール)	
(v5)	壁	カチオン下地調整材コテ塗り	メラミン化粧板 ≈3(目地シール)	
(v8)	壁	LGS壁下地φ5形@300 石膏ボードt=12.5	樹脂塗料(ゆず肌)	
(Lw)	ライニング	LGS壁下地φ5形@300、T-1合板 t=12	メラミン化粧板 ≈3(目地シール)	

(B棟)

改修



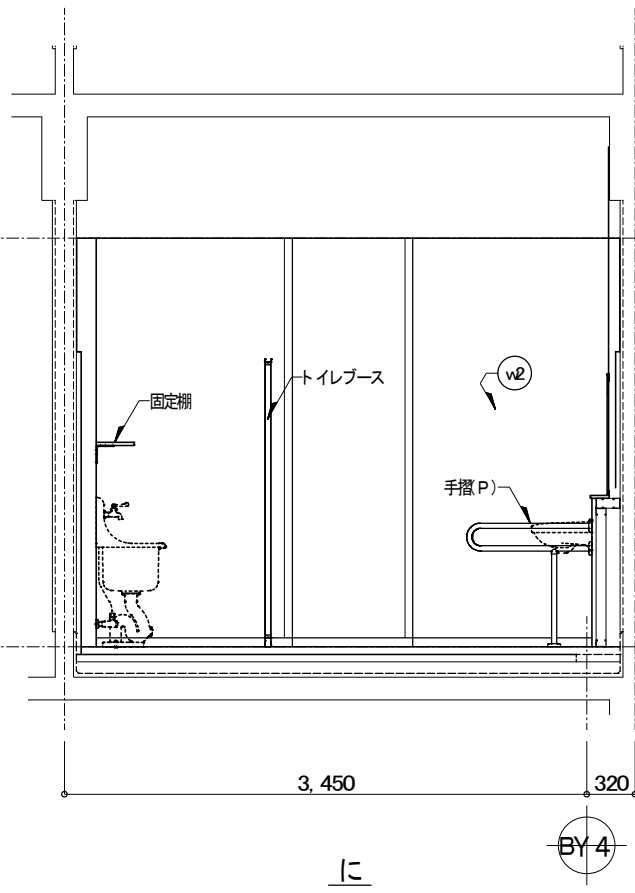
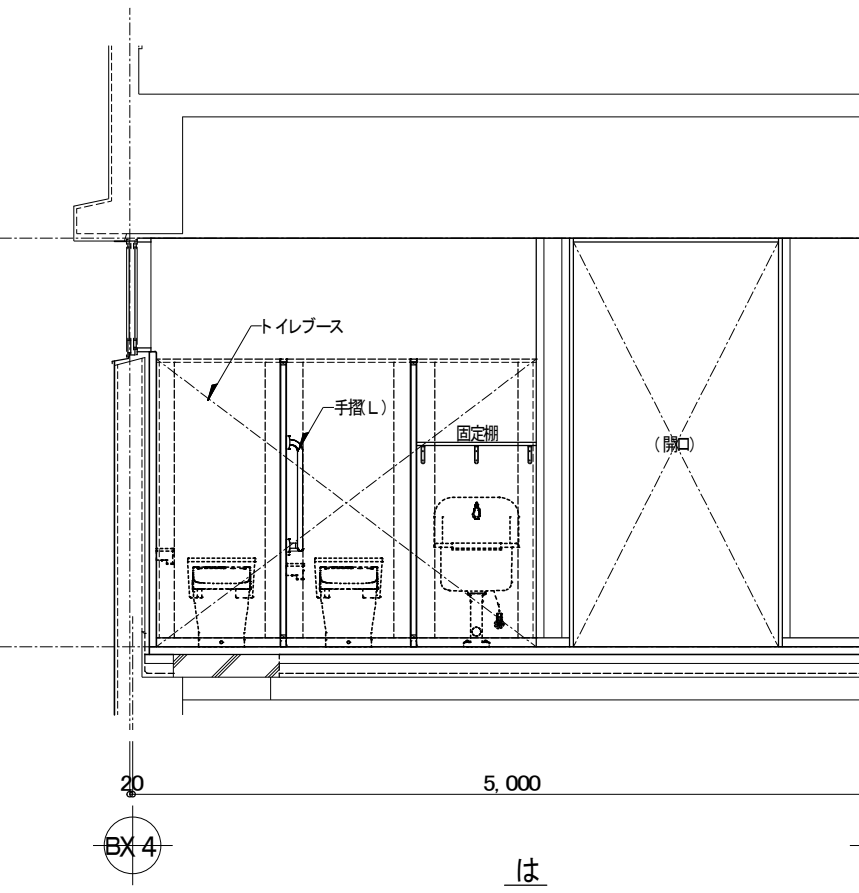
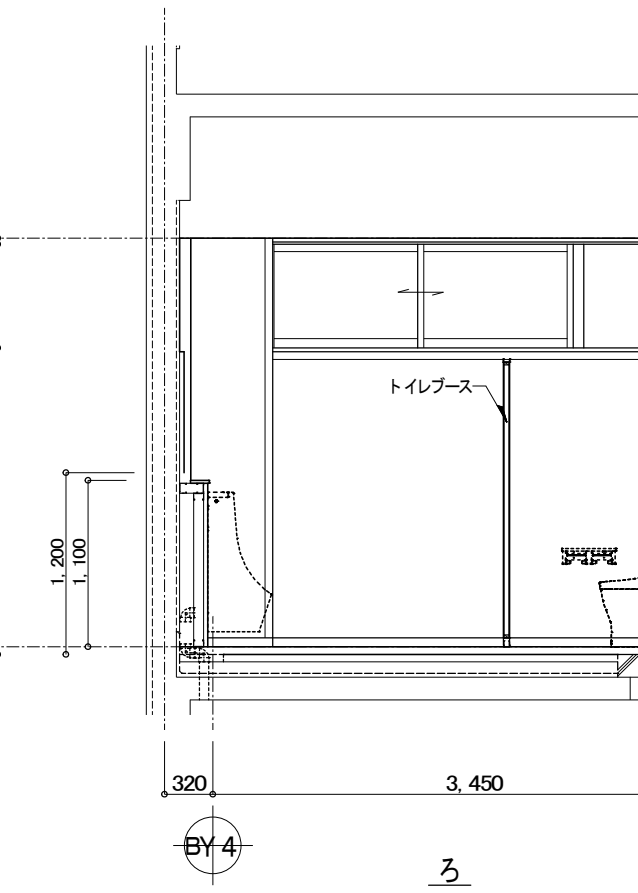
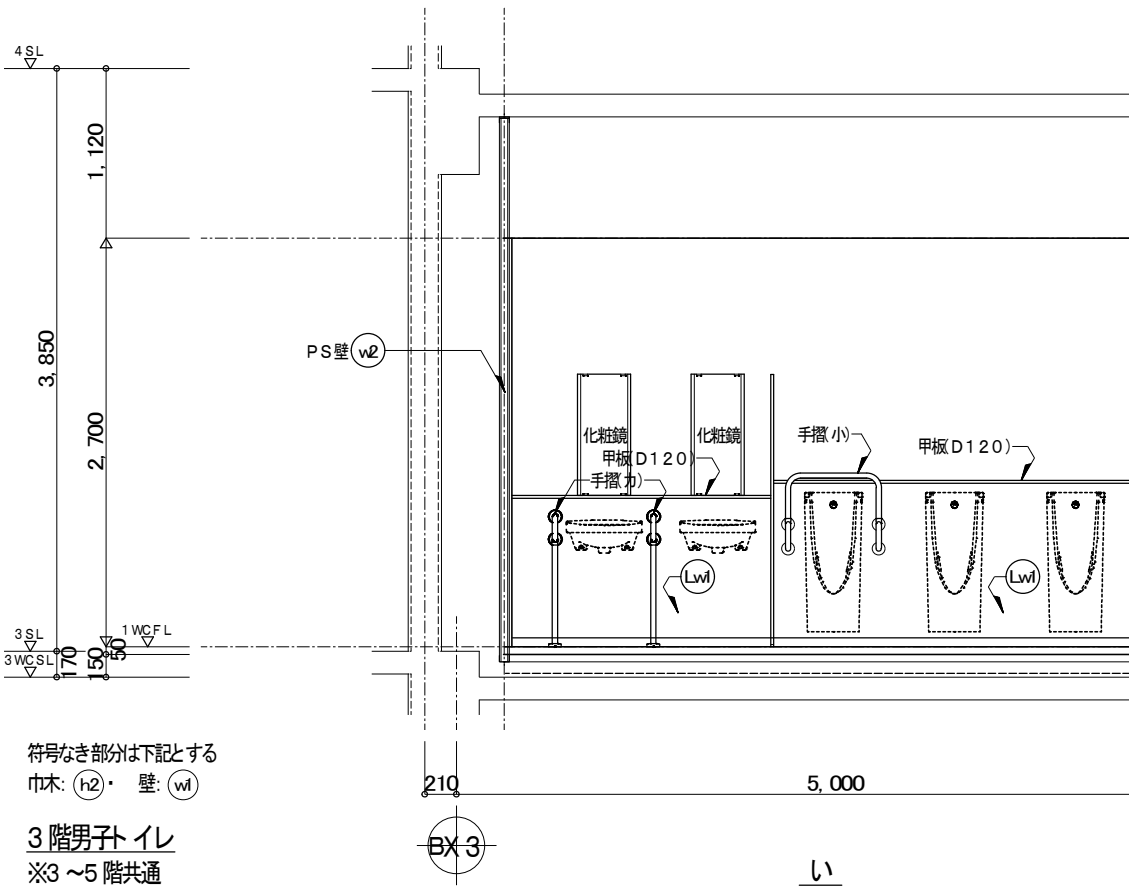
凡例

器具等の仕様は下記による。

- LSDドア・点検口・トイレブース: 建具表参照
- ステンレス高し: 隔て板: 家具図参照
- 手置は様: 掛網織網タイプφ3.4
- 小: 小便器用600×480×550 カ: カウンター 635×120×2個1組
- L: L型700×700×90 P型: 800×740(×590) ※壁掛洗面器用2個×1組
- 甲板: メラミンポストフォームH=20×2[D]
- 洗面カウンター: 人工大理石D=450×[L] ボウル一体タイプ(水栓付) ※機械設置工事参照
- 固定棚仕様
- 鏡板: メラミンポストフォームH=20×250D
- 支持金具: ステンレスアングル120×120(ビス止め) ×3
- モップハンガー: ステンレス製モップキャッチ金具3個 ※既製品

改修仕上表

符号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
(h1)	巾木		ソフト巾木 H=60	
(h2)	巾木		ステンレス巾木 H=60 ×t=0.8 (SUS304 HL仕上)	
(w)	壁	LGS鋼板40×20)@300 シーリング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板 ≈3(目地セール)	
(w2)	壁	LGS壁下地65形@300 シーリング石膏ボードt=12.5	メラミン化粧板 ≈3(目地セール)	
(v6)	壁	カチオン下地調整材コチ塗り	メラミン化粧板 ≈3(目地セール)	
(Lw)	ライニング	LGS壁下地65形@300、T-1合板 ≈12	メラミン化粧板 ≈3(目地セール)	



(B棟)

特記事項



斉藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

検 印

設 計

設計年月日

R 5 . 1 . 31

変更年月日

工事名称

川越市立川越高等学校・イレ改修工事(B棟)

図面名称

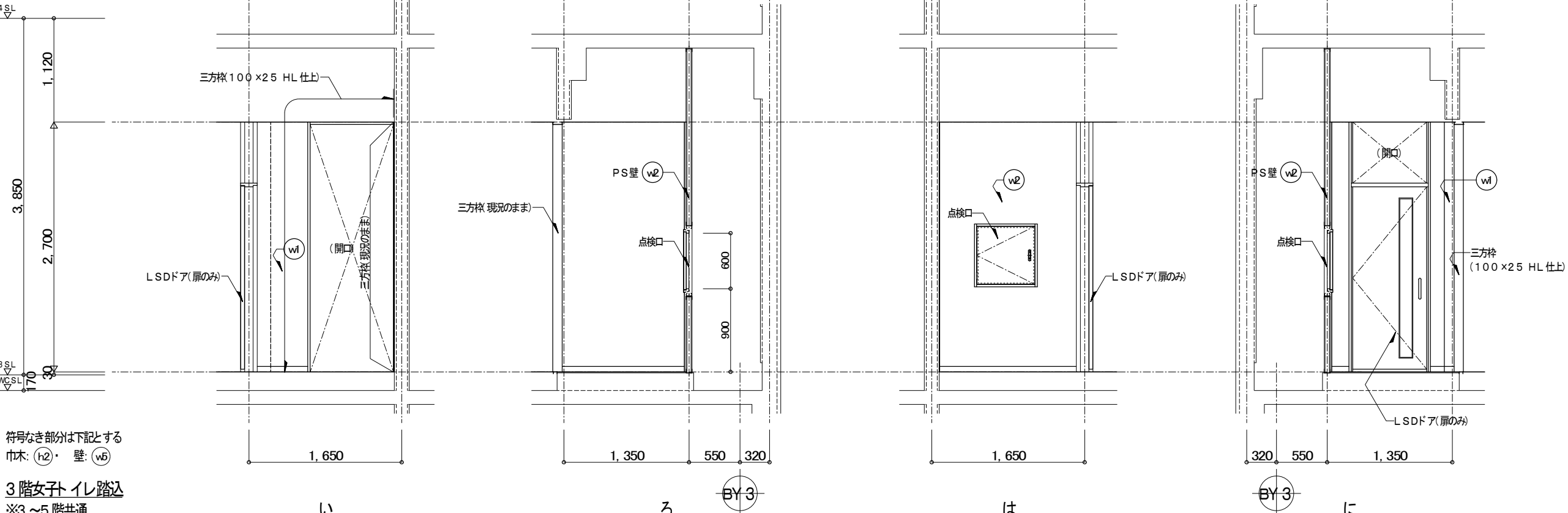
改修 展開図2

Scale
S=1/50

No.

A-23

改 修



符 号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
(h1)	巾巾		ソフト巾巾 H=60	
(h2)	巾巾		ステンレス巾巾 H=60 xt =0.8	
(w1)	壁	LGS鋼線 40×20)@300 シーリング右寄ボード t=12.5	メラミン化粧板 t=3 (目地シール)	
(w2)	壁	LGS壁下地65形@300 シーリング右寄ボード t=12.5	メラミン化粧板 t=3 (目地シール)	
(w3)	壁	カチオン下地調整材コテ塗り	メラミン化粧板 t=3 (目地シール)	
(w5)	壁	カチオン下地調整材コテ塗り	メラミン化粧板 t=3 (目地シール)	
(Lw1)	ライニング	LGS壁下地65形@300、T-1 合板 t=12	メラミン化粧板 t=3 (目地シール)	

凡 例

器具等の仕様は下記による。

LSDドア・点検口・トイレブース: 建具表参照

ステンレス流し・隔て板: 家具図参照

手摺仕様: 樹脂被覆タイプφ34

小: 小便器用 600×480×550 カ: カウンター 635×120×2 個(1組)

L: L型700×700×90 P型: 800×740(×590) ※壁掛洗面器用2個×1組

甲板: メラミンポストフォーム $t=20 \times [D]$

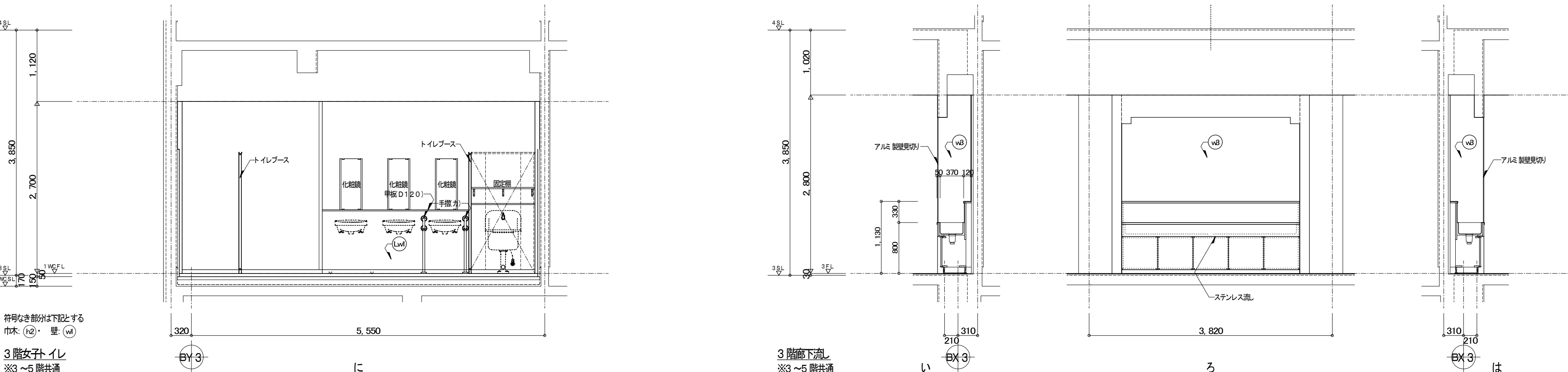
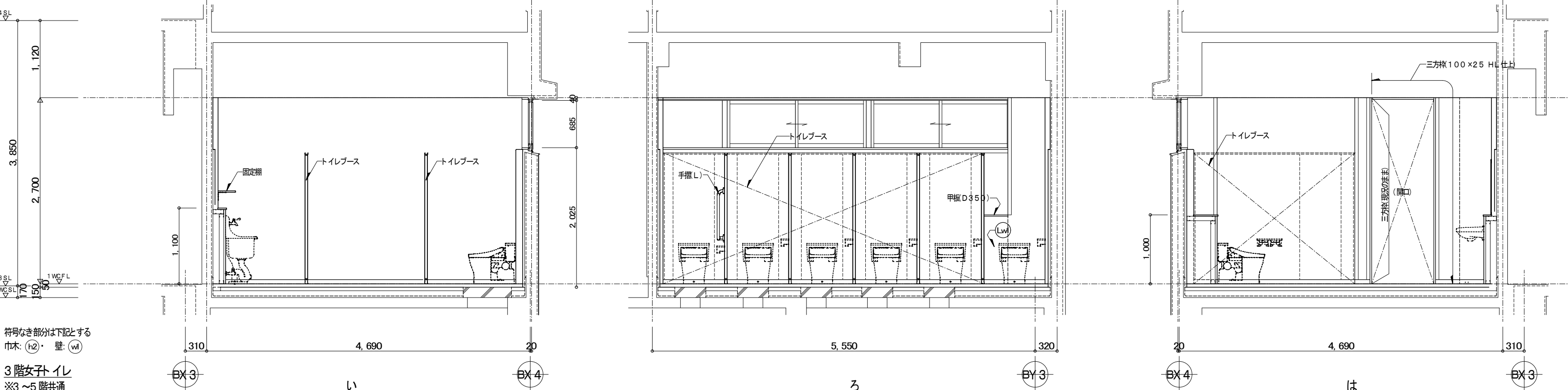
洗面カウンター: 人工大理石 D=450×[L] ポウルー体タイプ(水栓共)※機器設備工事参照

.....固定棚仕付

棚板: メラミンポストフォーム[®] t=20×250D

支持金具: ステンレスアングル120×120(ビス止め) ×3

モップハンガー: ステンレス製モップキャッチ金具3個 ※既製品



(B棟)

現況

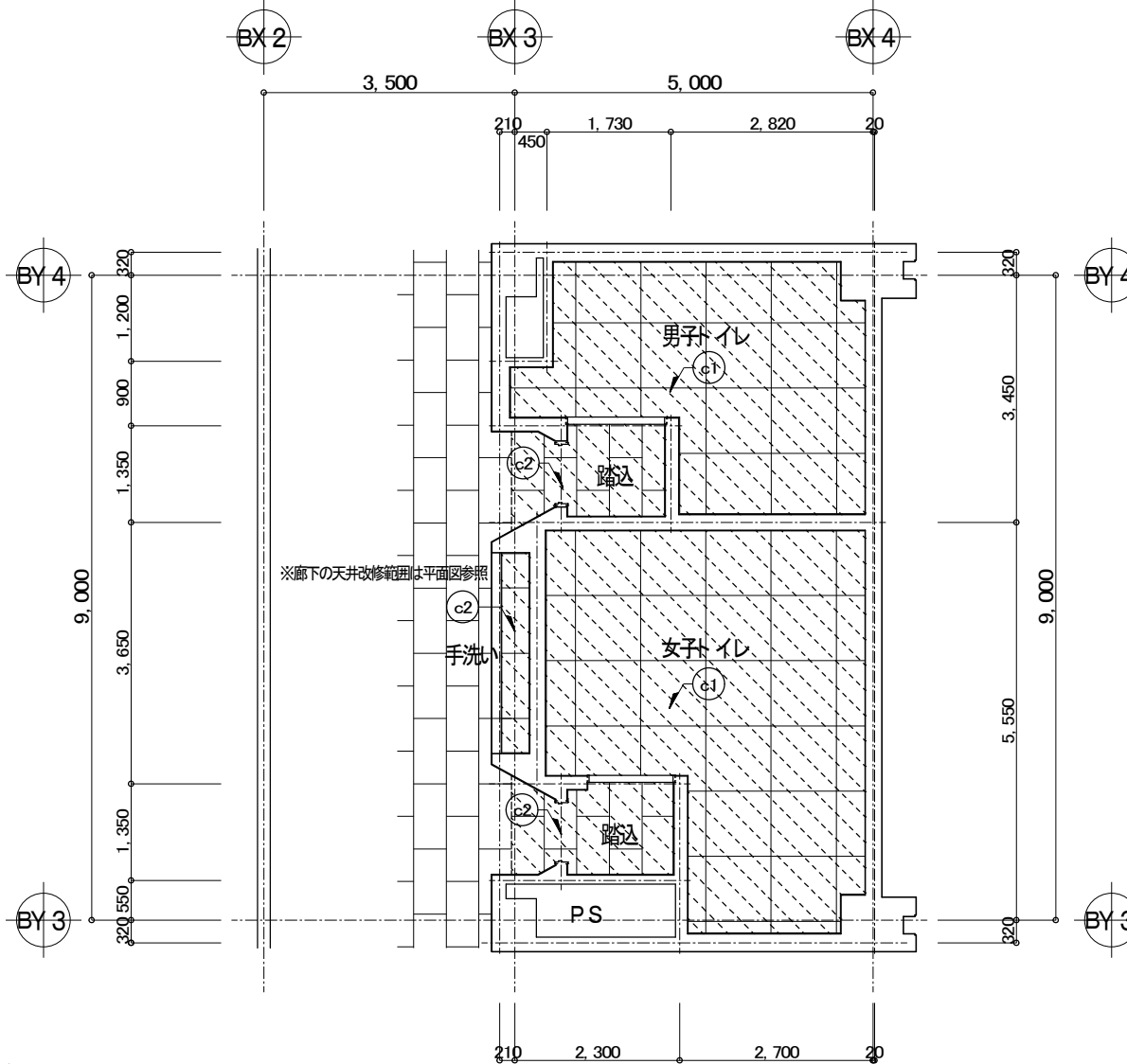
凡 例

撤去範囲を示す

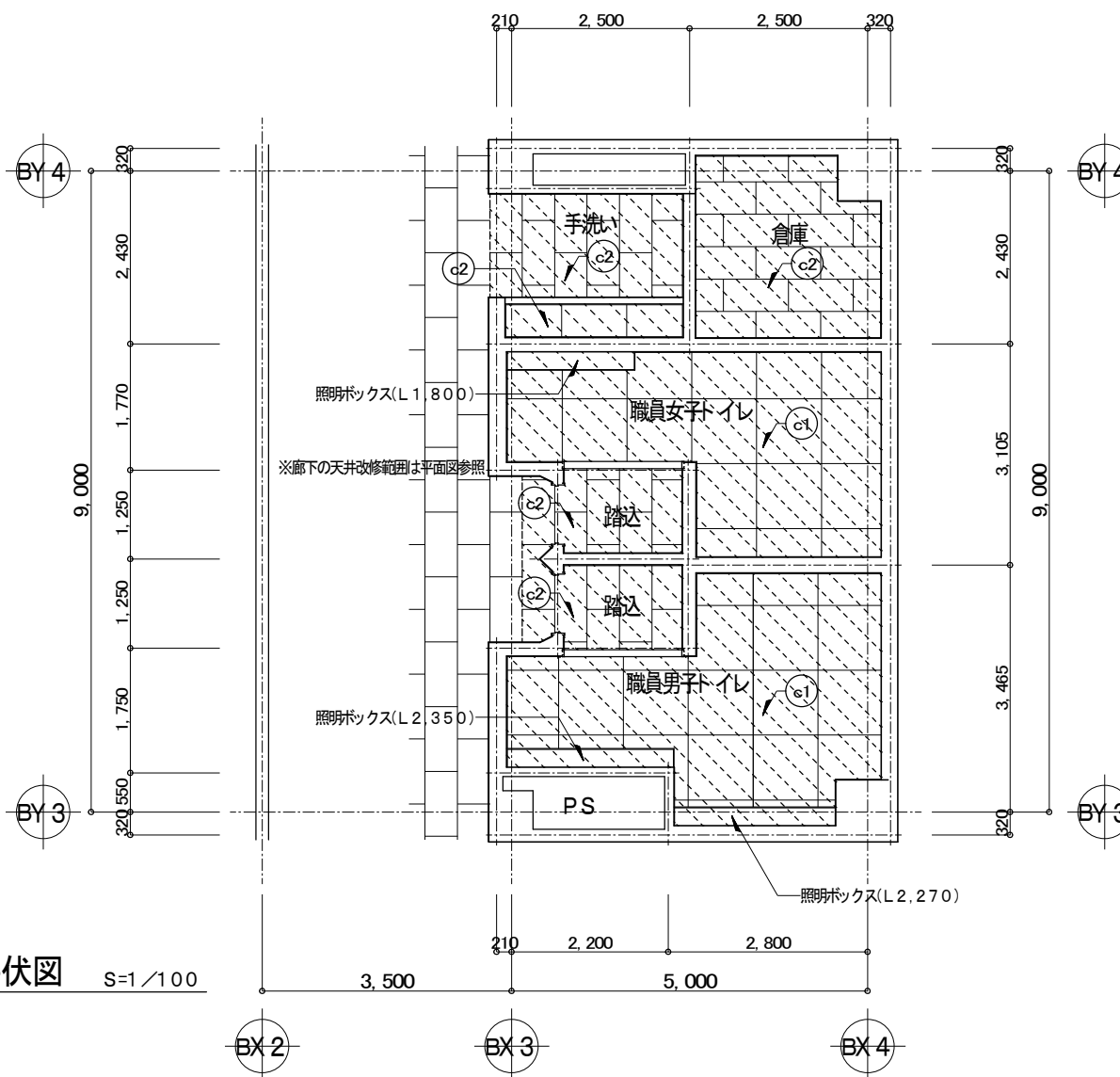
※撤去部材等の仕様は次による。

照明ボックス: スチール $= 1.6$ 加工 $(250 \times 250 \times [L])$

※その他は図示による。



3 ~ 5 階天井伏図 S=1/100



1・2 階天井伏図 $S=1/1.00$

□現況什上表

符号	部 位	既 存 下 地	既 存 仕 上	改 修 処 理
㊦1	天井	LGS野縁	フレキシブルボードt=5(※3)EP塗り	現況下地、仕上全て撤去
㊦2	天井	LGS野縁	化粧石膏ボードt=12.5	現況下地、仕上全て撤去

改修

凡 例

改修範囲を示す

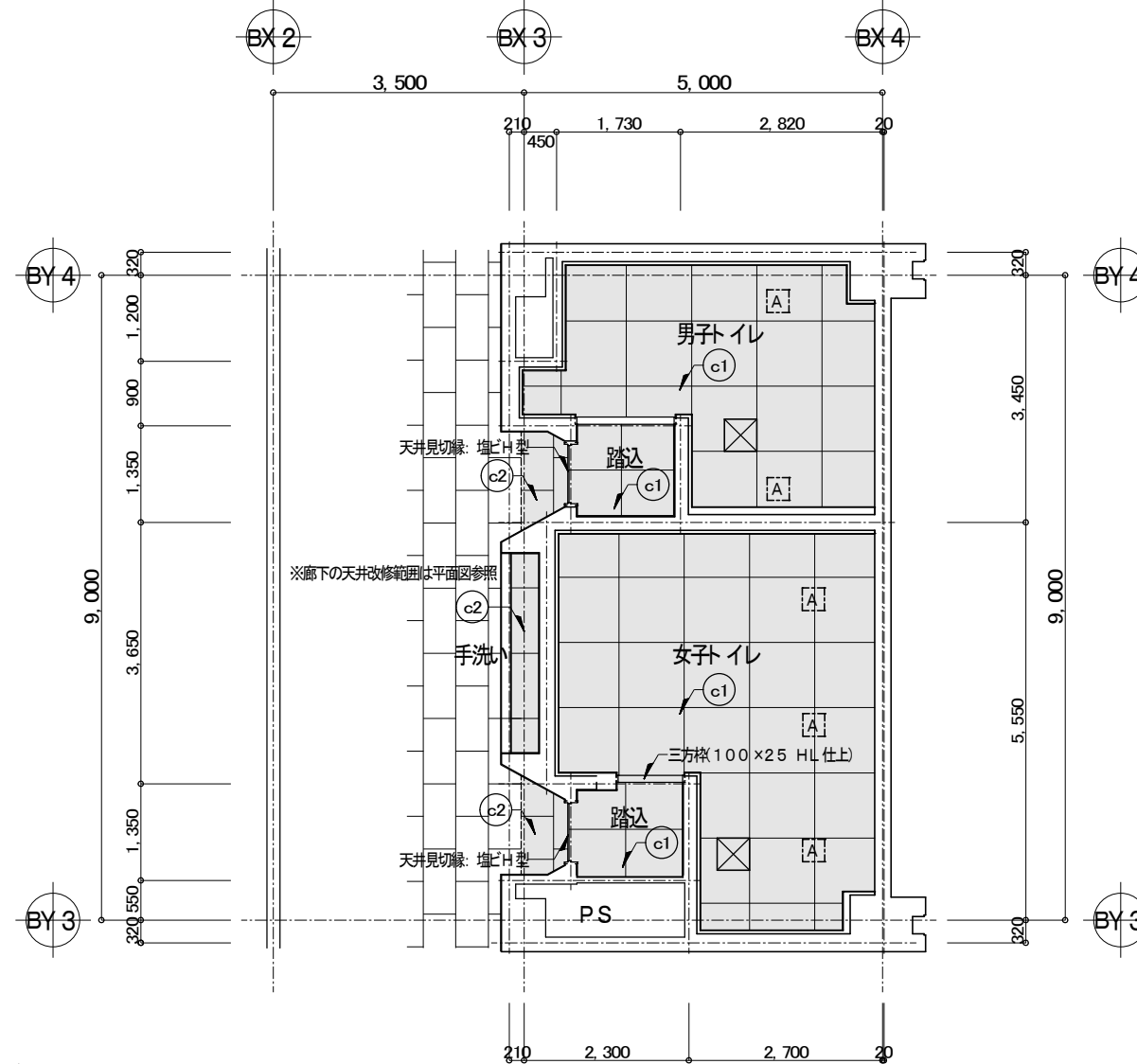
1 GS野緑19型開口補強ボード切入済み

A: 250 x 250

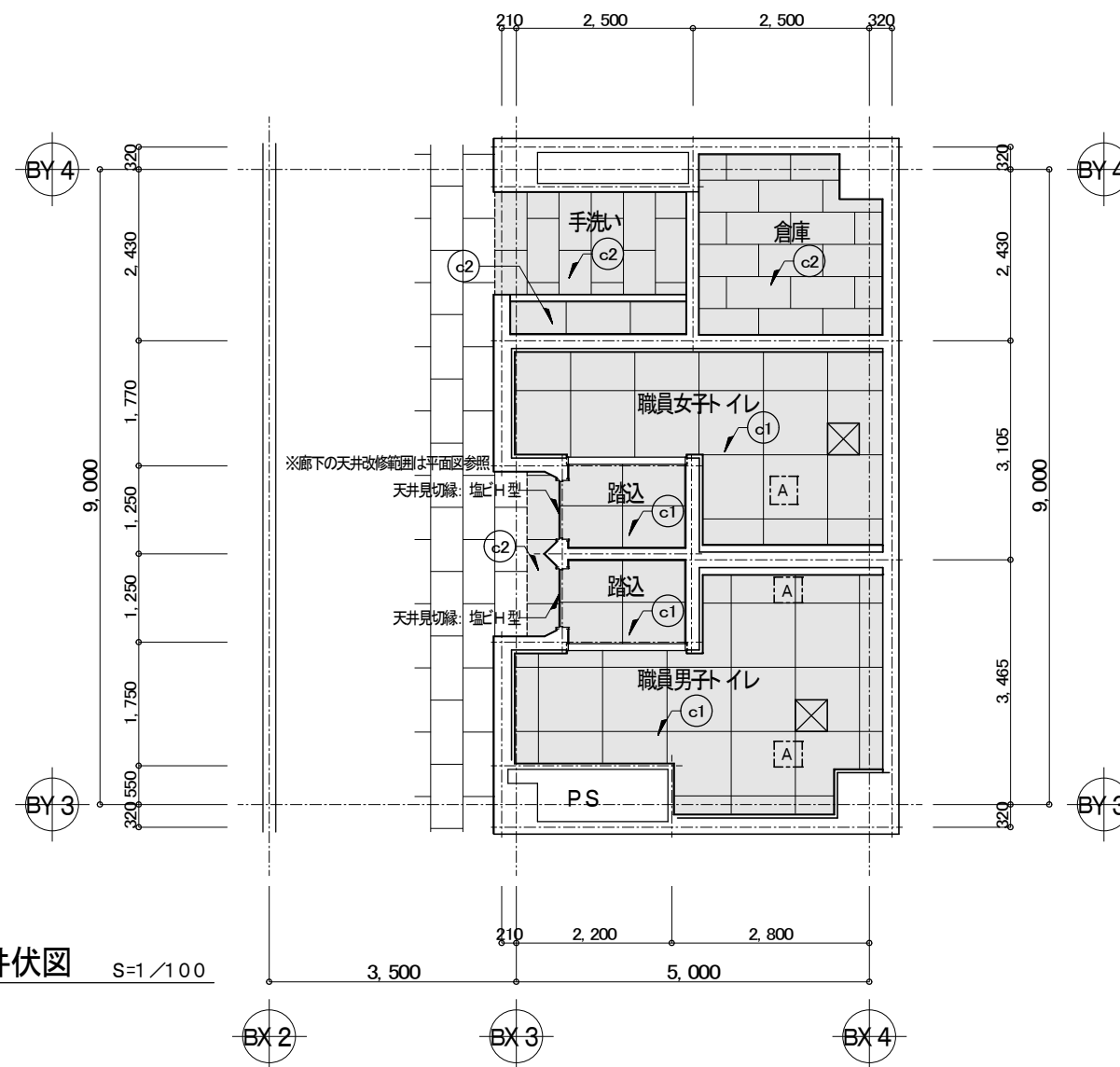
天井点検口 450×450 開口補強 ボード切込み

※開口及び点検口の位置は設備工事と協議の上、決定する事。

※その他は図示による。



3 ~ 5 階天井伏図 S=1/10



1・2 階天井伏図 S=1/10

□改修仕上表

符号	部 位	改 修 下 地	改 修 仕 上	備 考
㊦1	天井	LGS野縁19型φ303	化粧石膏吸音ボード t=12.5	廻り縁：塩ビ製
㊦2	天井	LGS野縁19型φ225	化粧石膏ボード t=12.5	廻り縁：塩ビ製

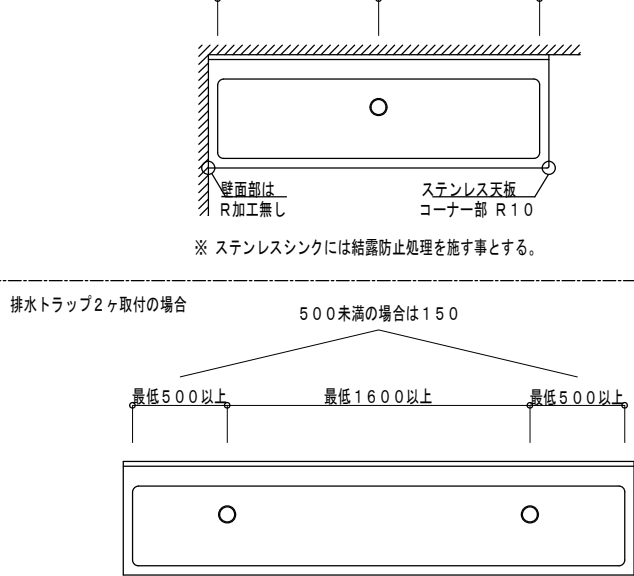
(B棟

符号・数量	LSD B1 × 10 ヶ所	SD B1 × 5 ヶ所	TB B1 × 3 ヶ所	TB B2 × 7 ヶ所	TB B3 × 3 ヶ所	
型 式	軽量スチール製入り片開きフラッシュドア	スチール製片開き点検戸	トイレブース	トイレブース	トイレブース	
形状・寸法				※図は職員女子トイレ及び男子トイレを示し、職員男子トイレは左右反転とする。		
	取付位置	1～2階職員男子トイレ、職員女子トイレ・3～5階男子トイレ、女子トイレ	1、2階職員男子トイレ・3～5階女子トイレ(踏込)	3～5階女子トイレ	1、2階職員女子トイレ・男子トイレ・3～5階男子トイレ	3～5階女子トイレ
	仕様・見込	塩ビ鋼板 ≒0.6 見込: 40	溶融亜鉛メッキ鋼板 ≒1.6 SOP 塗り			
	金 物	丁番、ドアクローザー、SUSハンドル、他付属金物一式	丁番、ワンタッチ平面ハンドル(鍵付き)			
	ガ ラ ス	型板強化ガラスt ≒4				
	備 考	既設スチール枠内に扉のみ新設				

家具共通仕様「図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

- 本体・棚板
室内VOC（ホルムアルデヒド等）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した両面メラミン化酚（パーティクルボード厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。
上記材料は、JIS-A5908適合、18タイプ（曲げ強さ18N/平方ミリメートル以上）とし、JISマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入適合品とする。
基材は、埼玉県産材を含む国産材混合（配合率20％）とし、合法性木材認定事業者取り扱い品を使用する。
- 木口処理
壁体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ABS製樹脂面をホットメルト縁付）加工とする。
- 表面処理
本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度 9H 以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（45色以上）を提出の上決定する。
- 裏 板
ポリエステル化粧板 F☆☆☆☆ 厚さ4mmを使用し、
片面フラッシュ（450mm ピッチ以内に格子状鉄線構造）とする。
- 本体組立て
組立ては、製作工場での本製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。
- 巾木・台輪
ポリエステル化粧板仕上げ F☆☆☆☆（塗装不要）とする。
- 建 具
板戸は、くるとやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし1枚物とする。
- 特記事項
環境配慮及び品質確保のため、取り扱いには ISO 14001、製作は ISO 9001 取得企業とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
室内空気清浄保持のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定データを提出する。
- 施 工
家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

〔ステンレス納まり詳細〕



F-B1	流し台	B棟 1～2階 手洗い／計2ヶ所	F-B2	流し台	B棟 3～5階 廊下／計3ヶ所	F-B3	隔板	B棟 3～5階 職員男子・男子トイレ／計3ヶ所

(B棟)

特記事項	齊藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No.	
				R 5 . 1 . 31		川越市立川越高等学校・イレ改修工事(B棟)	A-26
				変更年月日		図面名称	
					建具表・家具図	S=1/50・40	

《週休２日制適用工事（現場閉所型）に係る特記仕様書》

本工事は「週休２日制適用工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

本工事は、月単位の週休２日を採用している。週休２日を守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越市週休２日制適用工事要領（建築工事）（令和６年１１月１日施行）によるものとする。

同要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/sangyo/nyusatsu/1011724/1011747.html>

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工事名

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B 棟)

1.2 工事場所

埼玉県川越市旭町2丁目3番地7

1.3 工期

契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。

1.4 工事科目

○印の付いたものを適用する)

○ 電灯設備

・ 動力設備

・ 電熱設備

・ 雷保護設備

・ 受変電設備

・ 電力貯蔵設備

・ 発電設備

・ 構内情報通信網設備

・ 構内交換設備

・ 情報表示設備

・ 映像、音響設備

○ 拡声設備(非常放送設備)

・ 誘導支援、呼出し設備

・ テレビ共同受信設備

・ テレビ電波障害防除設備

・ 監視カメラ設備

・ 駐車場管制設備

・ 防犯、入退室管理設備

・ 自動火災報知設備

・ 自動閉鎖設備

・ ガス漏れ火災警報設備

・ 電話配管設備

・ 中央監視制御設備

・ 医療関係設備

・ 昇降機設備

1.5 指定部分

○ 無 ・ 有(工期: 令和年月日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・ 令和年月日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要

B 棟: 普通教室棟 鉄筋コンクリート造 地上5 階建 2.5 5 5.8 4 m

1.8 工事概要

B 棟: 普通教室棟 トイレ改修に伴う電灯設備

1.9 同時期発注の関連工事

・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。

なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、○印の付いたものをのげなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項				
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものと する。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承認を受けるものとする。				
2 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付ける。				
3 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分を要するもの () (3) 再生資源化を図るもの(蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は市の指定する書類を提示する。				
4 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。				
5 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。				
6 地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table><tr><th></th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>敷き均し土 良質土</td><td>硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性強化ビニル管(H VE) 波付硬質合成樹脂管(FRP) ポリエチレン被覆鋼管(RLP)</td></tr></table>		管 種 別	敷き均し土 良質土	硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性強化ビニル管(H VE) 波付硬質合成樹脂管(FRP) ポリエチレン被覆鋼管(RLP)
	管 種 別				
敷き均し土 良質土	硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性強化ビニル管(H VE) 波付硬質合成樹脂管(FRP) ポリエチレン被覆鋼管(RLP)				
7 回路の種別 行先の表示	(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面(舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、800mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。 ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。				

8 電線の接続

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けうえて絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

9 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじし工法としてもよい。

10 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計 施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量[kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類 ※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 ※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
地下・1 階	水 槽 類 ※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【 備 考 】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器

・ 配電盤 ・ 発電装置(防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置

上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2 階、10～12階建の場合は上層3 階、13階建以上の場合は上層4 階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1 / 2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量1 0 0 k g を超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。

・ 施工者((一社) 日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者)
※金属屈張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
※接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
・ あと施工アンカーの引張試験(アンカーの種類、部位毎に1 か所)

11 あと施工アンカー

既存コンクリート 床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所について非破壊調査を実施すること。

13 壁落制止用器具

・ 使用を要する 壁落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による

・ 使用を要しない

14 その他

(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。

(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。

(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。

(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。

(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。

(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。

(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。

(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。

(9) 特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

項目	特記事項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A) は運用形とする。なお、2 ロンセン トは複式を使用してもよい。 フラッシュプレート は原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレート については、樹脂 プレートを使用することができる。 コンセント 器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防火による誘 導灯とし、関係法令に適合したものである。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修 前と改修後の照度測定を『S C 7612「照度測定方法」』により、学校において は学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが 1 0 mm程度以上離れる場合は継棒を使用する。ただし、ボード 張りで、ボ ード 裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継棒を必 要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器 具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷 用送り端子台は1 負荷につきU ・ V ・ W ・ E の4 P を原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別 途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R 1 とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社にて再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その 端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端 末 処 理 ・ 耐 塩 用 ・ 一 般 用) 受 電 電 圧 交流3 相3 線式 6.6 kV 5 0 Hz 柱上用高圧気中 定格電圧 7. 2 kV 定格電流 A 負荷開閉器(PAS) 主 遮 断 装 置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・ 6 % ・ 1 3 % kVar × 台
5 構内情報通信 網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、 ガス漏れ火災警報 設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。

2.4 取付高さ

壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。
なお、盤、箱等で廊下、通路その他の利用者の通行する部分に設置するものについては、施工図により承諾を受けること。

名 称	測 点	取付高さ(mm)	
		一 般	市営住宅
スイッチ(一般)	床上～中心	1, 3 0 0	1, 2 0 0
〃 (身体障害者用)	〃	2, 0 0 0	1, 0 0 0
〃 (人感センサー切換用)	〃		2, 0 0 0
コンセント、電話用アダプタ、直列エント	〃	3 0 0	4 0 0
〃 (和室)	〃	1 5 0	2 0 0
〃 (台上)	台上～中心	1 5 0	5 0 0
〃	床上～中心	5 0 0	5 0 0
防水型コンセント	〃	(上端1, 900以下) 1, 500	(上端1, 900以下) 1, 500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	9 0 0	9 0 0
呼出ボタン(身体障害者用)	〃		
復帰ボタン(〃)	〃	1, 8 0 0	1, 8 0 0
廊下表示灯(〃)	〃	2, 0 0 0	2, 0 0 0
端子盤	〃	(上端1, 900以下) 1, 500	2, 0 0 0

3 その他

3.1 他工事との取合区分

発注図又は工事区分表による。

3.2 図面上の縮尺

図面上の縮尺は、J I S A 2 版とした縮尺とする。

3.3 仕様

本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

特記事項

設 計

設 計 月 日

R 5 . 1 . 3 1

設 計 年 月 日

工 事 名 称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B 棟)

図 面 名 称

電気設備工事特記仕様書

S c a l e

N ・ S

No.

E-01

設 計

設 計 月 日

R 5 . 1 . 3 1

設 計 年 月 日

工 事 名 称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B 棟)

図 面 名 称

電気設備工事特記仕様書

S c a l e

N ・ S

No.

E-01

設 計

設 計 月 日

R 5 . 1 . 3 1

設 計 年 月 日

工 事 名 称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B 棟)

図 面 名 称

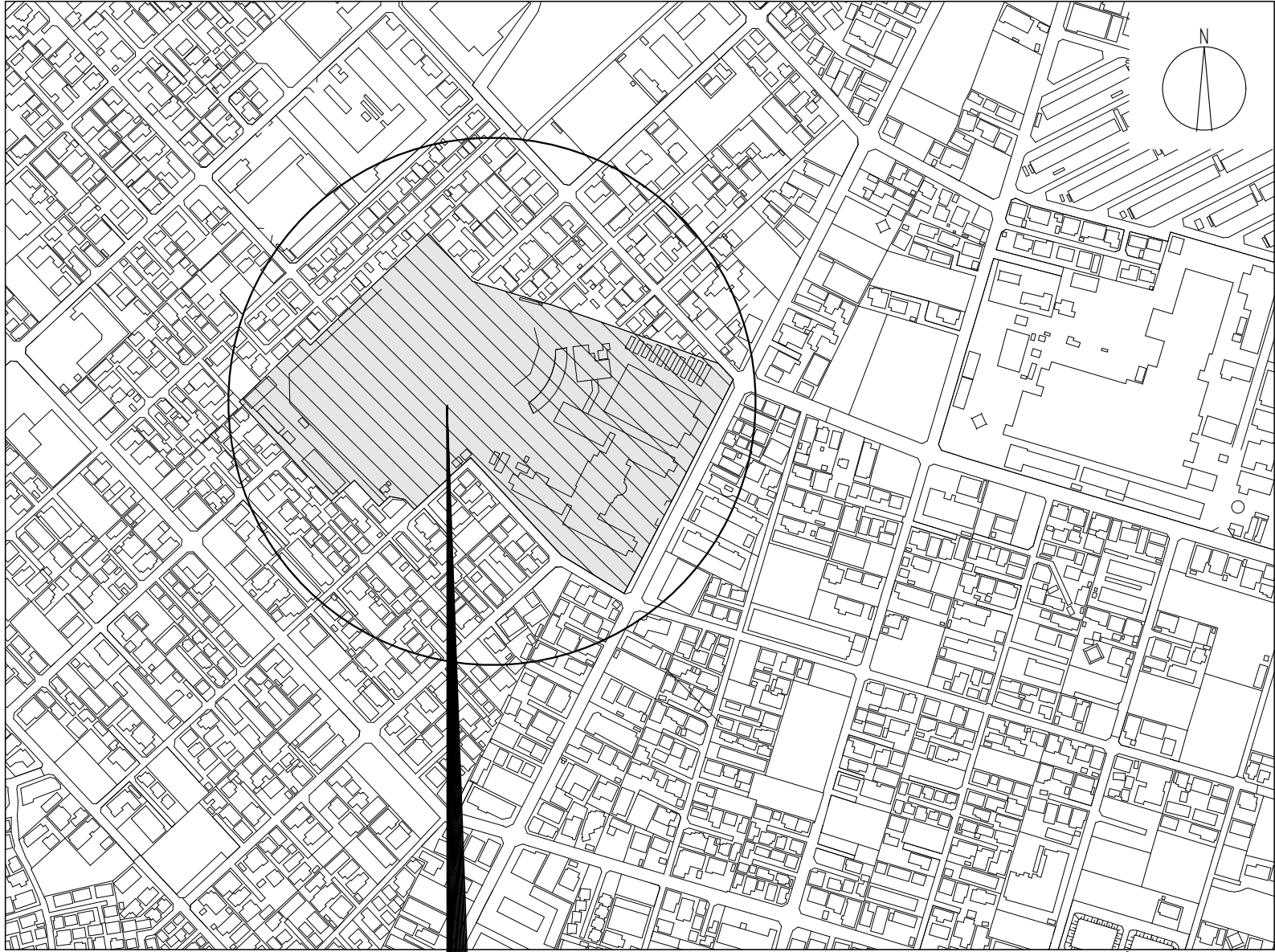
電気設備工事特記仕様書

S c a l e

N ・ S

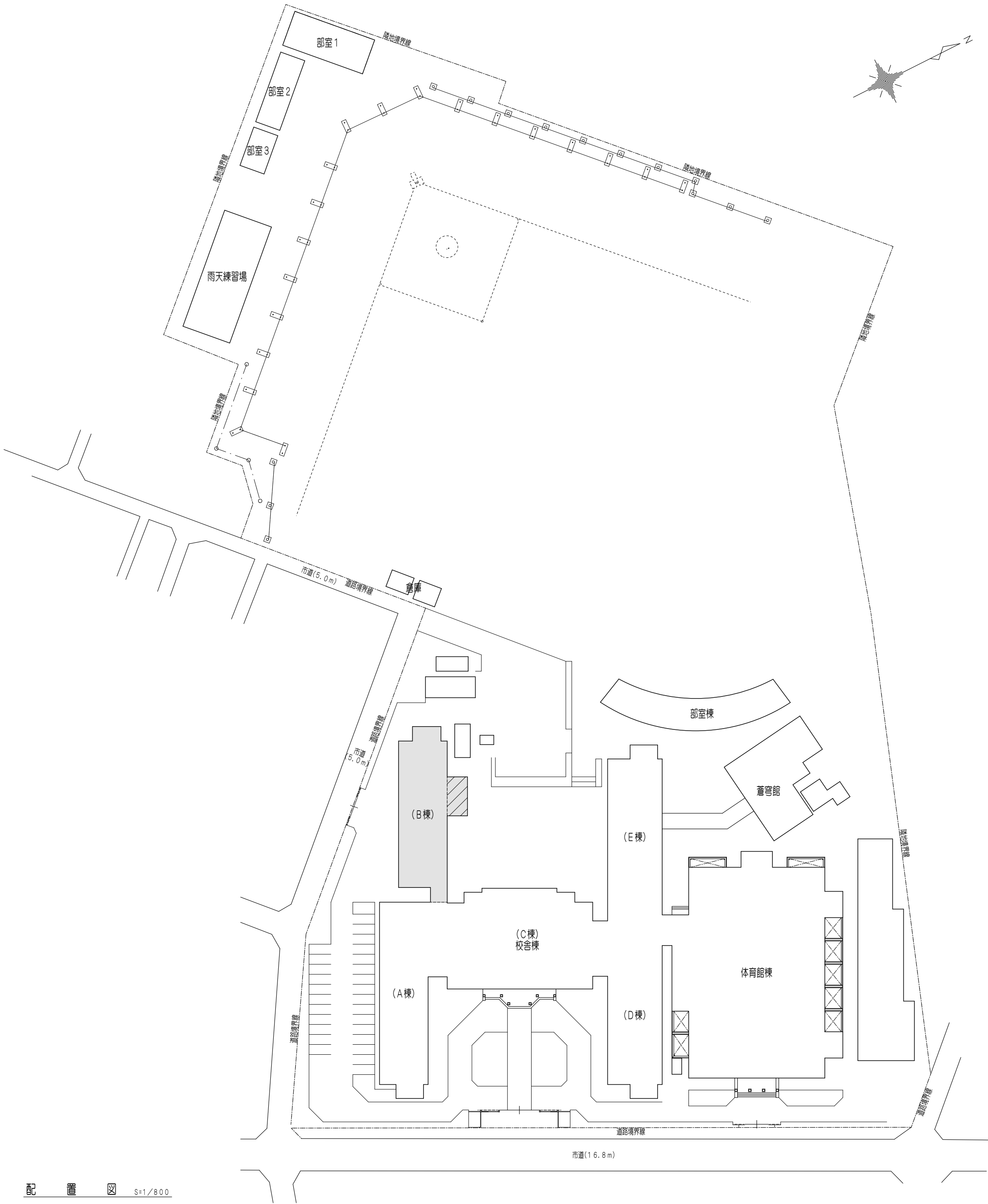
No.

E-01

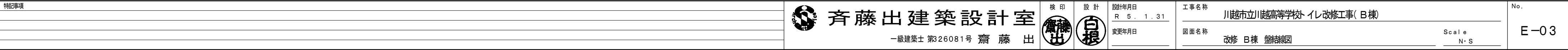


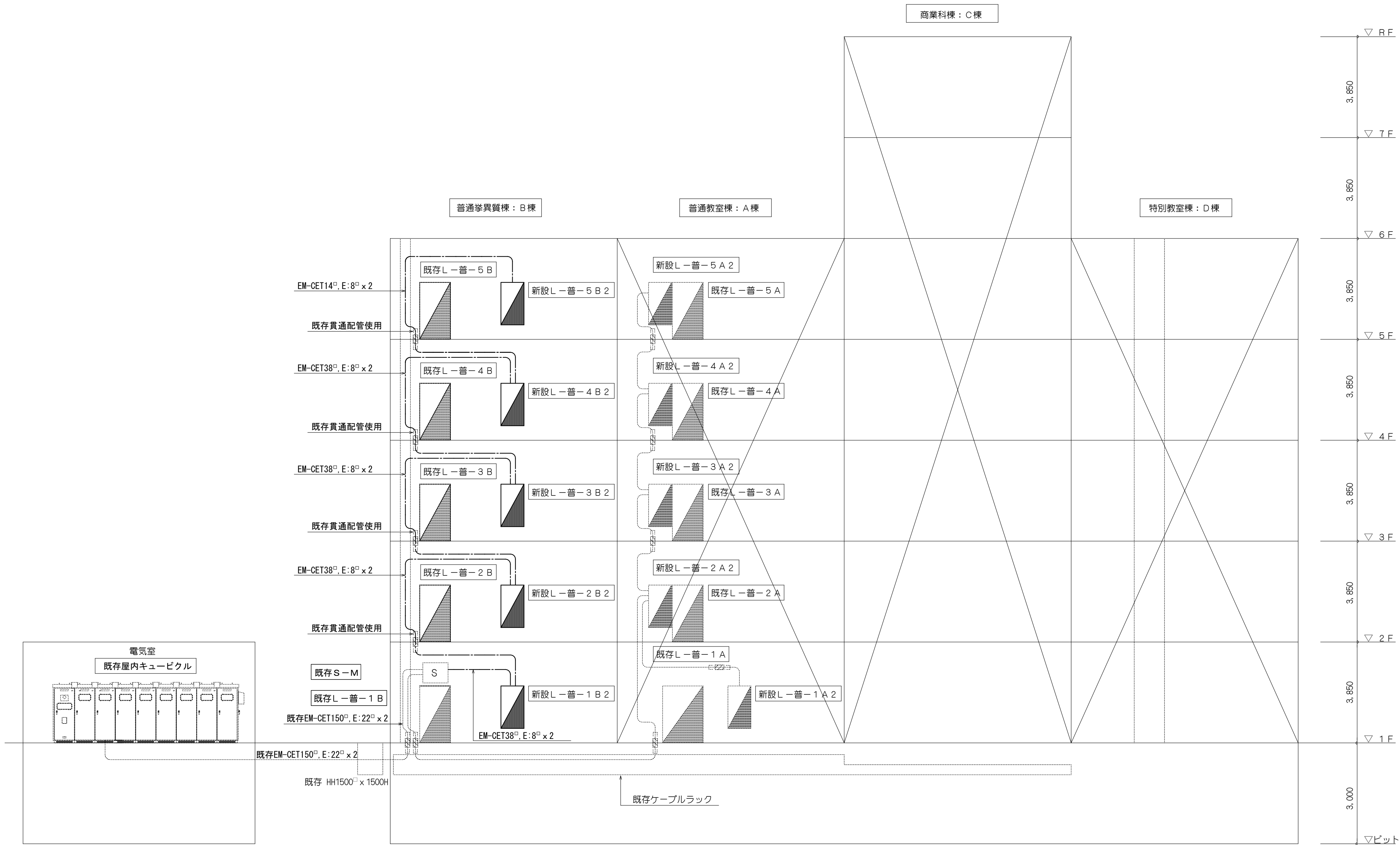
工事場所：川越市立川越高等学校(川越市旭町2丁目3番地7)

案 内 図

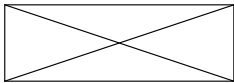


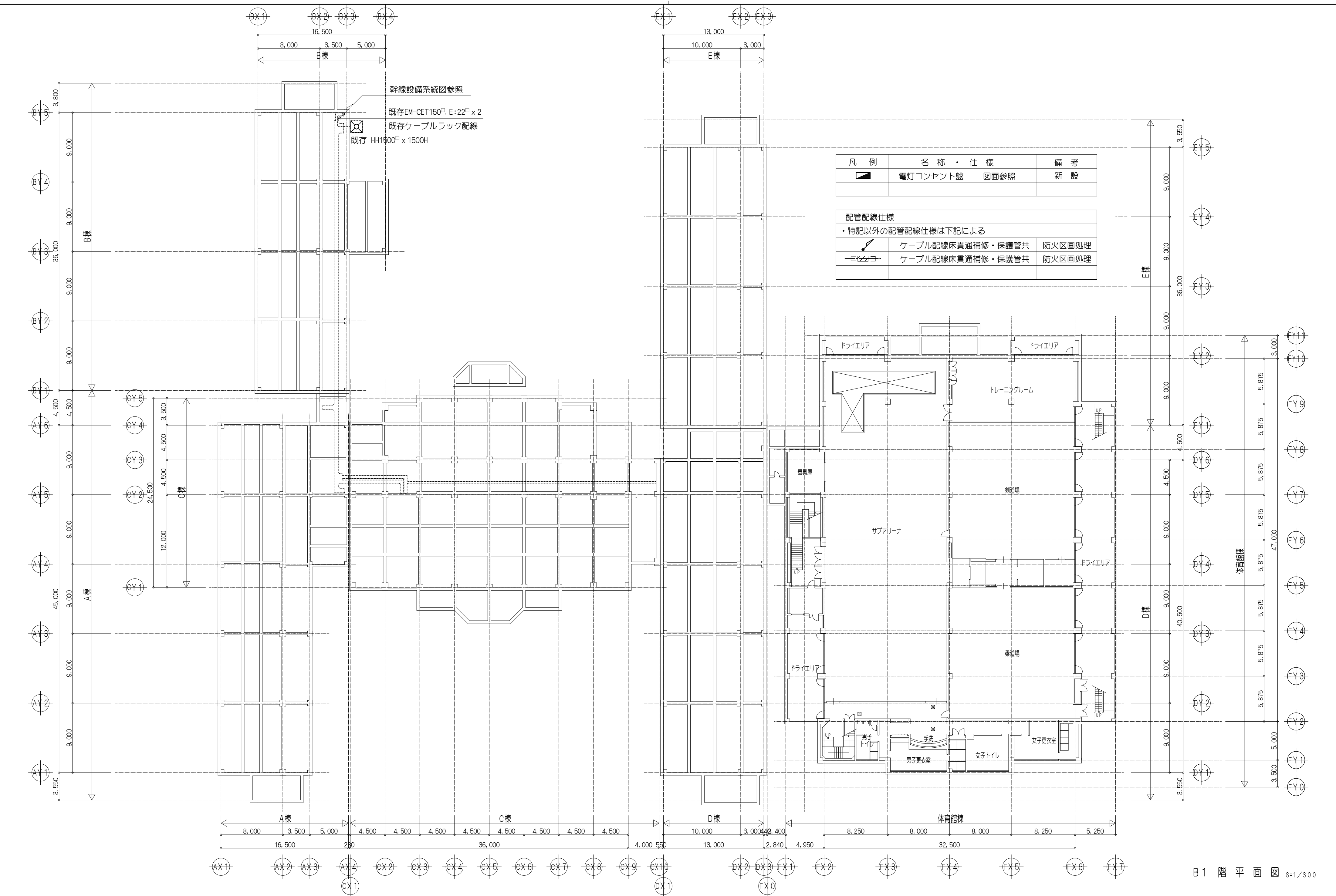
配 置 図 S=1/800





幹線設備系統図

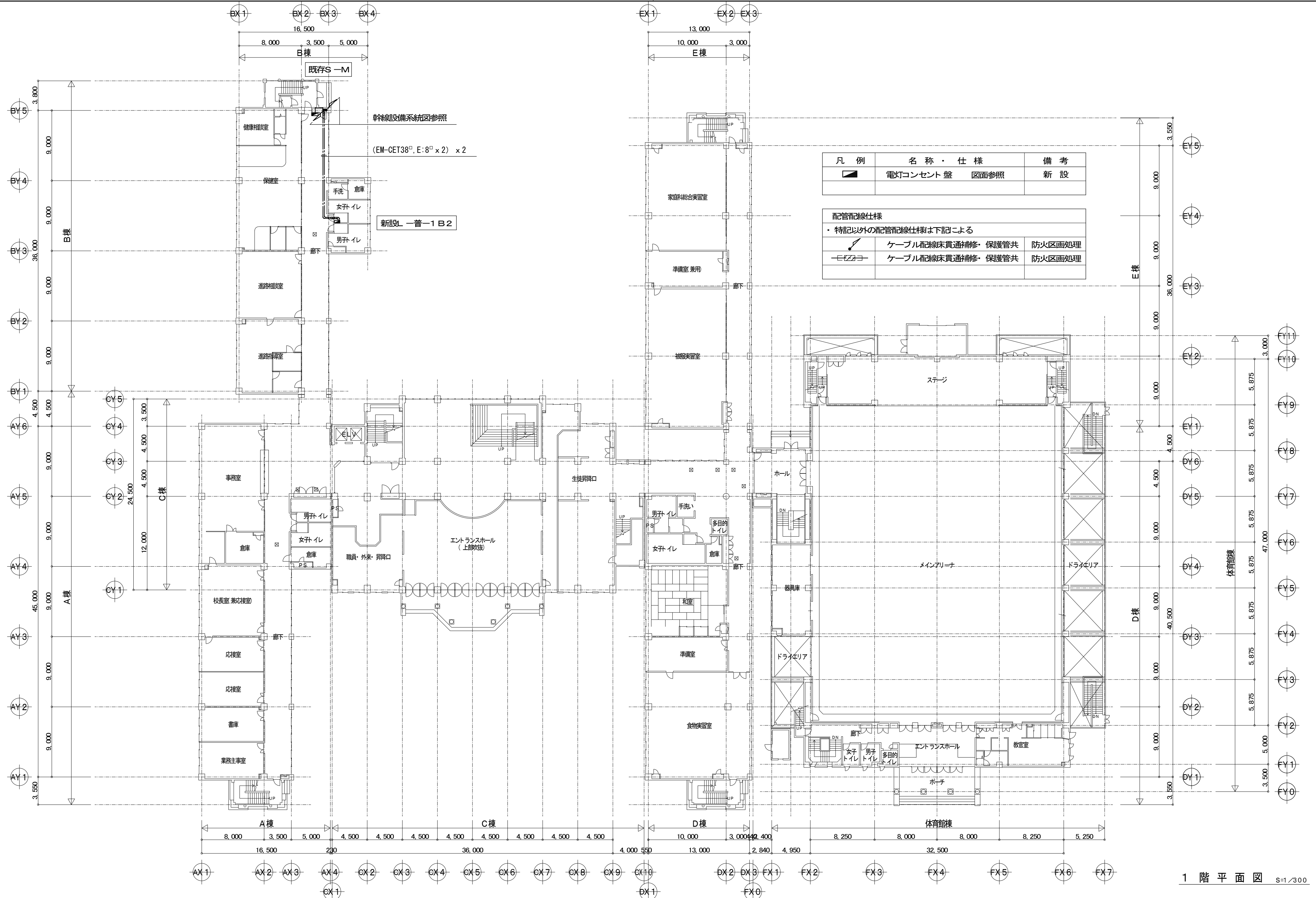
 : 工事範囲外を示す



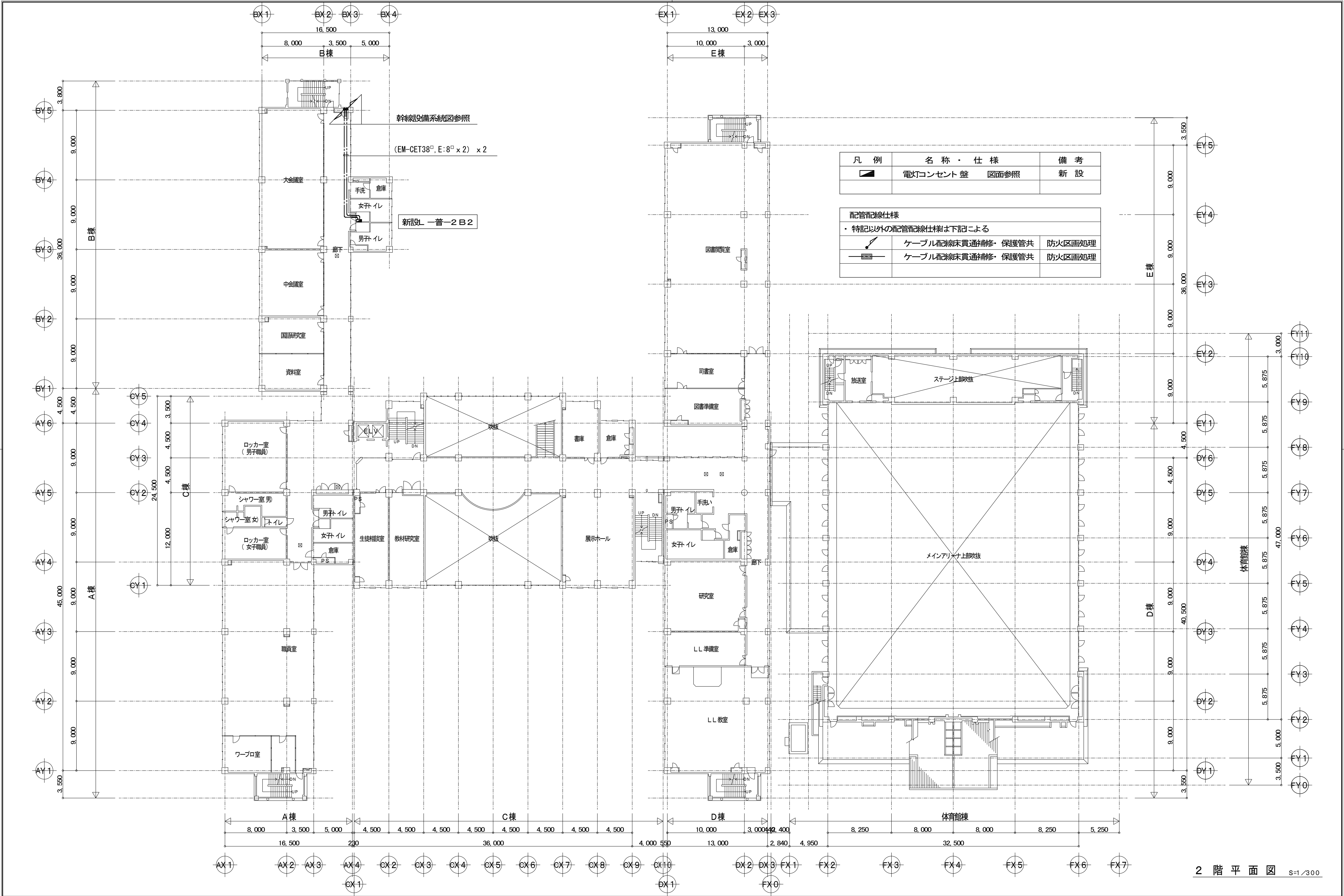
凡 例	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯コンセント盤 図面参照	新 設

配管配線仕様		
・ 特記以外の配管配線仕様は下記による		
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理

B 1 階 平 面 図 S=1/300



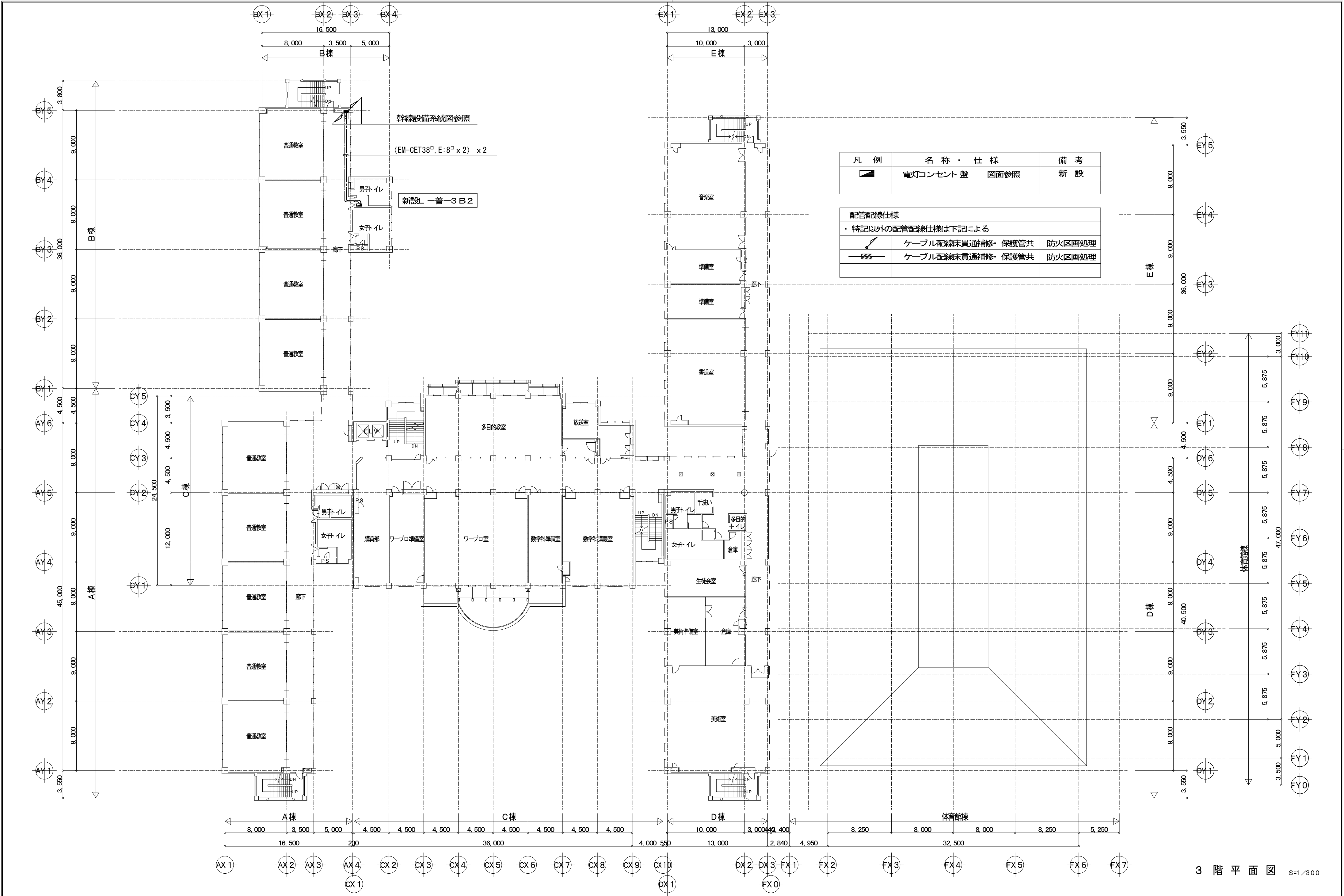
1 階 平 面 図 S=1/300



凡 例	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯コンセント 盤 図面参照	新 設

配管改線仕様		
・ 特記以外の配管改線仕様は下記による		
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理

2 階 平 面 図 S=1/300



凡 例	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯コンセント 盤 図面参照	新 設

配管改線仕様		
・ 特記以外の配管改線仕様は下記による		
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理
	ケーブル配線床貫通補修・保護管共	防火区画処理

3 階 平 面 図 S=1/300



 齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋 藤 出

檢 印

設計

設計年月日
R 5 . 1 . 31

變同年月日

工事名称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(A・C棟)

图面名称	图面内容	图面比例	图面备注
1. 总图	总图	1:500	
2. 平面图	平面图	1:500	
3. 立面图	立面图	1:500	
4. 剖面图	剖面图	1:500	
5. 详图	详图	1:500	

改修 B棟 幹線・電灯・弱電設備 5階平面図

Scale
S=1/300

lo,

E-10

改修前・後 電灯コンセント設備 凡例・照明姿図

改修前 （全て撤去）

A3	FL 20W x 1 （下面開放）	D1	FL 40W x 1 （逆富士型）	E1	FL 40W x 2 （逆富士型）	G1	FL 40W x 1 （トラフ型）	Q1	FL 40W x 1 （ブラケット）
		D2	FL 20W x 1 （逆富士型）	E2	FL 20W x 2 （逆富士型）			Q2	FL 20W x 1 （ブラケット）
b	FDL 18W x 1 （ダウンライト）	e	IL 40W x 1 （ブラケット）	f	IL 40W x 1 （ブラケット）	V1	FL 10W x 1 （使用中灯）		

凡 例	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯分電盤	図面参照
	蛍光灯 天井付形	撤 去
	蛍光灯 壁付形	撤 去
	蛍光灯 壁付形	撤 去
	蛍光灯 ダウンライト	撤 去
	ジャンクションボックス	図面参照
	タンブラスイッチ 1P15A 金属プレート	撤 去
	タンブラスイッチ 3W15A ”	撤 去
	タンブラスイッチ 1PL15A 確認表示灯付	撤 去

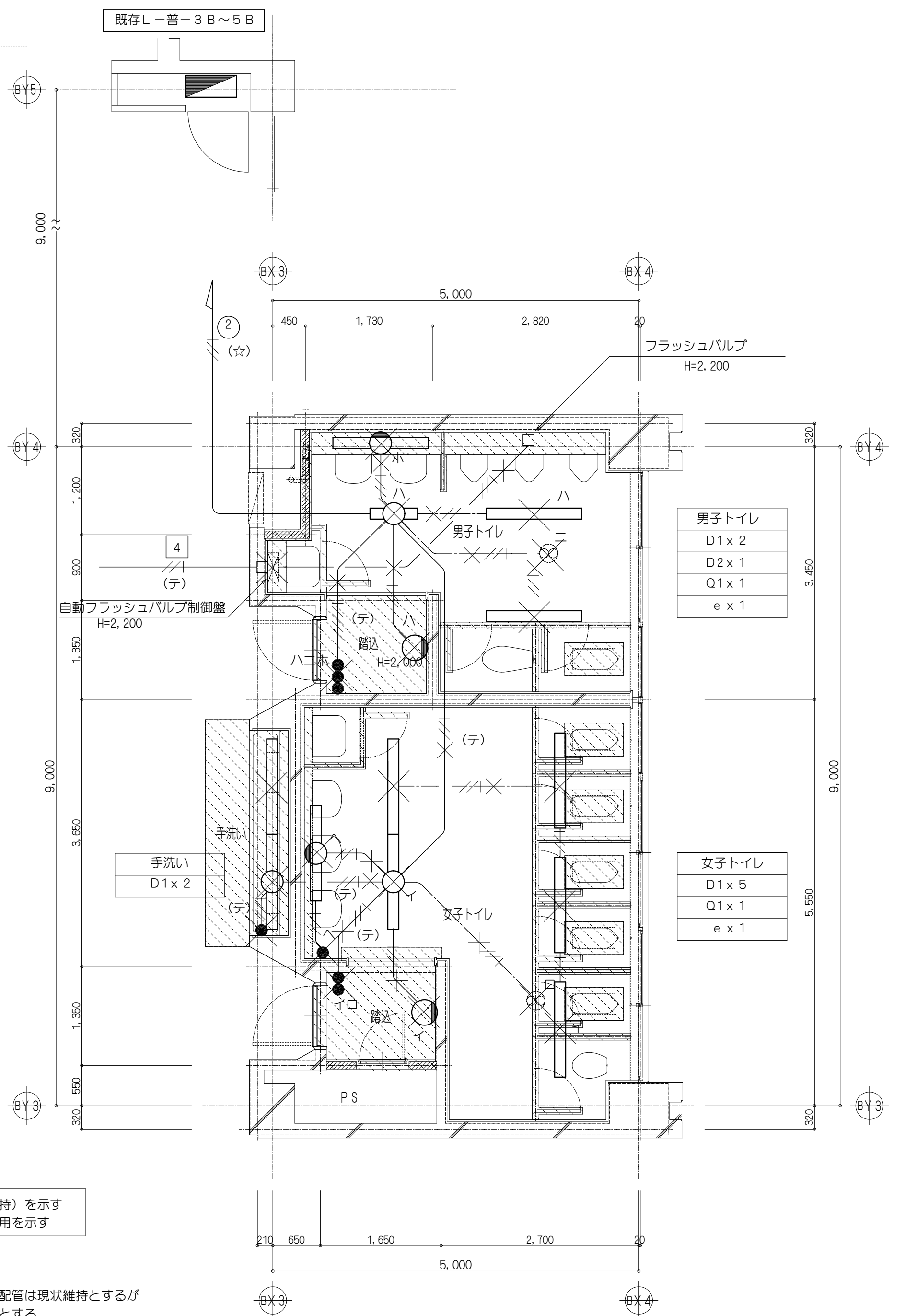
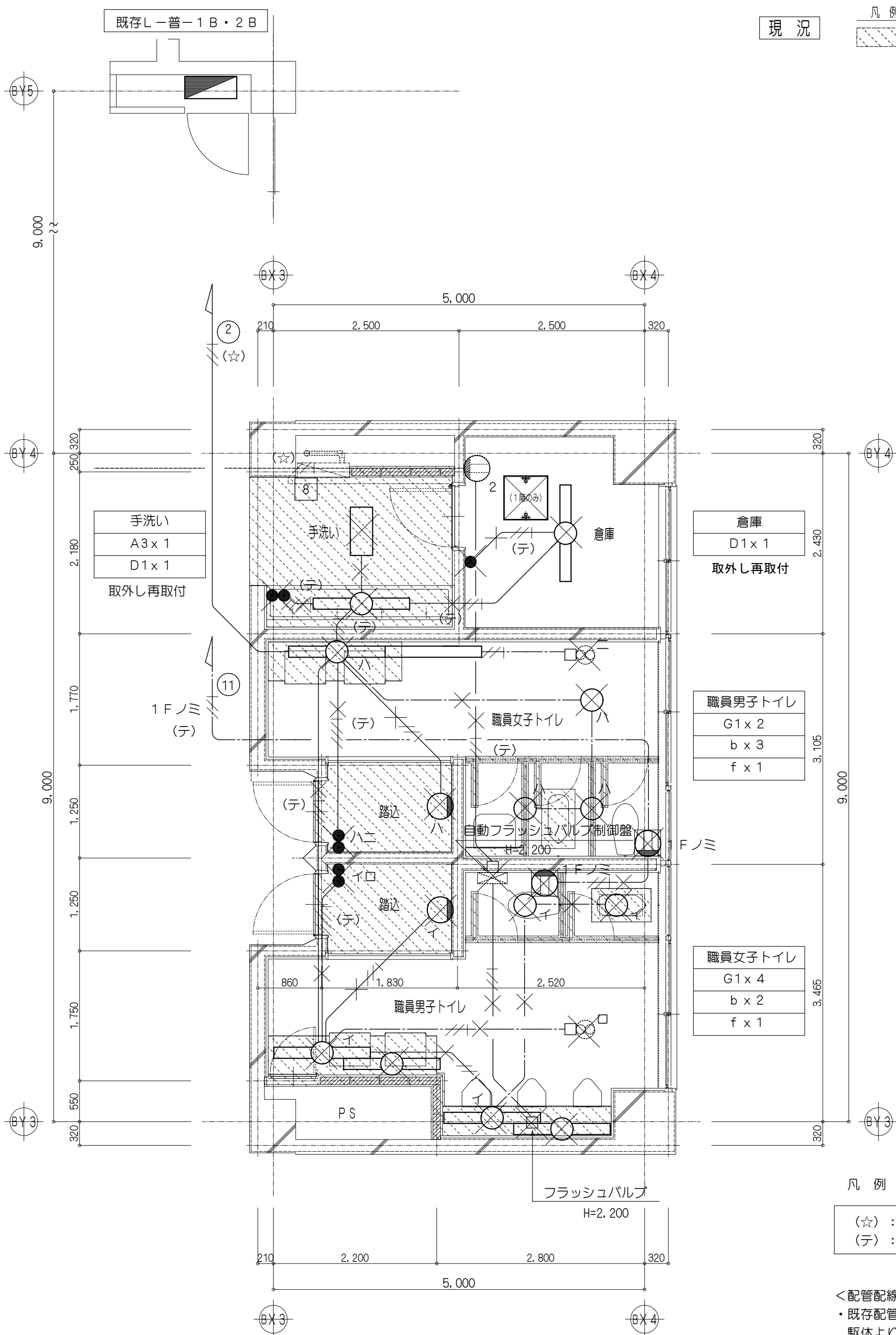
<撤去工事特記事項>		
・照明器具、配線器具及び配管配線は撤去とする。（×表示：撤去を示す） 但し、駆体内配管、改修後再使用する配管、位置ボックスについては現状維持とする。		
・特記なき配線は、下記とする。		
	IV 2.0 x 3	保護管（PF16）
	IV 2.0 x 3	” ”
	IV 2.0 x 4	” ”
	IV 2.0 x 5	” （PF22）
	VVF 2.0-2C	二重天井内配線 保護管（PF16）
	VVF 2.0-3C （1C-E）	” ” ”
	VVF 2.0-2C x 2 （1C-E）	保護管（PF28）
	配管、配線撤去	”
	（☆）	：既存配管配線再利用（現状維持）を示す
	（テ）	：既存配線のみ撤去、配管再利用を示す

改修後 （全て新設）

h	LEDダウンライト 60形	j	ひとセンサ付LEDダウンライト 60形		
	LRS1-05 （通路）		LDS1-LRS1-05 （個室）		
<参考> LED内蔵<ワコア（ひと粒）タイプ>、 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：610lm、消費電力：4.2W、電圧：100-242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 <参考> LED内蔵<ワコア（ひと粒）タイプ> 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ ひと（熱線）センサ付、5000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 器具光束：570lm、消費電力：4.4W、電圧：100-242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠・反射板：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ150					

凡 例	名 称 ・ 仕 様	備 考
	電灯分電盤	図面参照
	LED灯 ダウンライト	新 設
	LED灯 ダウンライト （センサー付）	新 設
	タンブラスイッチ 1P15A 金属プレート	新 設
	埋込コンセント 2P15A x 1 接地端子付	新 設
	埋込コンセント 2P15A x 2 接地端子付	新 設
	人感センサー 親機 （広角検知）	新 設
	人感センサー 子機 （換気扇連動）	新 設
	人感センサー 子機	新 設
	人感センサー用スイッチ（2回路）	新 設
	ブルボックス 200x200x100（樹脂製）	新 設
	ジャンクションボックス （既存利用）	
	ケーブル配線配管保護	新 設
	防火区画貫通処理（国土交通大臣認定工法）	新 設

<改修工事特記事項>		
・新設する照明器具は全てED接地を施すこと。		
・本図の通り照明器具、配線器具、配管配線を新設とする。		
・既存配管配線を再使用する部分については再調査の上、絶縁抵抗等の確認を行い再使用とする。		
・特記なき配線は、下記とする。		
	EM-EEF 1.6-2C	二重天井内配線 保護管（PF16）
	EM-EEF 1.6-3C （1C-E）	” ” ”
	EM-EEF 1.6-2C x 2	” 保護管（PF22）
	EM-EEF 1.6-3C x 2	” 保護管（PF22）
	EM-EEF 2.0-3C （1C-E）	” 保護管（PF16）
	EM-EEF 2.0-2C+3C （1C-E）	” 保護管（PF28）
	EM-EEF 2.0-3C （1C-E）x 2	” 保護管（PF28）
	（キ）	（キ）：既存配管再利用 新設配線を示す



現況

凡例

撤去範囲を示す

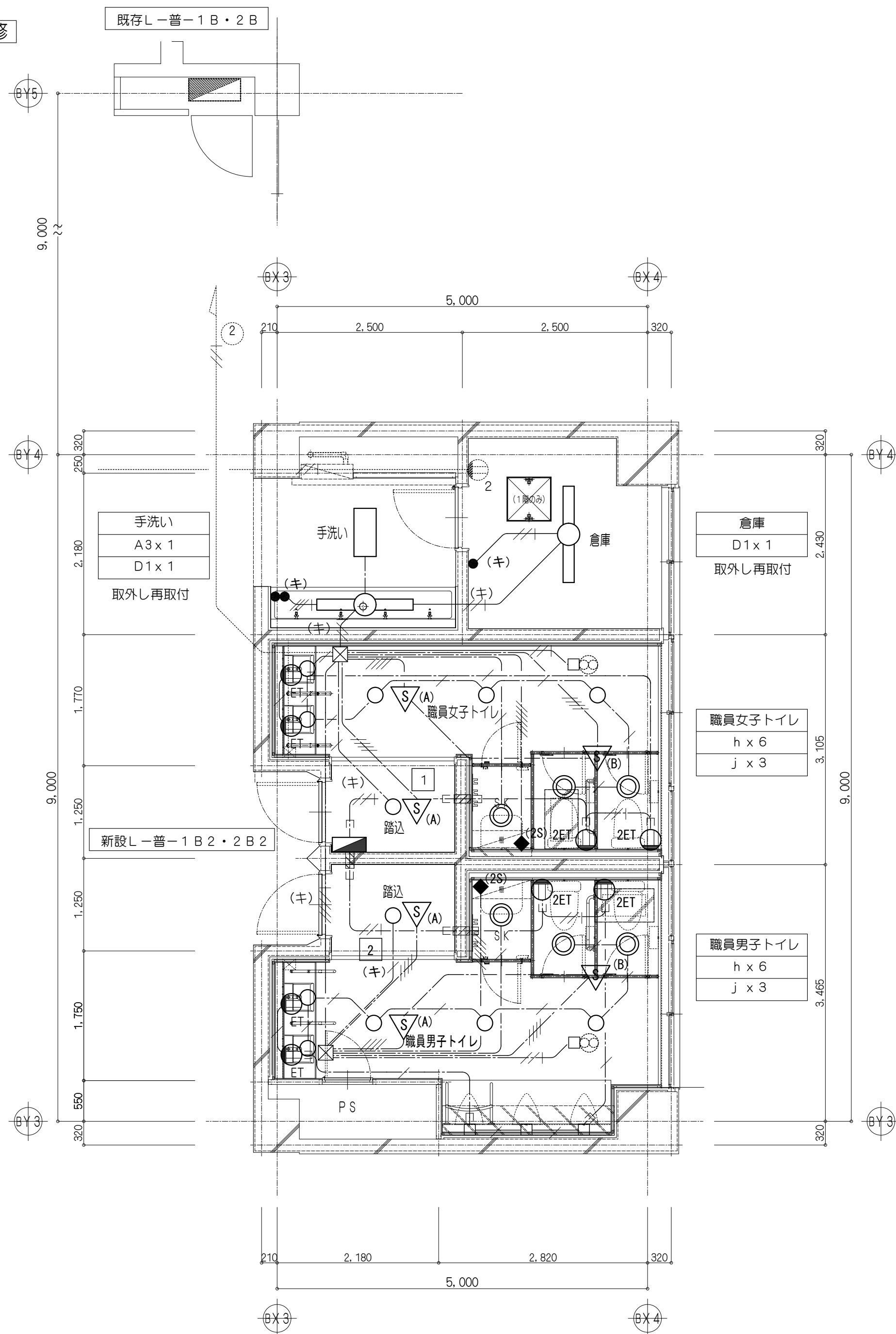
(☆) : 既存配管配線再利用 (現状維持) を示す
(テ) : 既存配線のみ撤去、配管再利用を示す

＜配管配線撤去工事特記仕様書＞
・既存配管配線撤去について躯体内埋込配管は現状維持とするが
躯体より露出する部分については撤去とする。

(B棟)

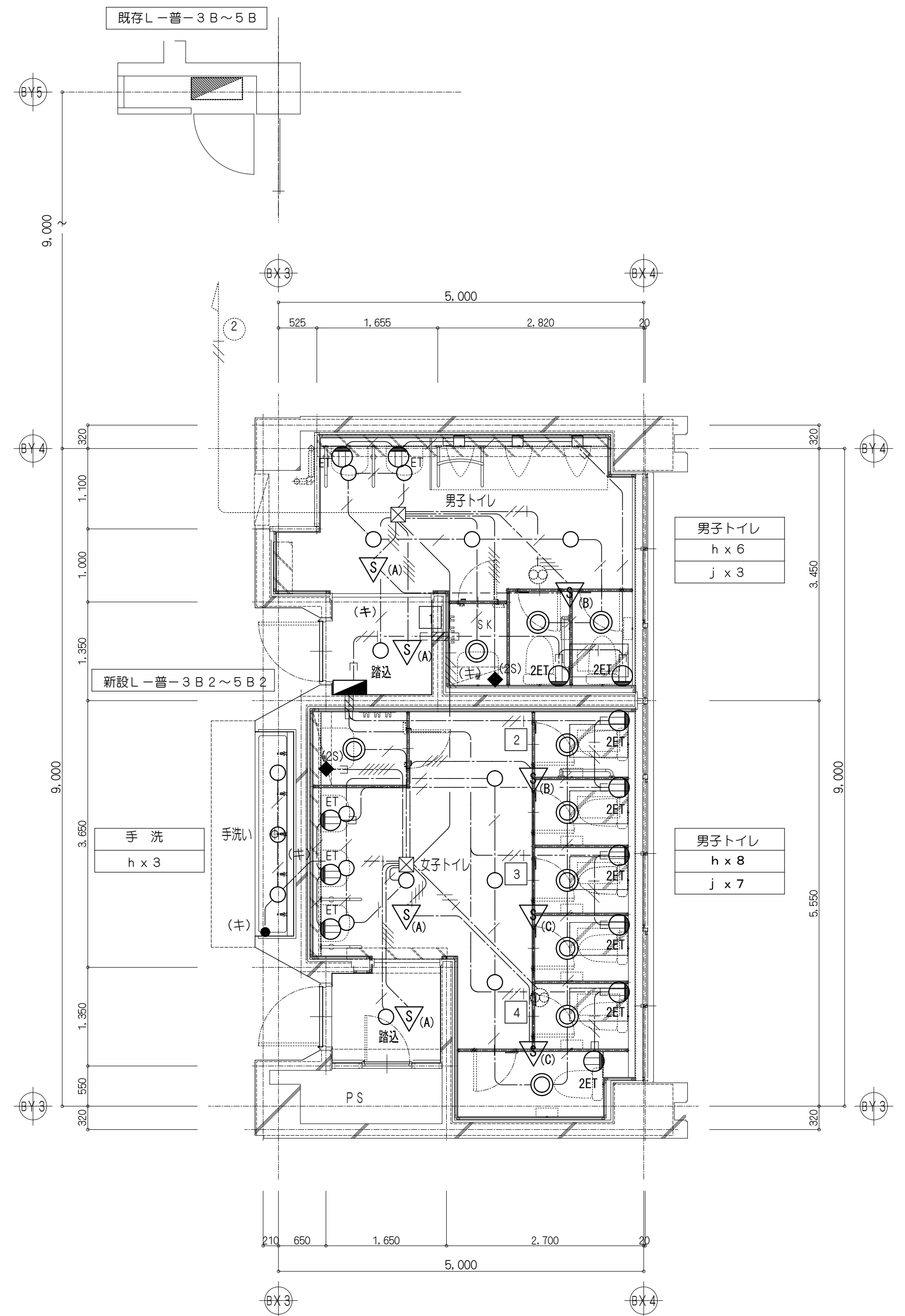
改修

既存L-普-1B・2B



1・2階平面詳細図 S=1/50

既存L-普-3B~5B



3~5階平面詳細図 S=1/50

(B棟)

配管凡例(現況)

記 号	名 称	現 況
———	給水管(上水)	ステンレス管(SUS)
———	給水管(中水)	ライニング鋼管(SGP-V A)
———	排水管	コーティング鋼管、鉛管(LP)
----	通気管	白ガス管

配管凡例(改修)

記 号	名 称	施 工 箇 所	管 種
———	給水管 (上水)	トイレ以外の天井内	水道用高密度ポリエチレン管 (保温有)
		屋外架空	ステンレス管 (保温有)
		PS内すべて、トイレ天井内、ビット内、空隙壁内で25A以上の配管	水道用高密度ポリエチレン管 (保温なし)
		トイレ天井内、ビット内、空隙壁内で25A以下の配管及び器具接続配管	ポリブデン管 (保温10mm付)
———	給水管 (中水)	トイレ以外の天井内	水道用高密度ポリエチレン管 (保温有)
		屋外架空	ステンレス管 (保温有)
		PS内すべて、トイレ天井内、ビット内、空隙壁内で25A以上の配管	水道用高密度ポリエチレン管 (保温なし)
		トイレ天井内、ビット内、空隙壁内で25A以下の配管及び器具接続配管	ポリブデン管 (保温10mm付)
———	排水管 (汚水・雑排水)	すべてのビット内、地中埋設	VP (保温なし)
		すべてのPS内・天井内及び区画貫通部	耐火VP (保温なし)
----	通気管	すべてのビット内	VP (保温なし)
		すべてのPS内・天井内及び区画貫通部	耐火VP (保温なし)

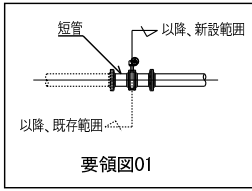
※系統図に記載なきバルブや継手のサイズは平面図による。

※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

※既存管に新設管を接続する又は将来用バルブを取り付ける際は、原則として既存の接手部から改修するものとする。

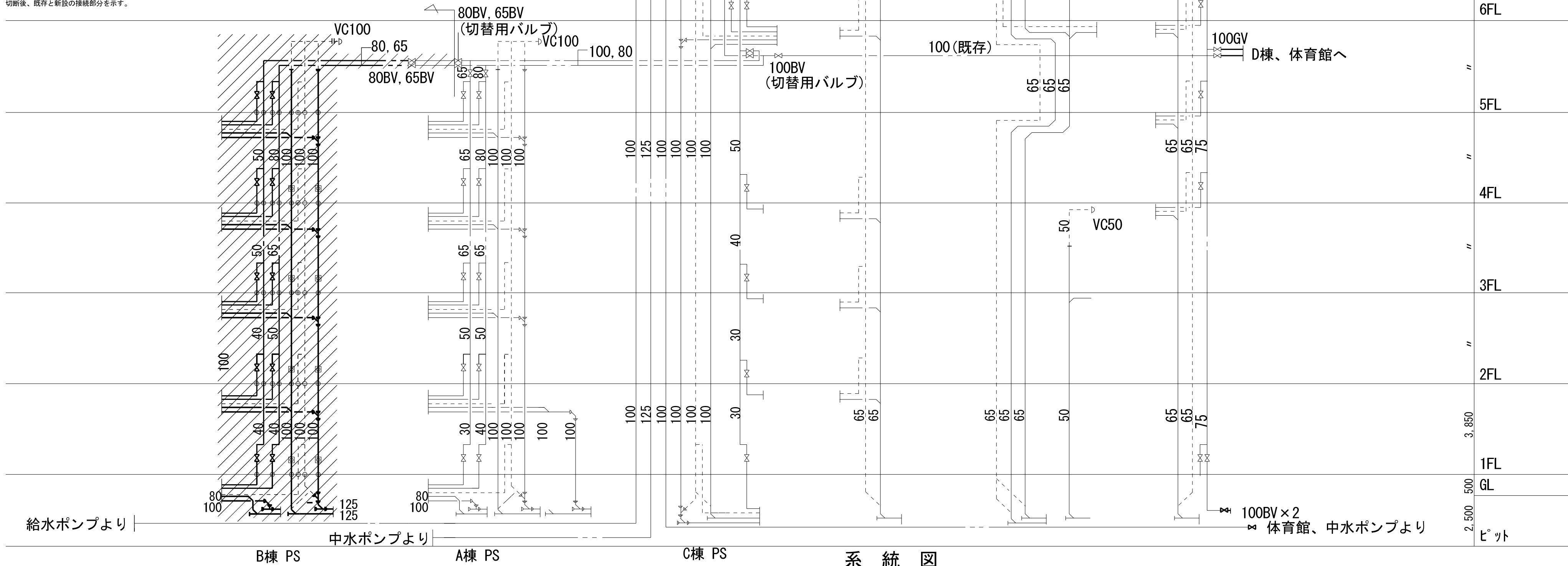
※水道用高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。

※棟ごとの系統切替用バルブ(※バタフライ弁)まわりは前後に短管を取り付け、今後の改修時に閉止操作が可能となるよう取り付けのこと。(要領図01)を参考



- 防火区画貫通処理部分を示す。
- ⊗ 満水試験継手設置部分を示す。
- = 切断後、既存と新設の接続部分を示す。

※既存分岐バルブ以降本工事



系 統 図

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出

検 印



設 計



設計年月日

R 5 . 1 . 3 1

変更年月日

R 4 . 0 0 . 0 0

工事名称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)

図面名称

系統図(A・B・C棟)・凡例

Scale

NS

No.

M-03

現 況

衛 生 器 具 撤 去 リ ス ト

名 称	器 具 型 番	A 棟										B 棟										C 棟		D 棟										体育館棟						合 計	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1階		2階		3階		4階		5階		1階		2階		3階		4階		5階		6階		7階		1階		2階		3階		4階		5階		B1階		1階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
① 和風大便器	C750VF (和風床上給水便器, FV式, 床排水)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

※取り外した衛生器具 (水栓) は事務室へ納品すること

改 修 後

新設衛生器具リスト

[illegible]

※. 参考型番はTOTO製またはLIXIL製の型番とし同等または以上の機能を有するものとする。また、上表『仕様欄』記載のない、器具新設に必要となる付属品一式についても、本工事において備えること。

※. 便器の仕様は中水用、洗浄便座は上水用とする

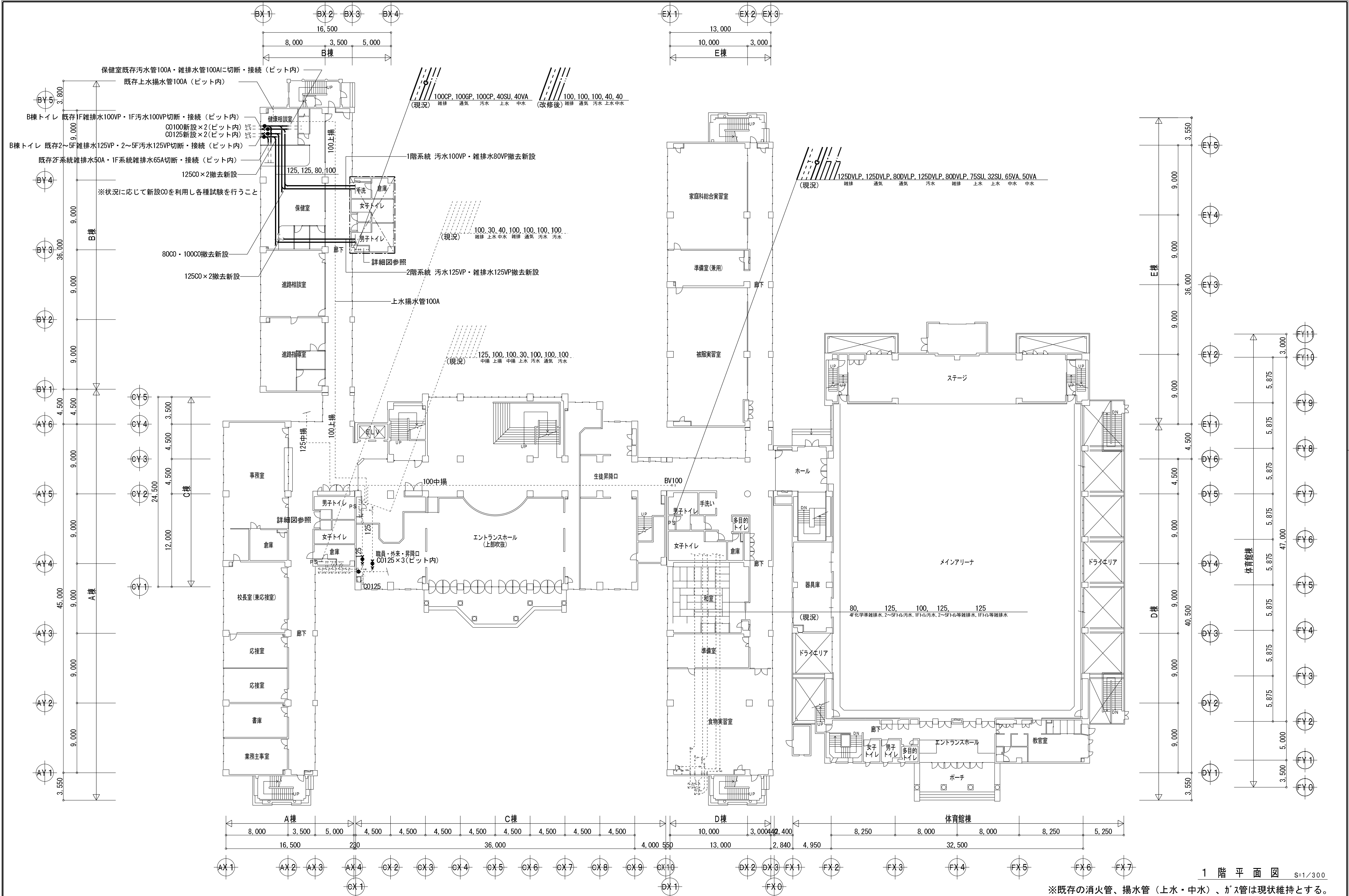
特記事項	 齊藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印 	設 計 	設計年月日	工事名称	No. M-05
				R 5 . 1 . 3 1	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)	
				変更年月日	図面名称	
		R 4 . 0 0 . 0 0	給排水衛生設備 器具表(改修)	Scale		

現 況 機 器 リ ス ト

記 号	名 称	仕 様	A 棟										B 棟										C 棟		D 棟										体育館棟					合 計	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1階		2階		3階		4階		5階		1階		2階		3階		4階		5階		6階	7階	1階		2階		3階		4階		5階		B1階	1階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 目的 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 目的 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 目的 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	男 子 ト イ レ	女 子 ト イ レ	多 目的 ト イ レ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
EF-1	排 風 機	型式 天吊消音BOX付ライン形 No2 x 500m3/h x 10mmAq x 0.04kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物	1	1	1	1	1		1		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

改 修 機 器 リ ス ト

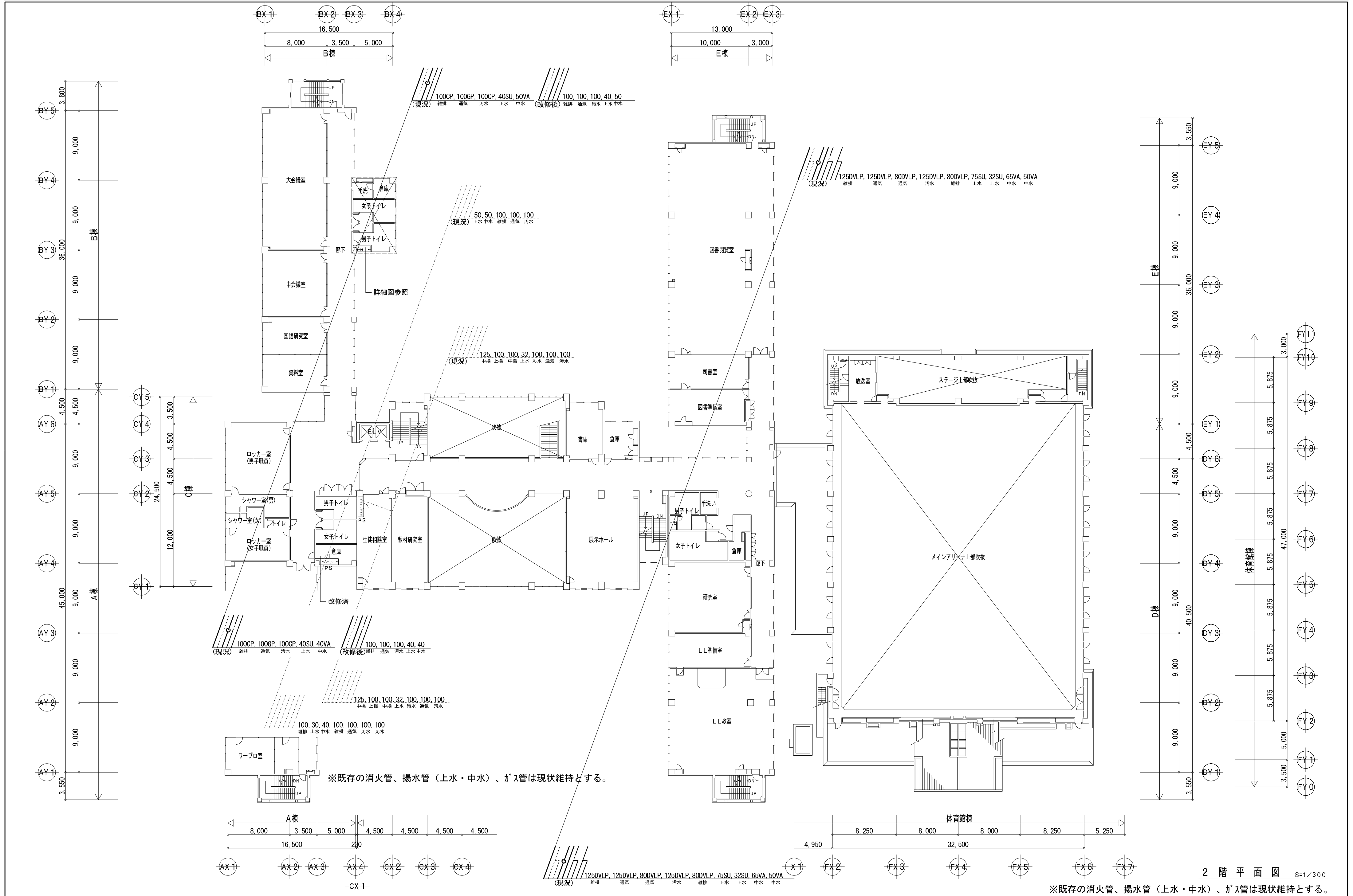
記 号	名 称	仕 様	A 棟										B 棟										C 棟		D 棟										体育館棟					合 計	備 考			
			1階	2階	3階	4階	5階	1階	2階	3階	4階	5階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	1階	2階	3階	4階	5階	B1階	1階																		
			男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	多目的 トイレ											
EF-1	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 500m3/h x 10mmAq x 0.04kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物	1	1	1	1	1		1	1																																		
EF-2	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 700m3/h x 8mmAq x 0.08kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物									1	1																													2			
EF-3	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 400m3/h x 8mmAq x 0.04kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物									1	1																													2			
EF-4	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 950m3/h x 10mmAq x 0.15kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物													1		1		1																						3			
EF-7	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 680m3/h x 9mmAq x 0.08kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物							1		1	1																																
EF-8	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 650m3/h x 8mmAq x 0.08kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物													1		1		1																						3			
EF-9	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 750m3/h x 9mmAq x 0.08kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																1		1																								
EF-10	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 330m3/h x 8mmAq x 0.04kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																1		1																								
EF-43	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 760m3/h x 10mmAq x 0.08kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																		1		1																						
EF-44	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No3 x 1180m3/h x 13mmAq x 0.15kw(1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																		1		1																						
EF-45	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No2 x 260m3/h x 11mmAq x 0.04kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																			1																							
TEF-7	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No3 x 640m3/h x 15mmAq x 0.15kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																																										
TEF-8	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No3 x 900m3/h x 15mmAq x 0.27kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																																										
TEF-16	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No11/4 x 380m3/h x 15mmAq x 0.06kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																																										
TEF-17	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No11/4 x 350m3/h x 15mmAq x 0.06kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																																										
TEF-18	排 風 機	型式 天吊埋込タイプ消音形ストレートシロッコファン No11/4 x 200m3/h x 15mmAq x 0.03kw (1φ-100V) 付属品 防振ゴム付吊金物																																										

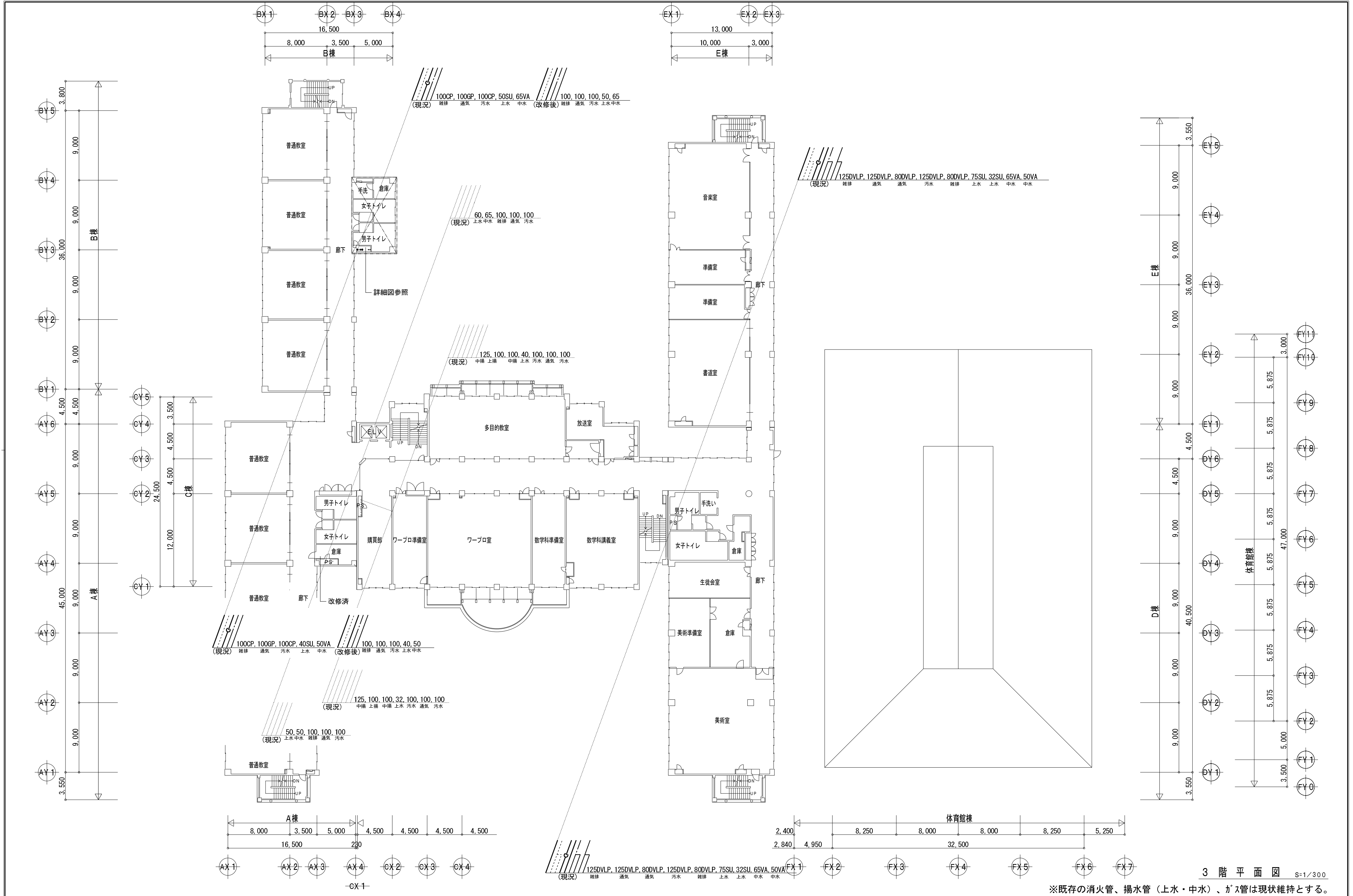


1 階 平 面 図 S=1/300

※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

特記事項	齊 藤 出 建 築 設 計 室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印 	設 計 	設計年月日 R 5 . 1 . 31	工事名称 川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)	No. M-08
				変更年月日	図面名称 現況・改修 1階平面図	
					Scale S=1/300	

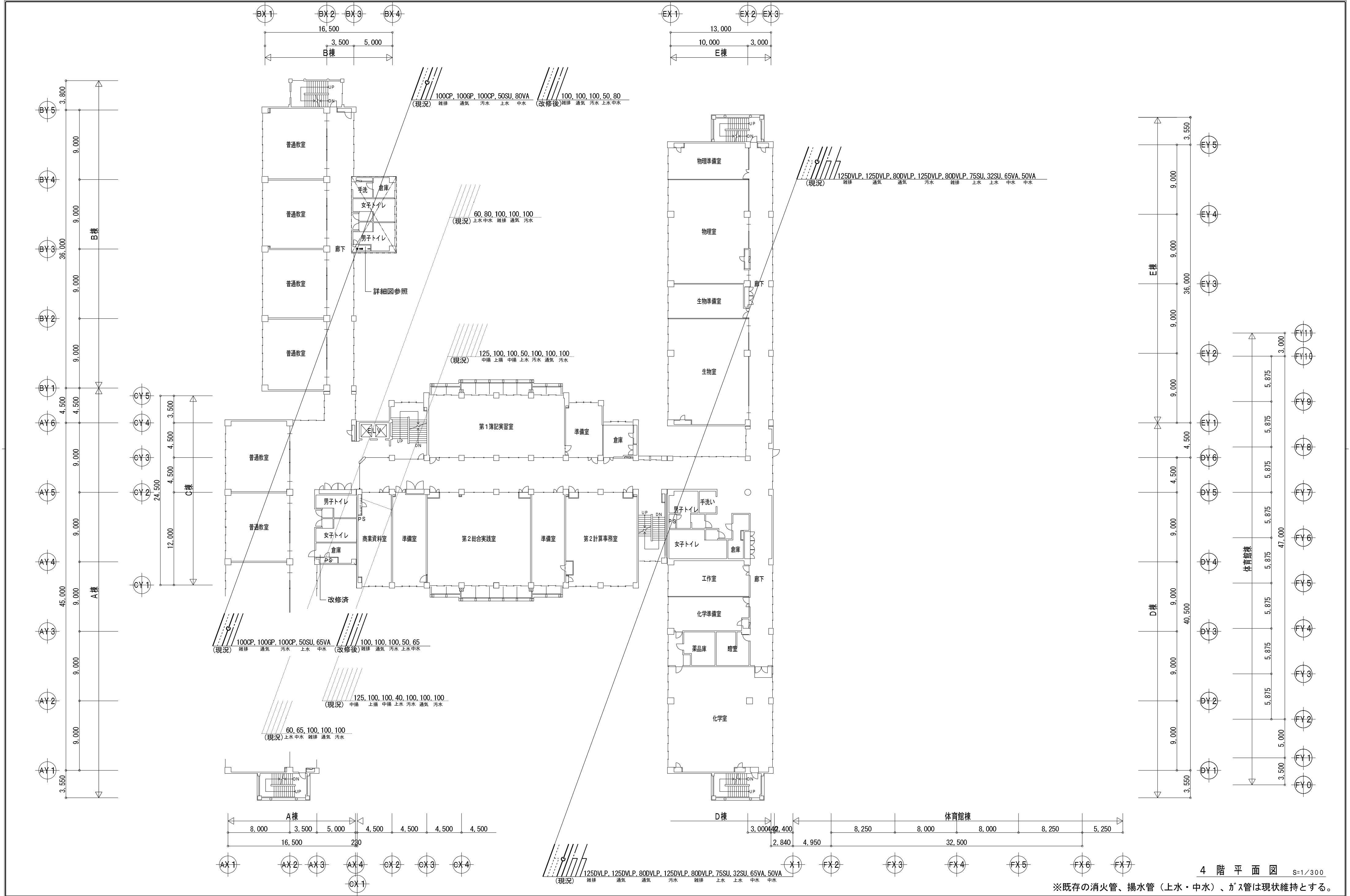




3 階 平 面 図 S=1/300

※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

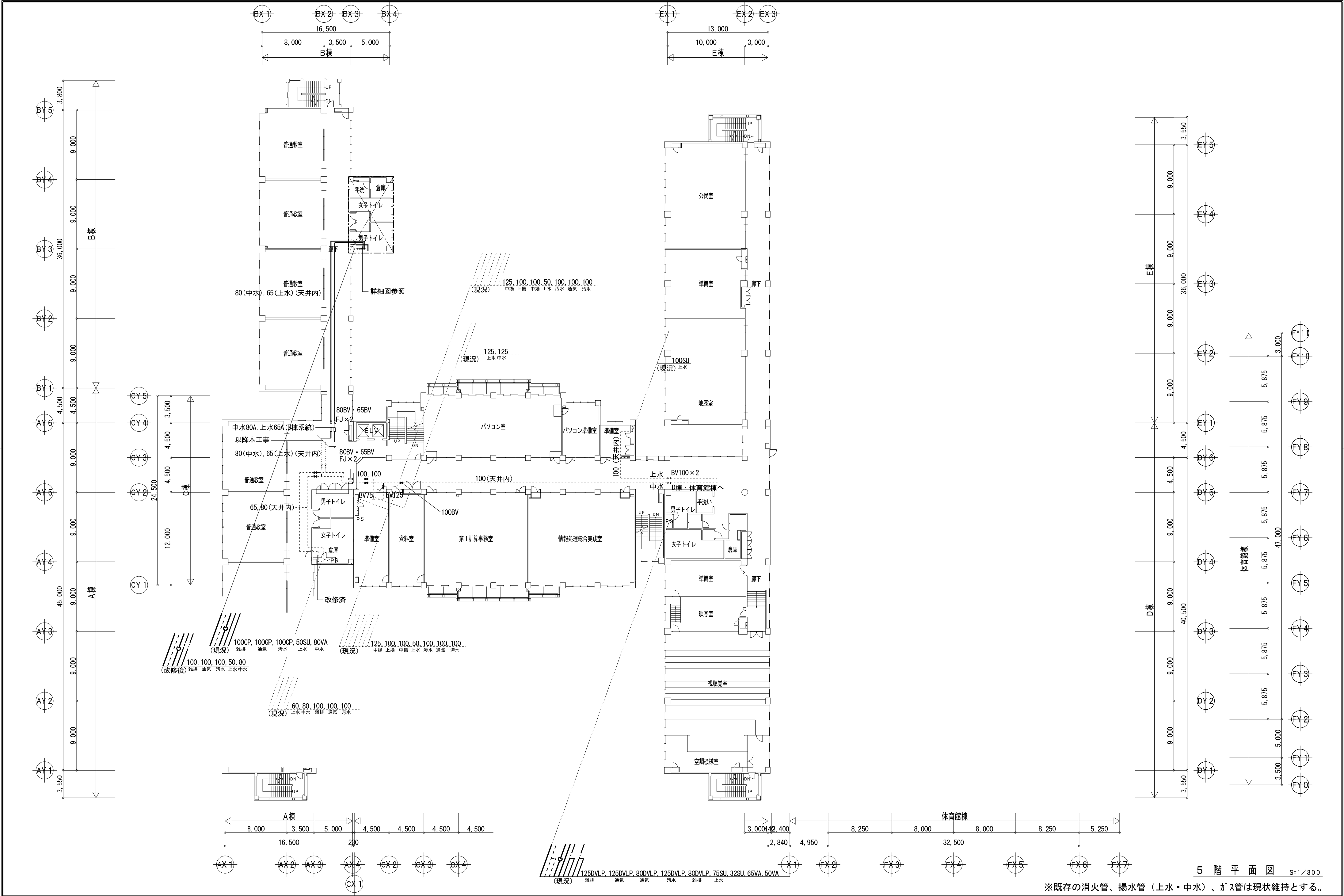
特記事項	 齊藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	 校 印  設 計	設計年月日	工事名称		No.
			R 5 . 1 . 31	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)		
			変更年月日	図面名称	Scale	
			R 4 . 00 . 00	現況・改修 3階平面図	S=1/300	



4 階 平 面 図 S=1/300

※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

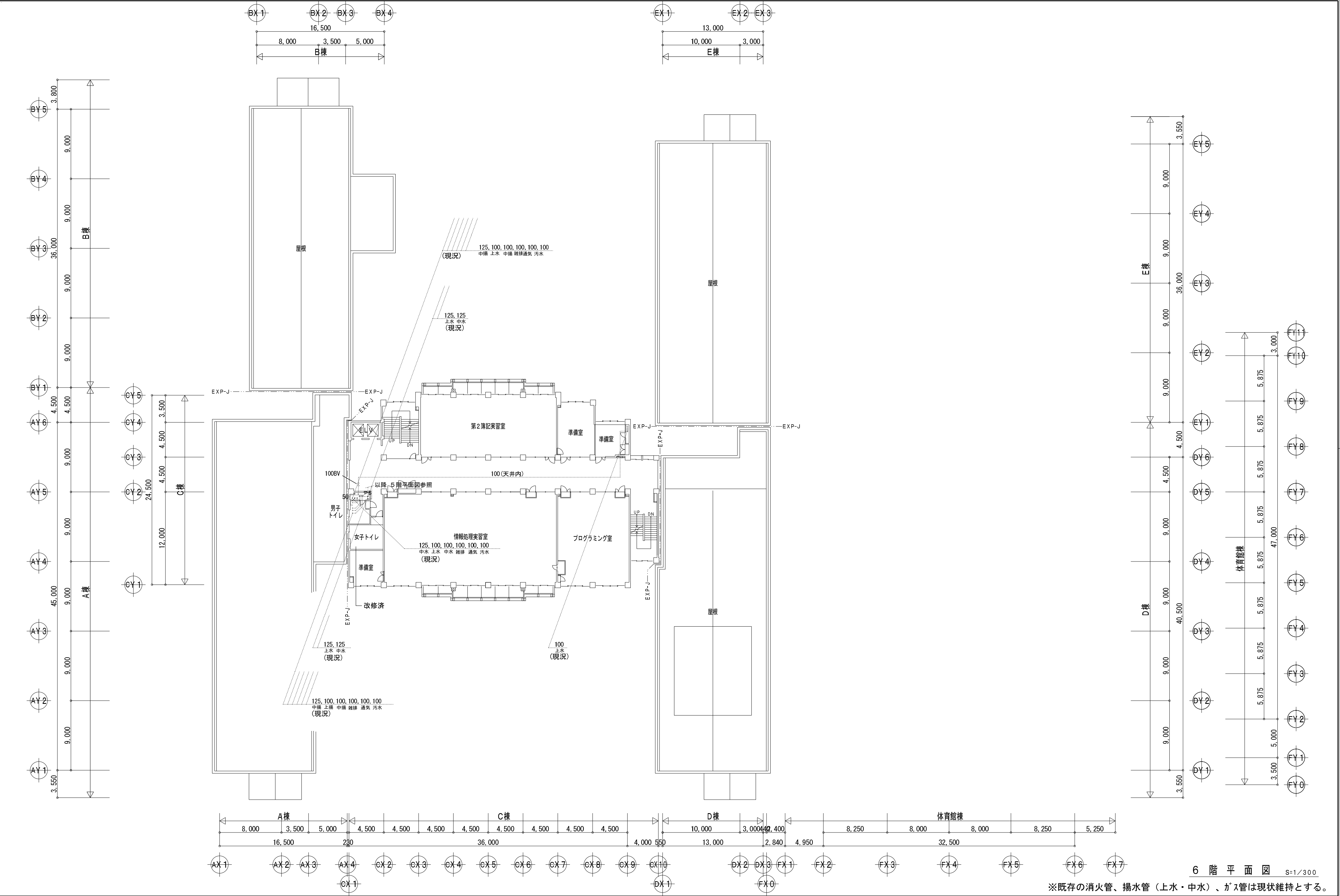
特記事項	 齊 藤 出 建 築 設 計 室 一級建築士 第326081号 齋 藤 出	検 印	設 計	設計年月日	工事名称	No. M-11	
				R 5 . 1 . 31	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)		
				変更年月日	図面名称		Scale
				R 4 . 0 0 . 0 0	現況・改修 4階平面図		S=1/300



5 階 平 面 図 S=1/300

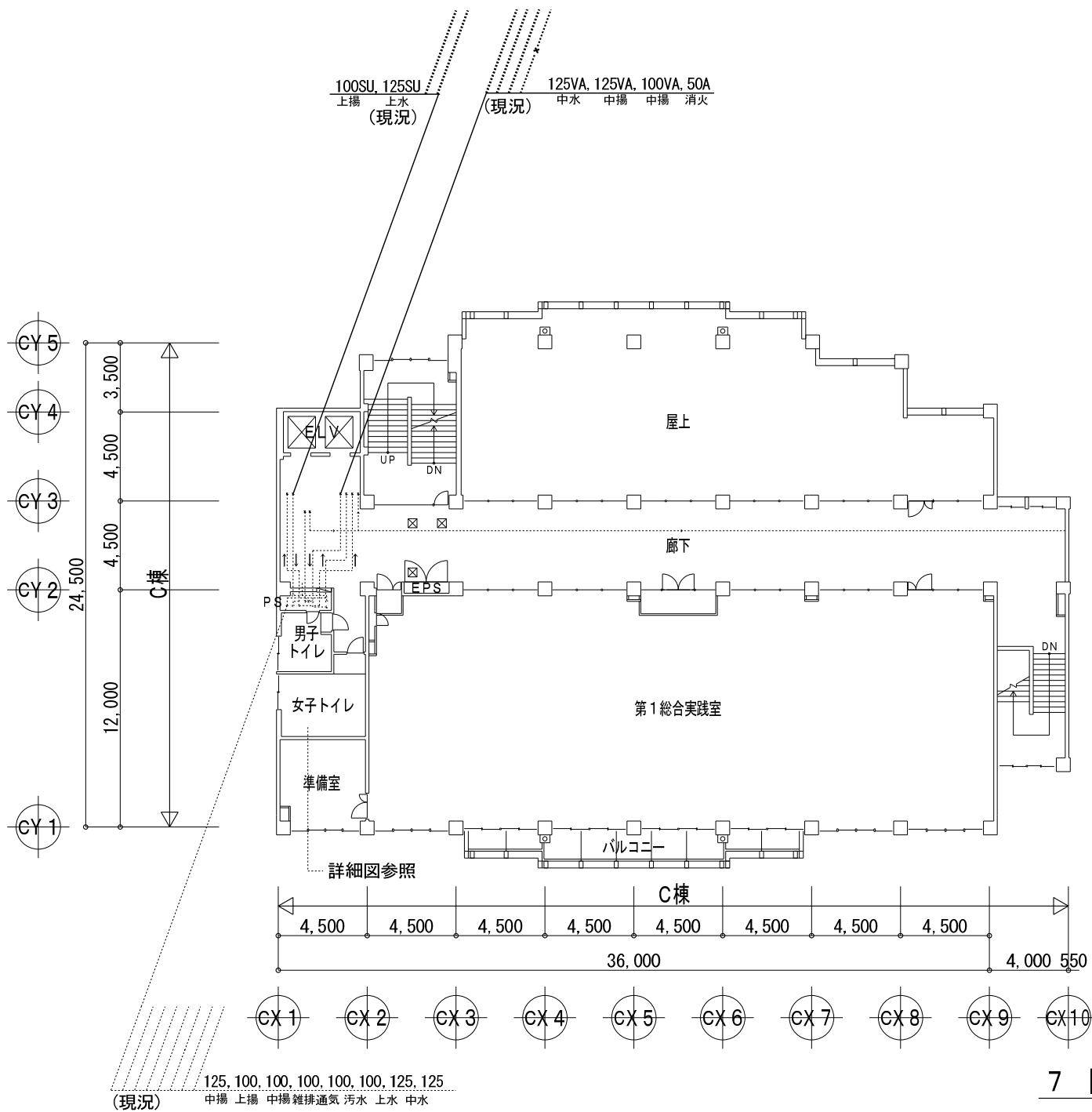
※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

特記事項	齊藤出建築設計室 一級建築士 第326081号 齋藤 出	<table><tr><td>検 印</td><td>設 計</td><td>設計年月日</td><td>工事名称</td></tr><tr><td>齋藤出</td><td>齋藤出</td><td>R 5 . 1 . 31</td><td>川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>変更年月日</td><td>図面名称</td></tr><tr><td></td><td></td><td>R 4 . 00 . 00</td><td>現況・改修 5階平面図</td></tr></table>	検 印	設 計	設計年月日	工事名称	齋藤出	齋藤出	R 5 . 1 . 31	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)			変更年月日	図面名称			R 4 . 00 . 00	現況・改修 5階平面図	No. M-12
検 印	設 計	設計年月日	工事名称																
齋藤出	齋藤出	R 5 . 1 . 31	川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)																
		変更年月日	図面名称																
		R 4 . 00 . 00	現況・改修 5階平面図																

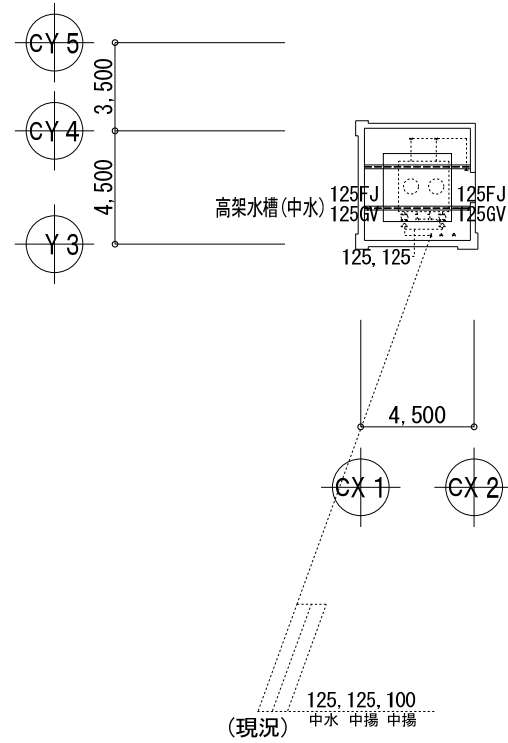


6 階 平 面 図 S=1/300

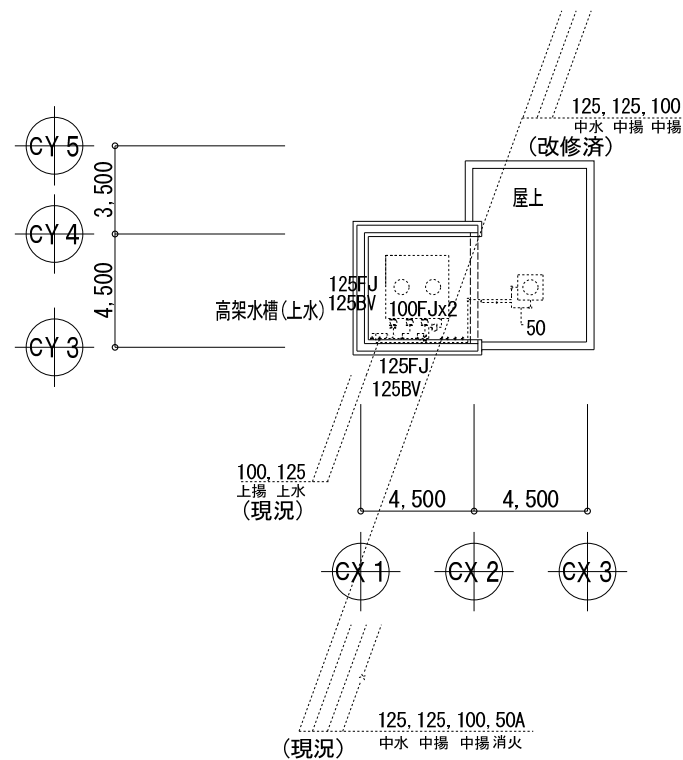
※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。



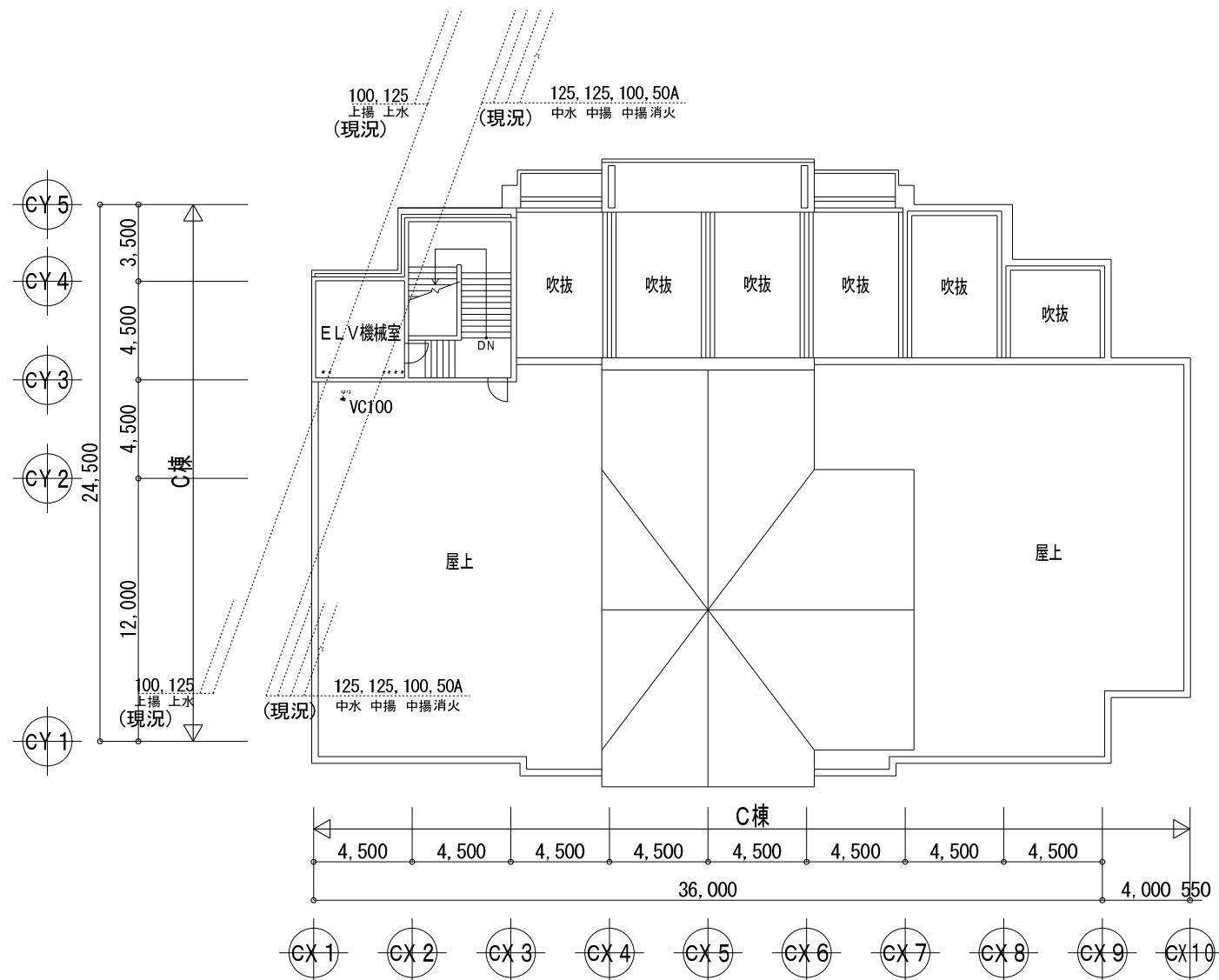
7 階 平 面 図 S=1/300



PHR階上部平面図 S=1/300



PHR 階 平 面 図 S=1/300



R 階 平 面 図 S=1/300

※既存の消火管、揚水管（上水・中水）、ガス管は現状維持とする。

特記事項



齊藤出建築設計室

一級建築士 第326081号 齋藤 出

検印



設計



設計年月日
R 5. 1. 31
変更年月日
R 4. 00. 00

工事名称

川越市立川越高等学校トイレ改修工事(B棟)

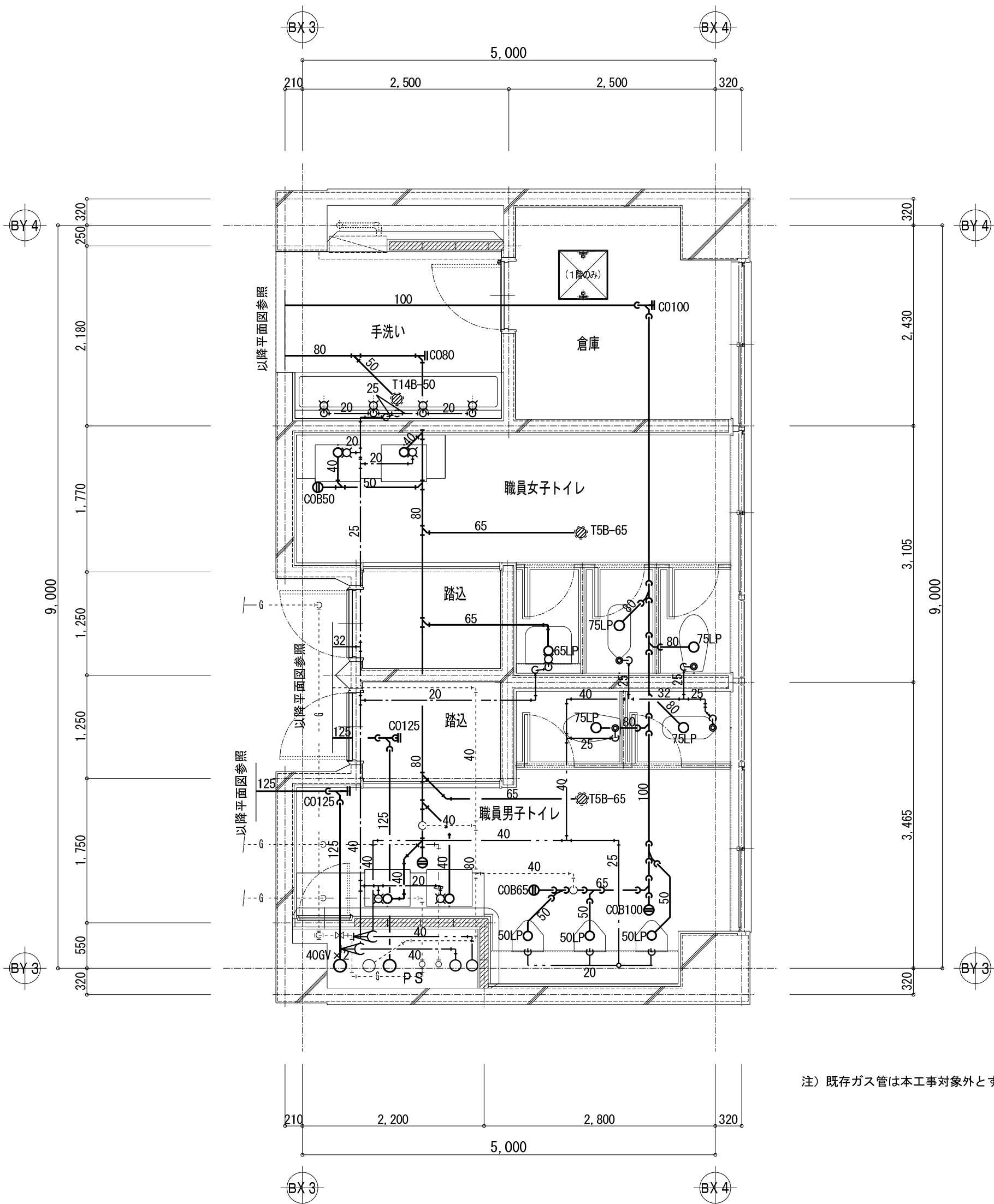
図面名称

現況・改修 7・R・PHR階平面図

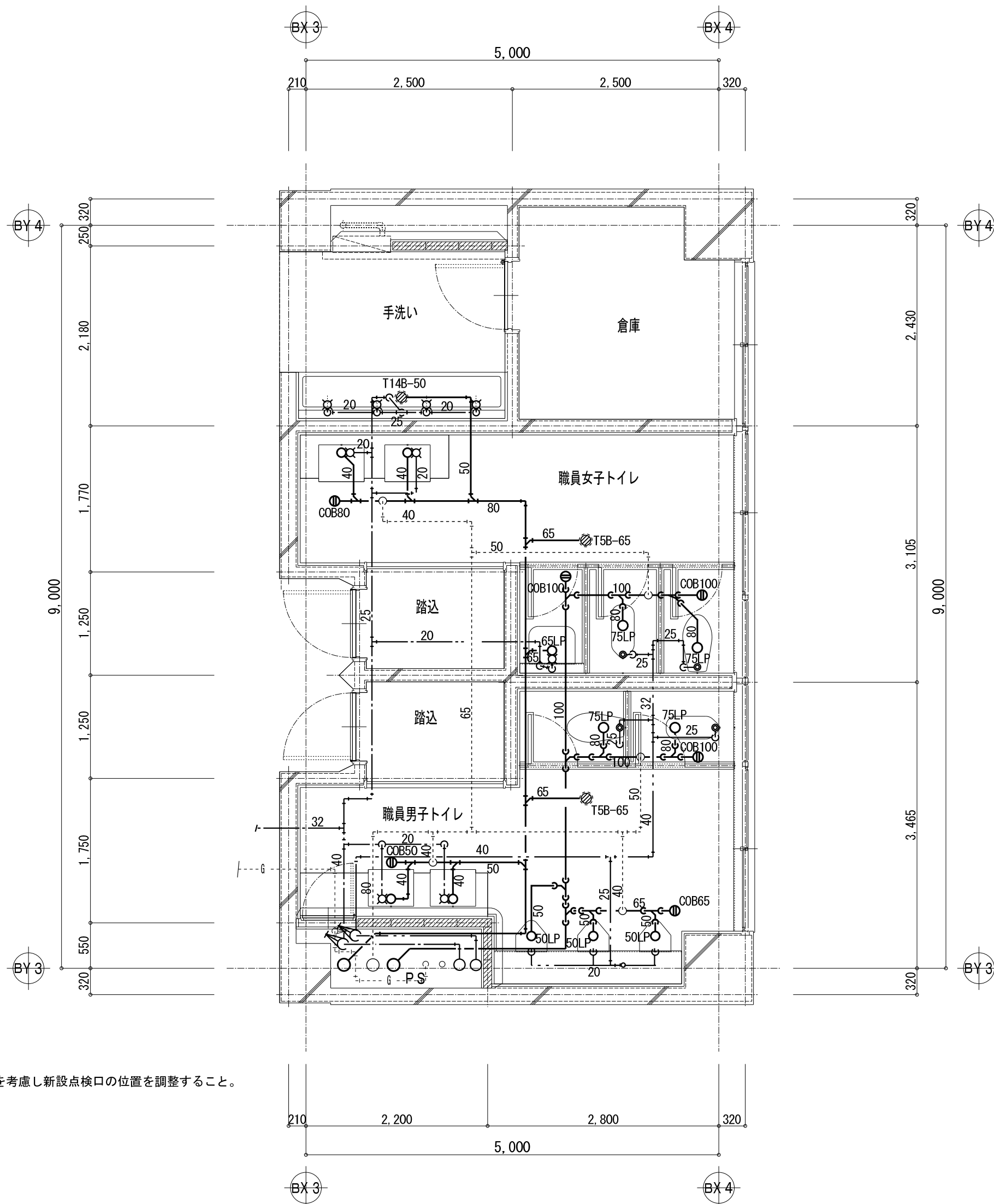
Scale
S=1/300

No.

M-14



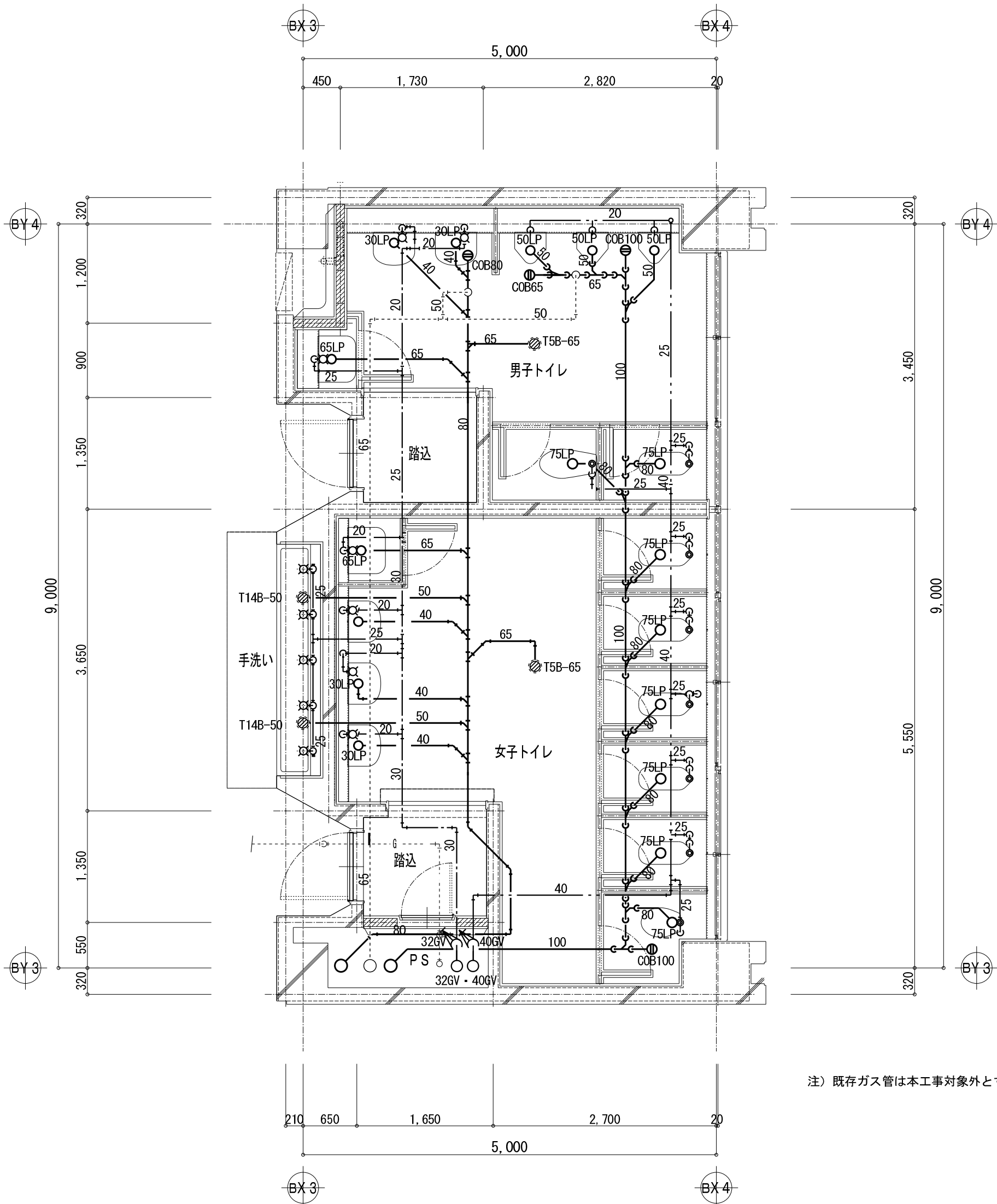
1 階平面詳細図 S=1/50



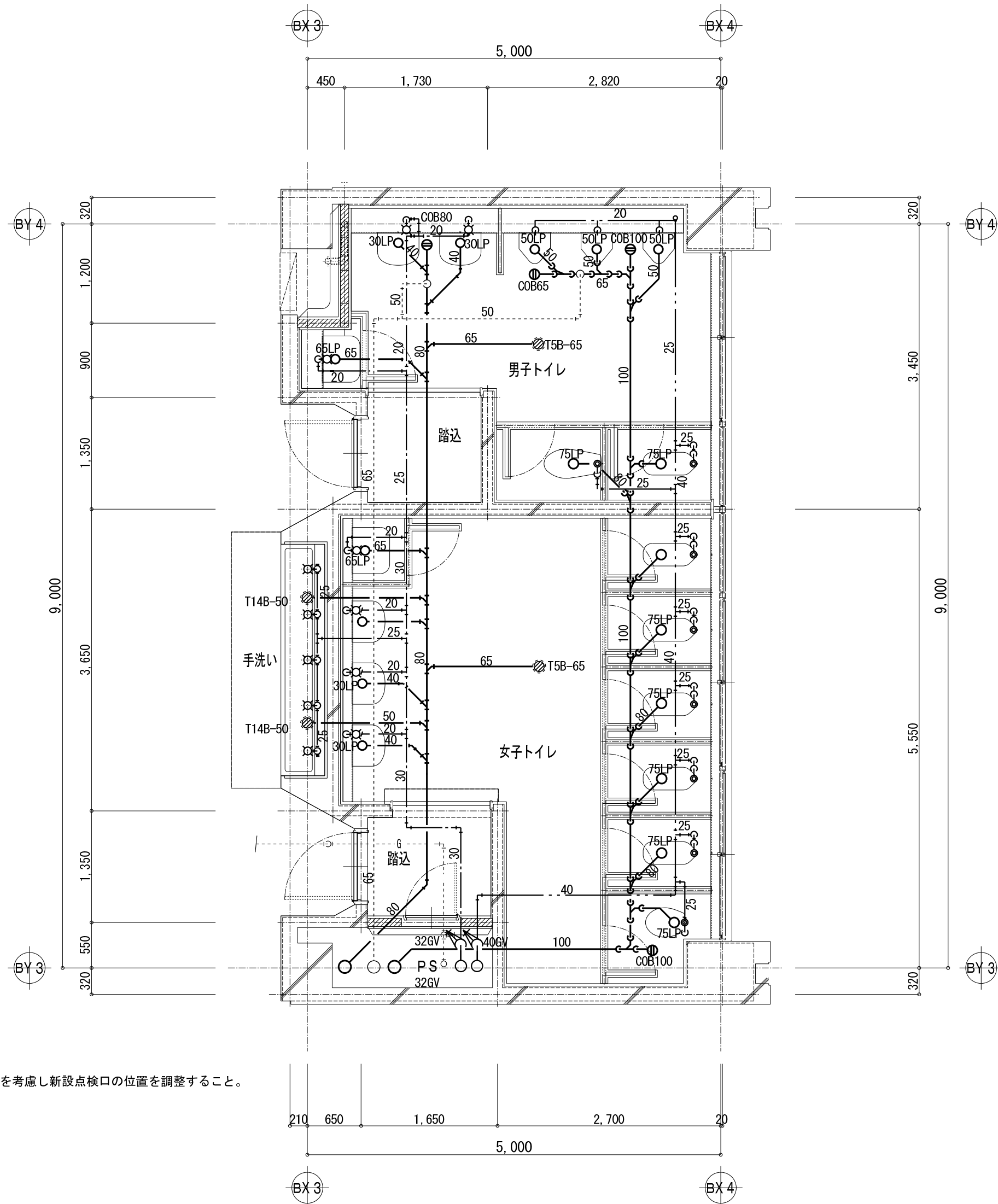
2 階平面詳細図 S=1/50

注) 既存ガス管は本工事対象外とする。ただし、バルブの操作性などを考慮し新設点検口の位置を調整すること。

(B棟)

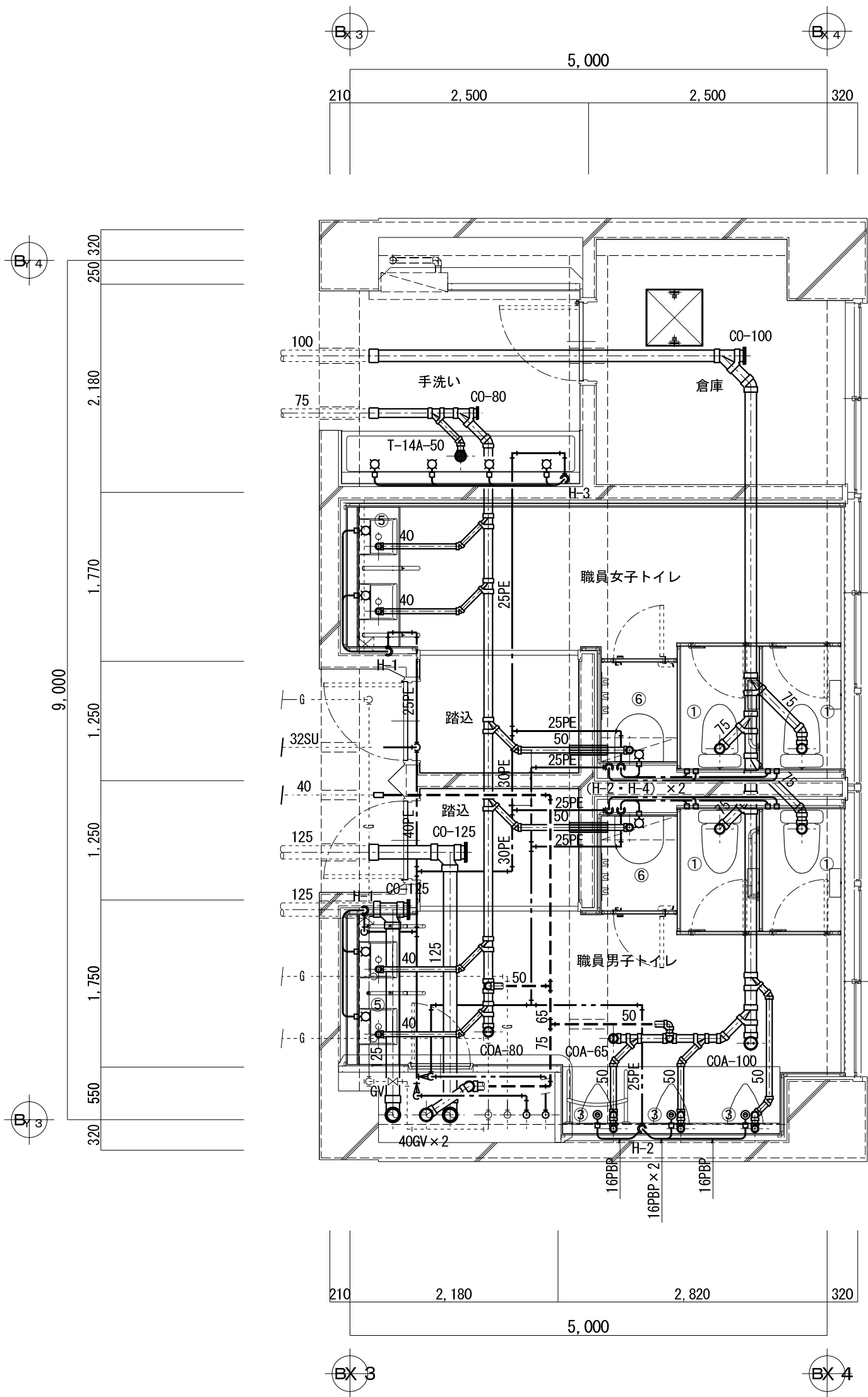


3階平面詳細図 S=1/50

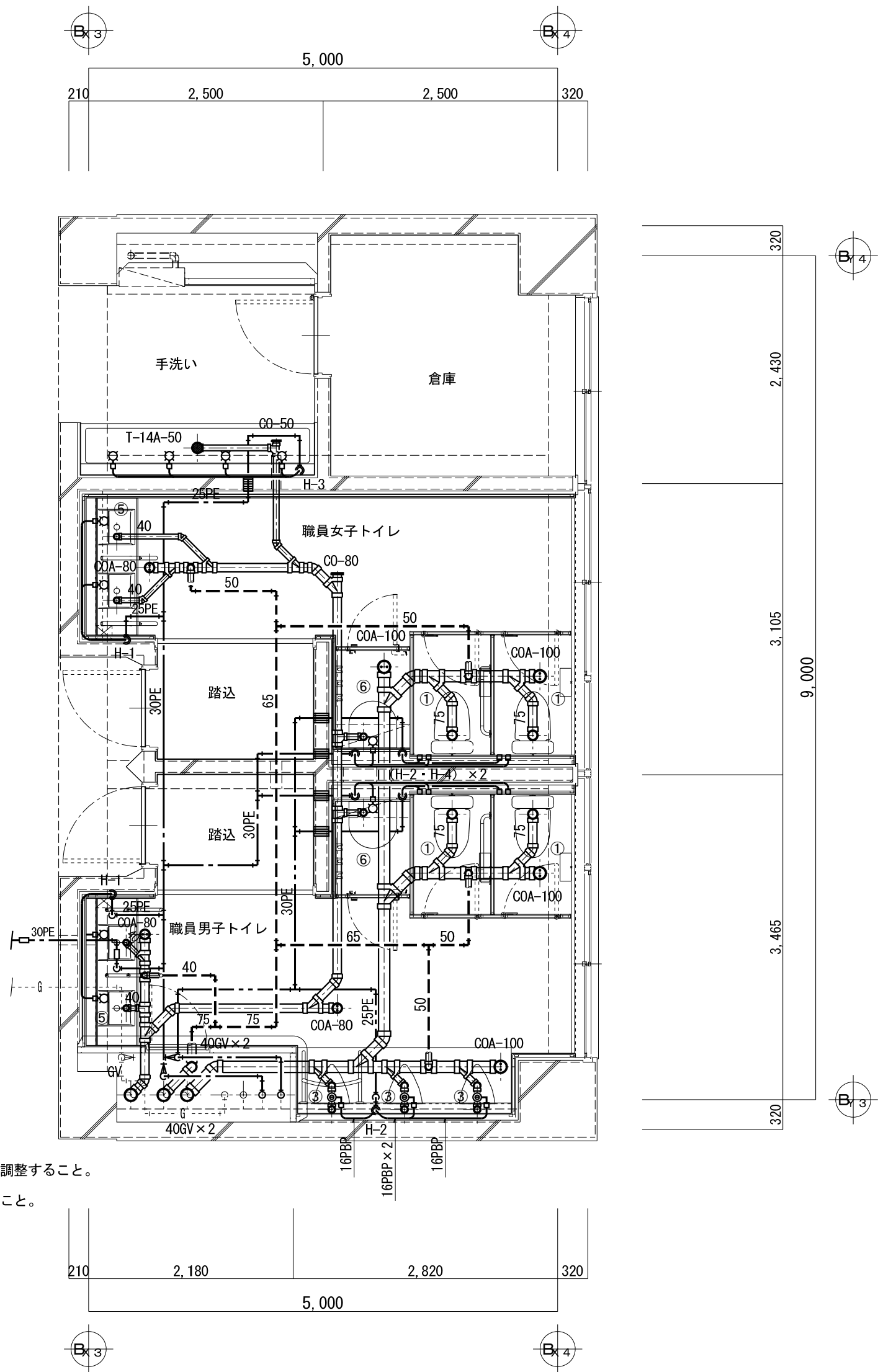


4・5階平面詳細図 S=1/50

注) 既存ガス管は本工事対象外とする。ただし、バルブの操作性などを考慮し新設点検口の位置を調整すること。



1階平面詳細図 S=1/50



2階平面詳細図 S=1/50

注) 既存ガス管は本工事対象外とする。ただし、バルブの操作性などを考慮し新設点検口の位置を調整すること。

注) 砲金製回転式ヘッダーについて、施工図等で検討を行い調整が必要な場合は監督員と協議を行うこと。

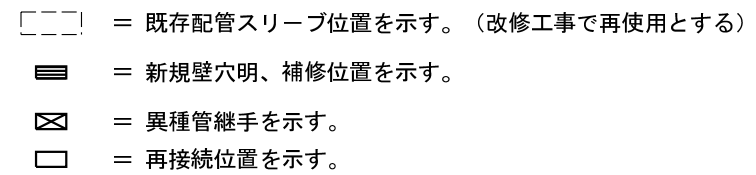
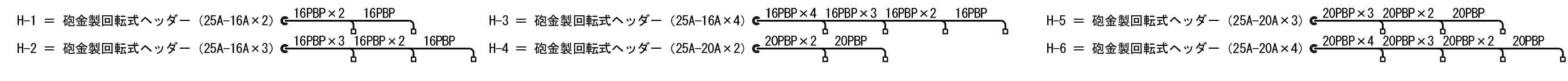
- H-1 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-16A×2) 16PBP×2 16PBP
H-2 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-16A×3) 16PBP×3 16PBP×2 16PBP
H-3 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-16A×4) 16PBP×4 16PBP×3 16PBP×2 16PBP
H-4 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-20A×2) 20PBP×2 20PBP
H-5 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-20A×3) 20PBP×3 20PBP×2 20PBP
H-6 = 砲金製回転式ヘッダー (25A-20A×4) 20PBP×4 20PBP×3 20PBP×2 20PBP

□□□ = 既存配管スリーブ位置を示す。(改修工事で再使用とする)

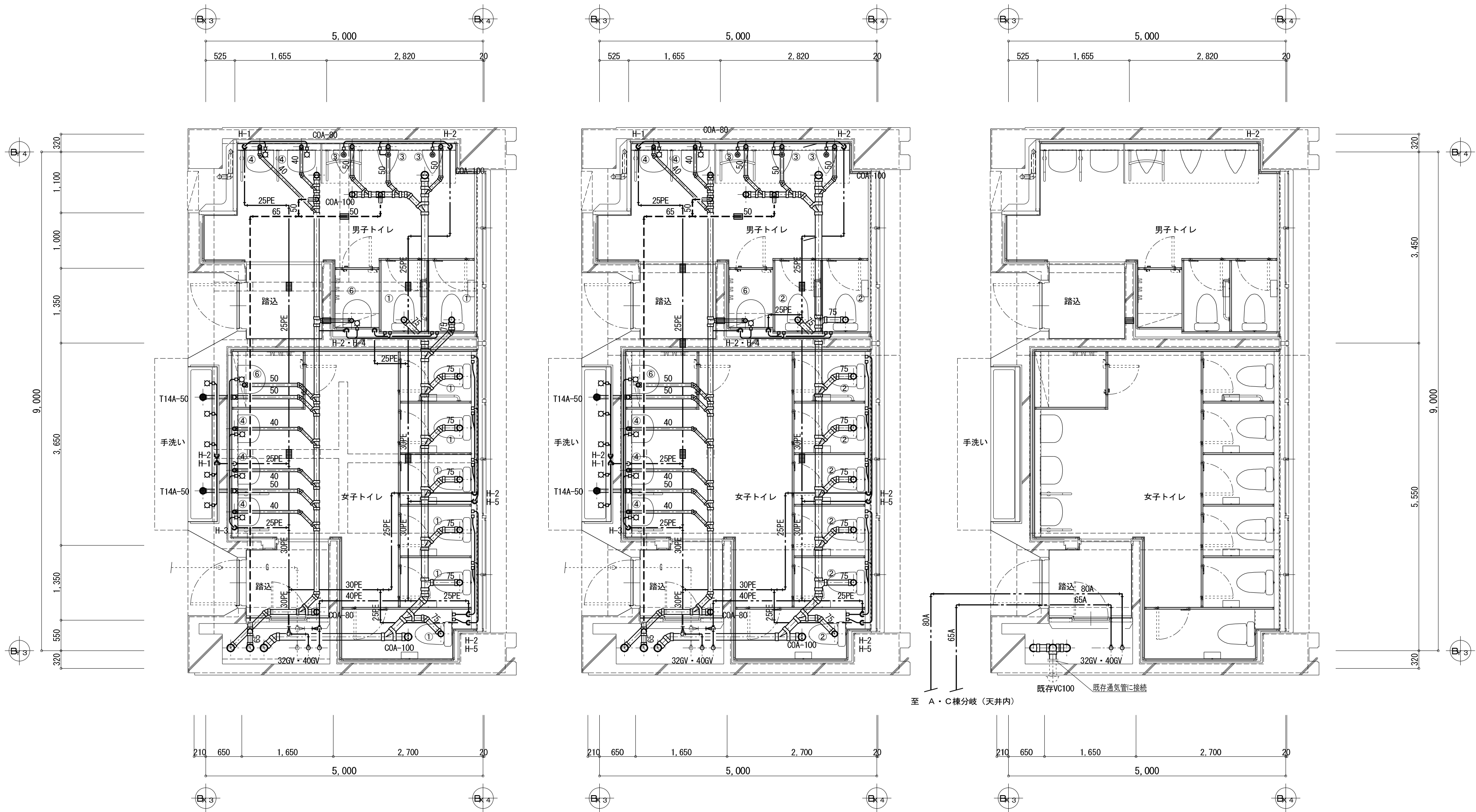
■ = 新規壁穴明、補修位置を示す。

☒ = 異種管継手を示す。

□ = 再接続位置を示す。



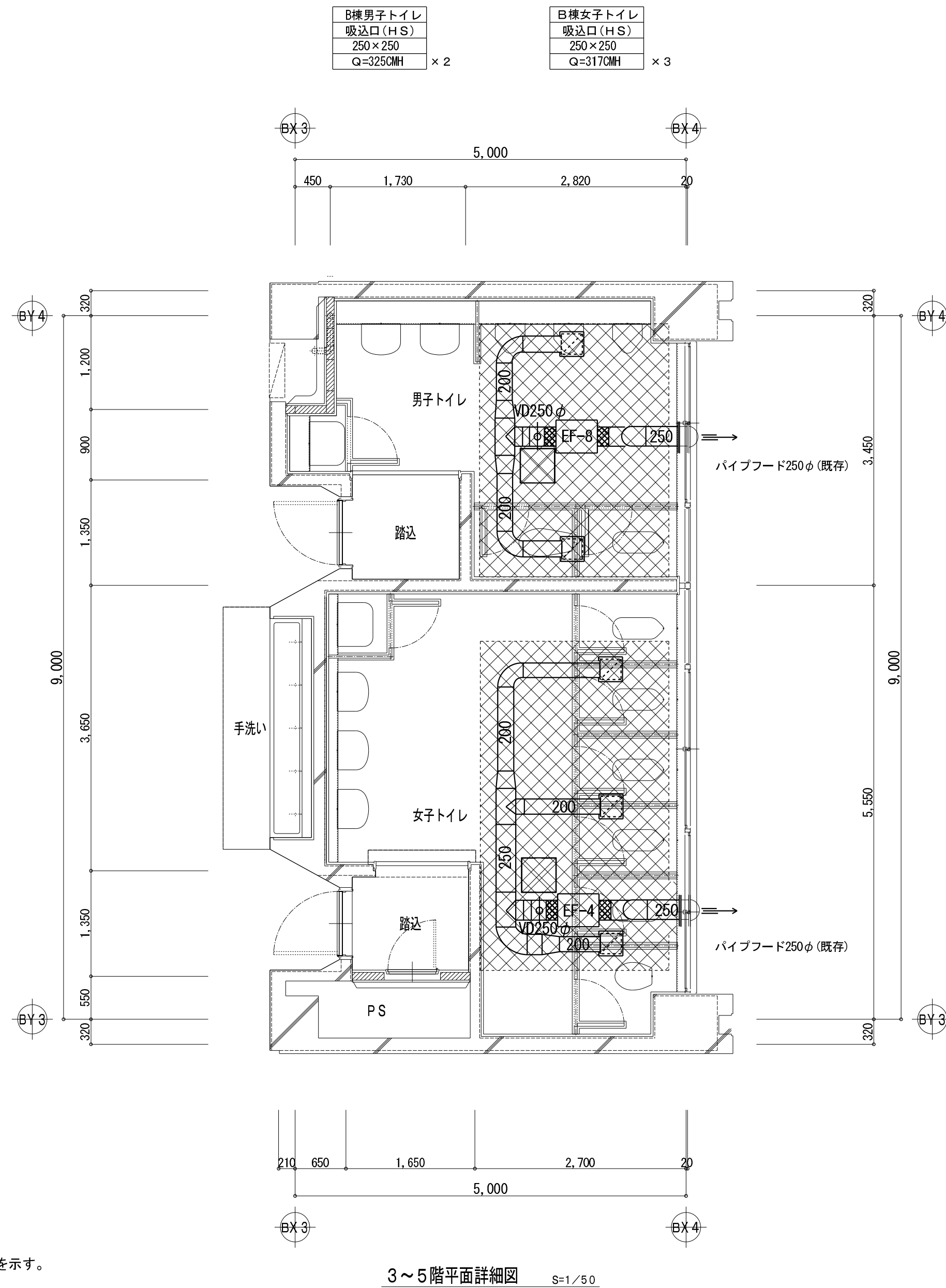
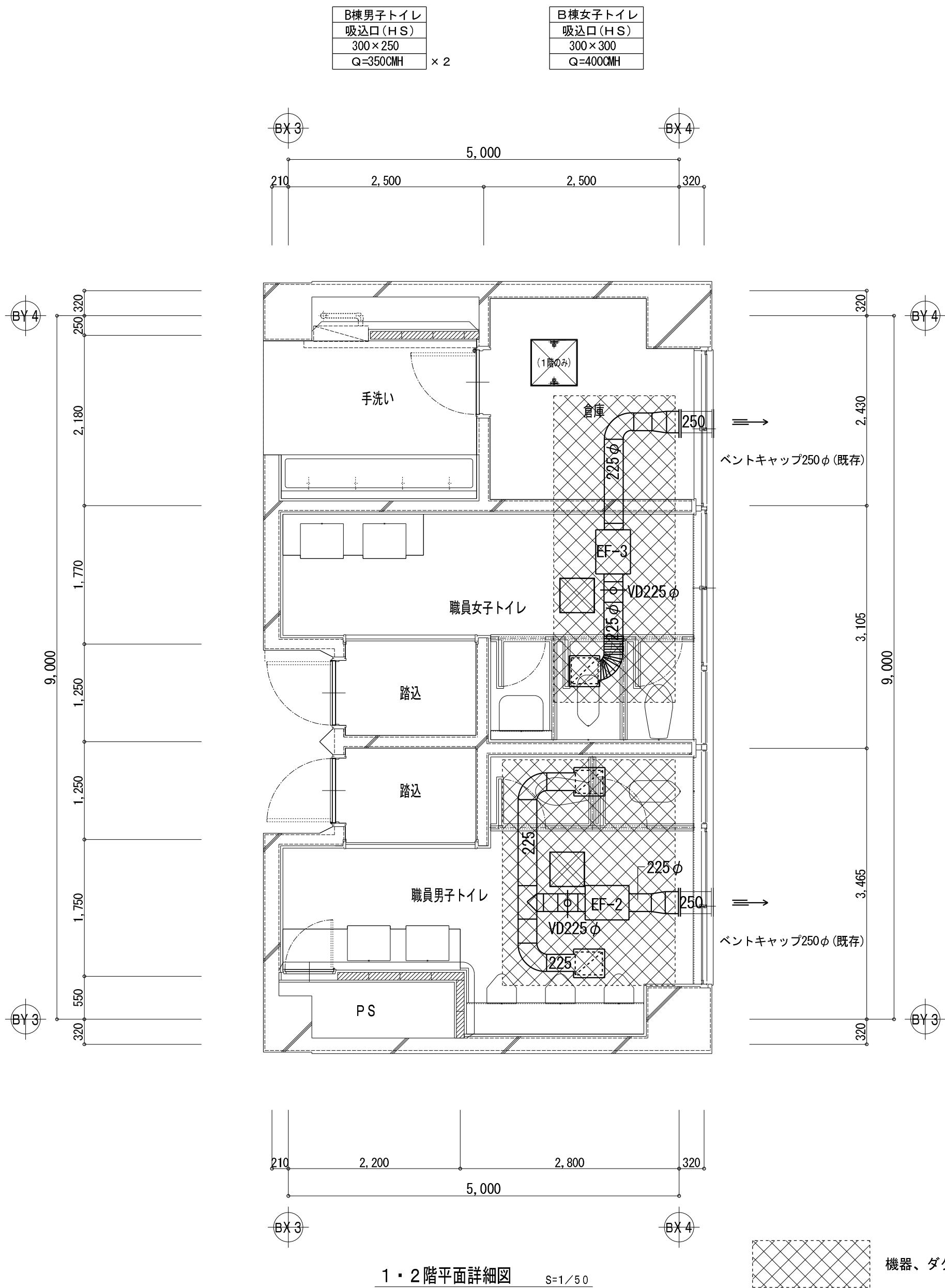
注) 既存ガス管は本工事対象外とする。ただし、バルブの操作性などを考慮し新設点検口の位置を調整すること。
注) 砲金製回転ヘッダーについて、施工図等で検討を行い調整が必要な場合は監督員と協議を行うこと。



3階平面詳細図 S=1/50

4・5階平面詳細図 S=1/50

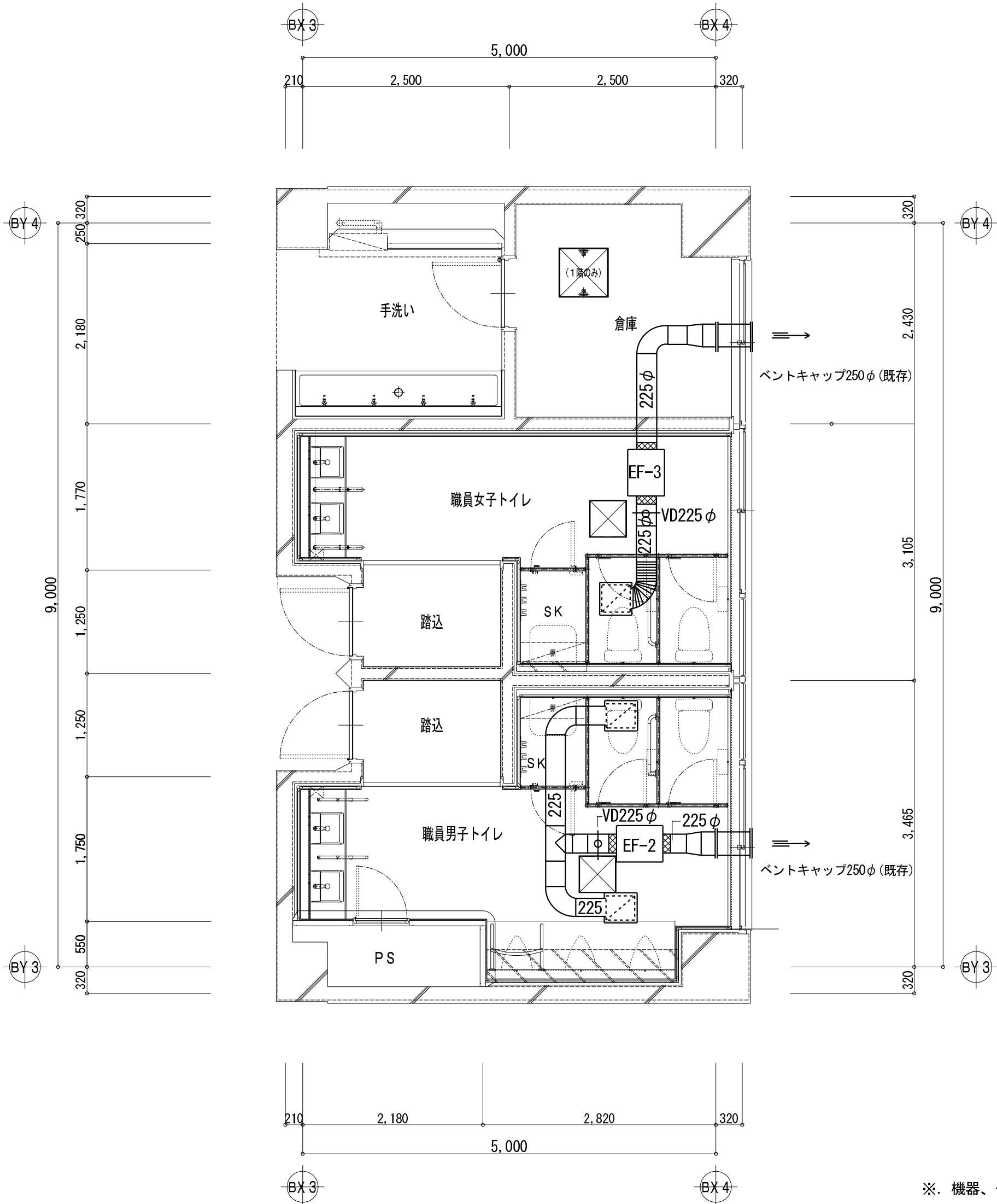
5階天井内平面詳細図 S=1/50



B棟男子トイレ
吸込口 (H S)
300×250
Q=350CMH

 × 2

B棟女子トイレ
吸込口 (H S)
300×300
Q=400CMH

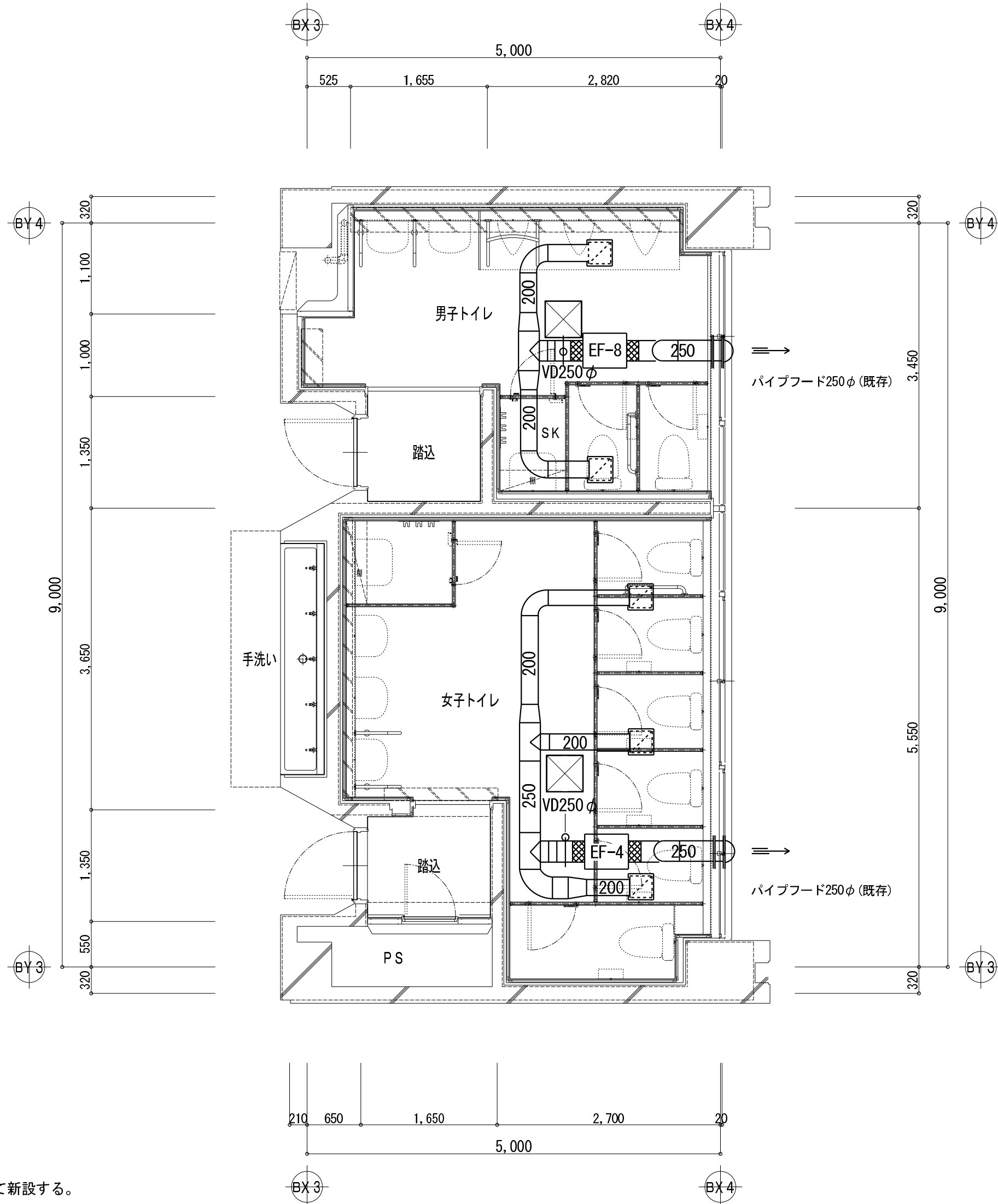


1・2階平面詳細図 S=1/50

B棟男子トイレ
吸込口 (H S)
250×250
Q=325CMH

 × 2

B棟女子トイレ
吸込口 (H S)
250×250
Q=317CMH

 × 3

3～5階平面詳細図 S=1/50

※. 機器、ダクト、ダクト付属品をすべて新設する。

(B棟)